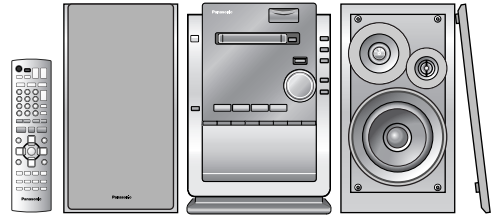
Panasonic®

取扱説明書

DVD/SDステレオシステム

品番 SC-PM930DVD

12 ページ

D-snapオーディオや携帯電話でも楽しめる！

SDに録って つながる、広がる！

40 ページ

CD→MDへ、最大7倍速／CD→SDへ、最大5倍速で録る！

高速録音で 快適・便利！

RAM COMPATIBLE PLAYER

MDLP

保証書別添付

上手に使って上手に節電

6 ページ

電源を切っても 表示部が光る！？

「デモ機能」をOFFにしてください。

このたびは、DVD/SDステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（82～84ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT8488-1S

もくじ

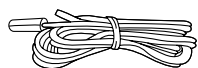
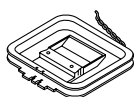
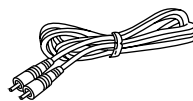
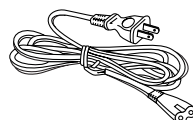
43、45ページ
録音使い分け！
SD／MDに長時間で録るなら「LPモード」、カーオーディオでMDを聞くなら「SPモード」で録音など、

66ページ
「留守録タイマー」で録り忘れを防ぐ！
お気に入りのラジオ講座は

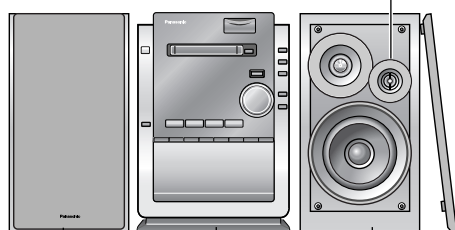
74ページ
大好きな曲をSD／MDに残そう！
ポータブルMDなどとつないで…

6ページ
電源を切っても
表示部が光る！？
「デモ機能」をOFFにしてください。

付属品/設置/リモコンの準備

付属品をご確認ください

□ FM簡易型アンテナ★（1本）【RSA0007-L】

□ AMループアンテナ★（1本）【N1DAAAA00001】

□ 映像コード★（1本）【RJL1P016B15A】

□ 電源コード★（1本）【RJA0012-K】

本機はこのように置きます

DVD/SDステレオシステム（SC-PM930DVD）

●左右のスピーカーは、ツィーターが外側になるように、スピーカーネットを外して確認して設置してください。
●センターユニットとスピーカーは、1 cm以上離してください。

■スピーカーについて

スピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁設計です。（☞ 右ページ「防磁設計について」）

付属のスピーカー以外はご使用になれません

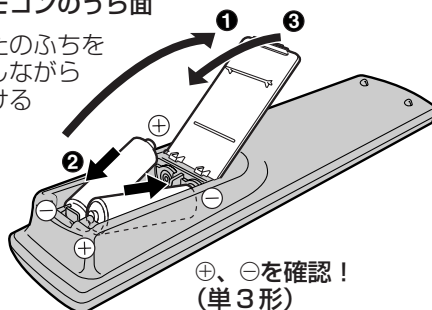
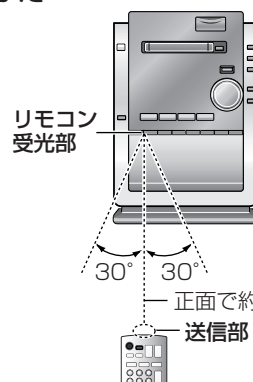
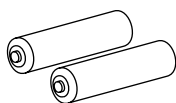
●他のスピーカーを使用すると、正しい特性の音が得られず、また故障の原因にもなります。

お願い

●大きな音量で連続使用しないでください。
スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
●通常の使用時でも、以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）
・音がひずんだとき
・音質を調整するとき

リモコンはこのように使います

■乾電池（付属）の入れかた

リモコンのうら面

■リモコンの使いかた

□ リモコン★（1コ）
【EUR7720LC0】

□ リモコン用乾電池☆
（単3形：2本）

お知らせ
●付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
●電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
●カッコ【　】内は、買い替え時の品番です。(品番は、2006年1月現在のものです。品番は変更されることがあります。)

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
★印は松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。
（☆印は「パナセンス」では取り扱っていません。）

Pana Sense
http://www.sense.panasonic.co.jp/

■よりよい音響効果を得るために

音はスピーカーの置きかたによって変化します。例えば、床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。
- しっかりした、平らで安定した場所に設置する。
- 左右のスピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする。また、周りの反射をできるだけ少なくする。
  例）左右は壁から離す。堅い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛ける。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 壁から5 cm以上離して設置する。
- 鑑賞時、耳の位置と同じくらいの高さにスピーカーを設置する。

防磁設計について
●本システムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム(防磁設計JEITA※)ですが、設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。
●近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本システムのスピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
※「防磁設計（JEITA)」とは、(社)電子情報技術産業協会の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

■使用上のお願い

●受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
●受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
●受光部と送信部のほこりに注意。

■本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

■他の機器のリモコンで本機が誤動作するとき

リモコンモードを変更してください。
(☞97ページ)

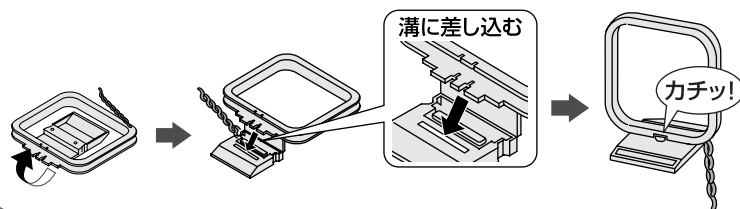
本機を移動するときは
① DVD、CD、SD、MDをすべて取り出す。
② [電源⏻/I]を押して電源を切る。
③ “GOODBYE”の表示が消えてから電源プラグを抜く。
※この操作をしないと、故障の原因になることがあります。

接続のしかた

1 AMループアンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 36ページ）、雑音の少ない位置に置きます。

溝に差し込む

カチッ!

2 FM簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 36ページ）、雑音の少ない位置で、壁や柱にテープで止めます。

外部ループ

AM ANT

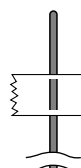
外部 ループ

75Ω

FM ANT

AUX

D1/D2 映像出力

光出力

映像出力

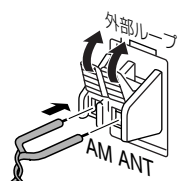
HIGH (5Ω)

LOW (5Ω)

こんな機器もつなげます

（☞ 73ページ）

ポータブルMD

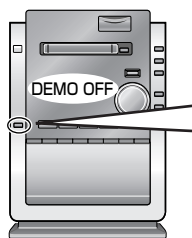
AVアンプ

（右スピーカー）

電源を切っても表示部が光る!?

6 デモ機能

電源「切」の状態で表示部が点灯（デモ機能）するときは、デモ機能をOFFにしてください。

（お知らせ）

本機の時計を合わせる（☞ 63ページ）とデモ機能は自動的にOFFになります。

-デモ

デモ機能動作中に

“DEMO OFF”と表示するまで押したままにする

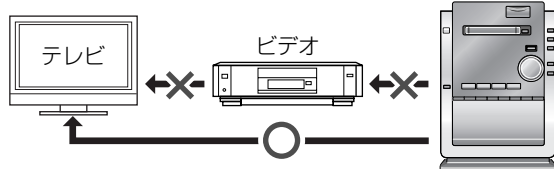
上記操作をするたびに

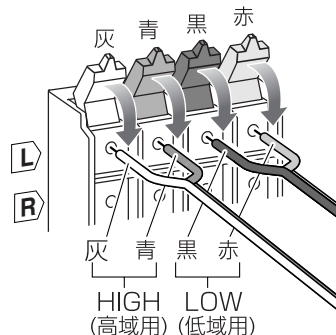
DEMO OFF（切） ⇄ DEMO ON（入）

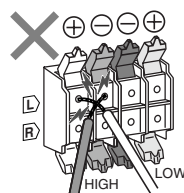
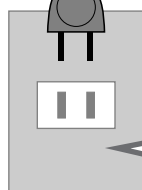
3 映像コード

ご使用のテレビにD端子やコンポーネント端子があるときは、73ページの接続をおすすめします。

直接テレビに接続してください。ビデオなどを経由してテレビに接続したり、ビデオ内蔵型テレビのビデオ入力端子に接続すると、再生時に画面が乱れることがあります。

AC入力～

4 スピーカーコード

端子のレバーと同じ色のコードをつなぎます。

お願い

- **誤った接続をすると、故障の原因になります。**
- スピーカーコードをショートさせないでください。回路が破損する恐れがあります。

（左スピーカー）

家庭用電源コンセント
（AC100 V 50/60 Hz）

5 電源コード

電源コードは最後に接続します。
- 電源コードを抜くときは...

① 電源 ⏻/I 押す。
② “GOODBYE”表示が消えてから抜く。

各部のなまえ

⑯などの数字は参照ページです。

本　体

MD挿入口 ㉛

SD挿入部 ㉙

∩（ヘッドホン）端子 ㊴

≜（MD取り出し）ボタン ㉛

SD、MD検知ランプ ㉘ ㉚

●CD高速録音CD ▶ SD・MD（連続イッキ録り）、CD ▶ SD、CD ▶ MD（イッキ録り）ボタン ㊽

リスト選択▲▼つまみ ㉝ ㊲

リスト／決定ボタン

戻るボタン

音量つまみ ⑯ ㉘ ㉚ ㊱

チェック（ディスク確認）ボタン ⑲

チェンジ ≜（ディスク交換）ボタン ⑰

電源 ⏻/I ボタン ⑯

表示部（☞ 下記）

FM/AM/AUX（バンド／外部入力切換）ボタン ㊲ ㊹

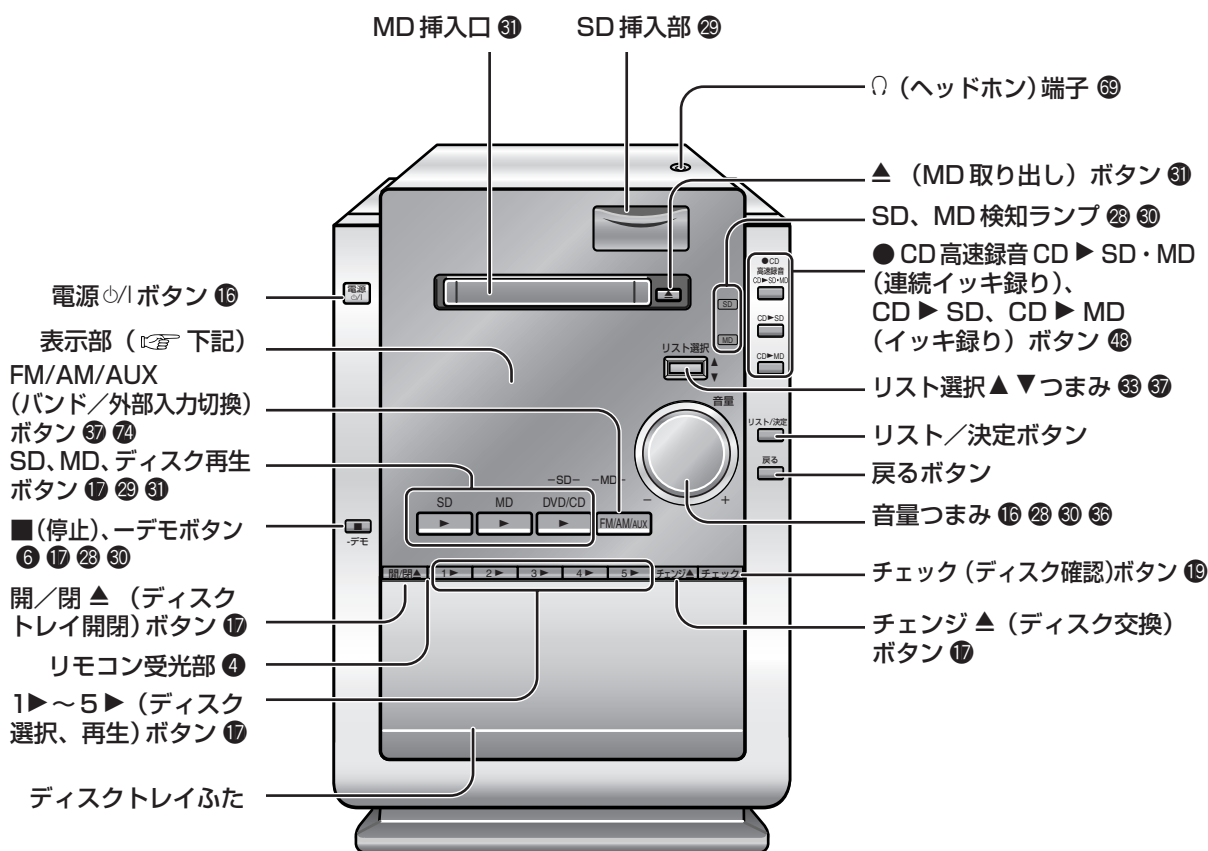
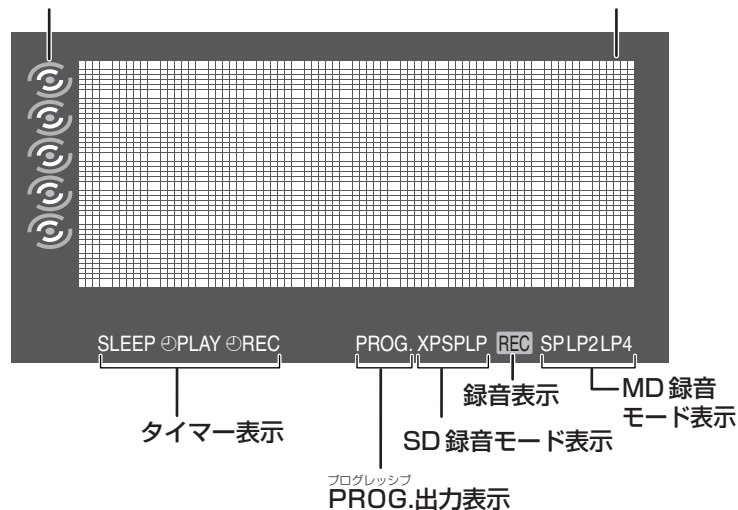
SD、MD、ディスク再生ボタン ⑰ ㉙ ㉛

■（停止）、ーデモボタン ⑥ ⑰ ㉘ ㉚

開／閉 ≜（ディスクトレイ開閉）ボタン ⑰

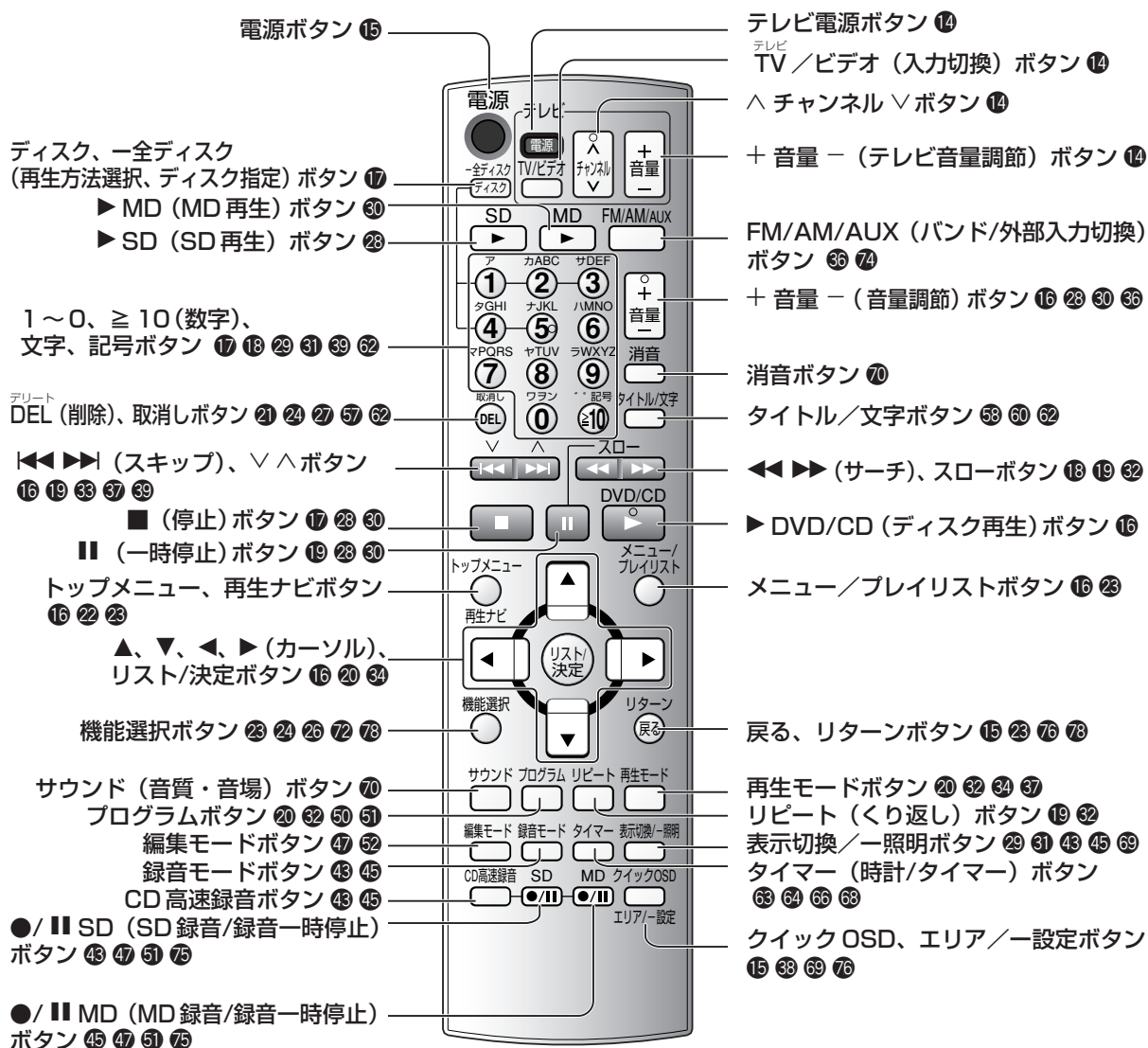
リモコン受光部 ④

1▶～5▶（ディスク選択、再生）ボタン ⑰

ディスクトレイふた

表示部

■スクリーンセーバー（焼き付き防止用の表示）について

オートオフ（☞ 68ページ）を設定していないとき、ボタン操作のない状態が約10分以上続くと表示がスクリーンセーバーに変わります。この状態で何かボタンを押すとスクリーンセーバーは解除されます。オートオフ設定時は、スクリーンセーバーは働きません。

表示が同じ場合、本体とリモコンの働きは共通です。

リモコン

本書の説明について

- リモコンでの操作を中心に説明します。
- 表示部の画面は説明のための例です。使用する DVD、CD、SD、MD などによって異なります。また、画面の一部を省略している場合があります。

本機で再生できるディスク (DVD/CD)

再生できるディスク

ディスクの名称およびロゴ		本書でのマーク	ディスクの構成（イラストは一例）
DVDビデオ		使える機能に、各マークがついています。 DVD-V	映像や音楽は、図のような構成で各ディスクに記録されています。ディスクによって呼称が異なります。 タイトル1（チャプター1、チャプター2、チャプター3）／タイトル2（チャプター1、チャプター2）
DVD-RAM		RAM	番組（プログラム） 番組1、番組2、番組3、番組4、番組5 プレイリスト プレイリスト1（シーン1、シーン2、シーン3）／プレイリスト2（シーン1、シーン2）
		JPEG	グループ1（コンテンツ1、コンテンツ2、コンテンツ3）／グループ2（コンテンツ1、コンテンツ2）
DVD-R DVD-RW		DVD-R（DVDビデオ）/ DVD-RW（DVDビデオ） DVD-V	（DVDビデオと同様）
		DVD-RW（DVD-VR） RAM	（DVD-RAMと同様 JPEGは除く）
＋R、＋RW	――	DVD-V	タイトル1（チャプター1、チャプター2、チャプター3）／タイトル2（チャプター1、チャプター2）
DVDオーディオ		DVD-A	グループ1（トラック1、トラック2、トラック3）／グループ2（トラック1、トラック2）
ビデオCD		VCD	トラック1、トラック2、トラック3、トラック4、トラック5
CD		CD	
CD-R/ CD-RW	――	CD（CD-DAフォーマット） VCD（ビデオCDフォーマット）	
		WMA/MP3 JPEG	グループ1（コンテンツ1、コンテンツ2、コンテンツ3）／グループ2（コンテンツ1、コンテンツ2）

再生できないディスク

- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- PAL方式で記録されたDVDビデオ
- DVD-RAM（2.6 GB、5.2 GB、TYPE 1）
- Ver.1.0のDVD-RW
- DVD-ROM ● CD-ROM ● CD-G
- SACD ● CDV ● Photo-CD
- ブルーレイディスク ● DivXビデオ
- Chaoji VCD（超級と呼ばれる市販のSVCD、CVD、DVCD） など

お知らせ

- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDの中には、ディスク側の制約により、本書の記載通りに動作しないディスクがあります。くわしくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
- 表示部に再生経過時間が出ないディスクや、メニュー画面付きビデオCDの場合、一部の機能が働かないことがあります。
- それぞれの規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。
- 使用するディスクや記録状態により再生できない場合があります。

●本書では、DVD、CD を総称して**ディスク**と表記します。
●ディスクへの記録状態によっては、本機で再生できない場合があります。
● DVD ビデオの場合は、映像方式が NTSC のディスクのみ再生できます。

説　明

発売地域ごとに割り当てられたリージョン番号が付与されています。
● 本機のリージョン番号は「**2**」です。
● 「**2**」（または「**2**」を含むもの）もしくは「**ALL**」とジャケットに記されているディスクが再生できます。

など

右の表のディスクが再生できます。

本機では、番組やプレイリストのほかに、**静止画**（JPEG）も再生できます。（再生できる JPEG は ☞ 88 ページ）

タイプ	● カートリッジなし ● カートリッジ付きでディスクを取り出せるもの（TYPE2、TYPE4）
容量	9.4 GB（両面、12 cm） 4.7 GB（片面、12 cm） 2.8 GB（両面、8 cm）
記録媒体	DVD ビデオレコーダー、DVD ビデオカメラなどビデオレコーディング規格 Ver.1.1（ビデオ録画のための統一規格）で記録されたもの

お知らせ
●**カートリッジ付きディスクの再生時は、必ずディスクをカートリッジから取り出し、使用後はカートリッジに収納してください。**（くわしくは、ディスクの説明書などをご覧ください）
● 取り出したディスクに傷や汚れをつけないでください。
● 番組と番組のつなぎ目などが滑らかに再生できない場合があります。

DVD ビデオレコーダーまたは DVD ビデオカメラで録画し、**ファイナライズ**※したディスクを、「**DVD ビデオ**」として再生できます。

DVD ビデオレコーダーまたは DVD ビデオカメラで、ビデオレコーディング規格 Ver.1.1 に準拠して録画し、**ファイナライズ**※したディスクが再生できます。

DVD ビデオレコーダーまたは DVD ビデオカメラで録画し、**ファイナライズ**※したディスクを、再生できます。

繊細な音色から立体的な音色までを、高音質で再生できます。
「**DVD ビデオ**」が記録されているディスクもあります。（DVD ビデオとして再生するときは GUI メニューで“DVD-Video として再生”を選ぶ ☞ 80 ページ「その他のメニュー」）

音楽や映像が記録されたディスクが再生できます。
スーパービデオ CD（SVCD ： IEC62107 準拠）も再生可能です。

通常の音楽 CD や文字情報を記録した **CD テキスト**のほかに、**HDCD** も再生できます。[ただし、ピークエクステンド機能（大きい音声の振幅を拡大する機能）には対応していません]
HDCD は、記録されている情報量が通常の音楽 CD より多く（16 ビット→ 20 ビット）、高音質とされています。
本機では、再生中、表示部に“HDCD”が表示されます。

● CD-DA、ビデオ CD、WMA、MP3、JPEG のいずれかのフォーマットで記録し、記録終了時に**セッションクローズまたはファイナライズ**※した CD-R と CD-RW が再生できます。
● WMA のマルチプルビットレート（☞ 88 ページ）には対応していません。
● **HighMAT™（ハイマット）で記録されたディスク**
WMA、MP3 または JPEG を HighMAT 規格に準拠して記録することで、プレイリスト再生が楽しめます。（☞ 22、88 ページ）

※再生対応機器で再生できるように処理すること。

ディスクのジャケットのマークについて（イラストは一例です）

■ **画面サイズ（横：縦）**

マーク	説明
4:3	● **標準（4：3）サイズ**
LB	● **レターボックス** 4：3 で上下に黒い帯が入った画面
16:9 LB	● **ワイド（16：9）サイズ** 標準（4：3）サイズのテレビではレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生
16:9 PS	● **ワイド（16：9）サイズ** 標準（4：3）サイズのテレビではパン&スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生

■ **その他**

2 音声数　 字幕数　 アングル数

SDを楽しもう

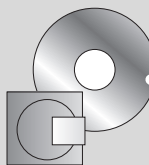
● 「SDについて」(☞ 86ページ)もご覧ください。

本機では、「SDオーディオフォーマット※」で記録されたデータを再生したり、録音したりできます。
※ SDアソシエーションにて制定されたSDメモリーカードのオーディオ規格です。

本機で使用できるカード

SDメモリーカード、miniSD™カード(専用アダプターが必要です)が使えます。
8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GBまで
最新情報はhttp://panasonic.jp/support/audio/で確認してください。

●高速録音するときは、当社製SDカードをご使用になることをおすすめします。
●マルチメディアカード(MMC)は使用できません。

録る

本機で録音した曲(音楽データ)は、SDオーディオフォーマットに対応した著作権保護付きの
AACデータとして
SDカードに記録されます。

聞く

本機で再生できるSDは、SDオーディオフォーマットで録音された音楽データ(AAC/WMA/MP3)※のみです。

静止画および動画は再生できません。

※AAC/WMA/MP3は音声の圧縮方式です。
WMA/MP3は、SD-Jukeboxで作成されたもののみ再生できます。

パソコンで楽しむには

別売のソフトウェア「SD-Jukebox Ver.5」を使うと、パソコンで再生できます。

必要なもの
- SD-Jukebox Ver.5
- セキュア(著作権保護機能)対応のSDメモリーカードスロットを装備した、Windowsパソコン
- USBリーダーライター(パソコンにスロットがない場合や、セキュア対応でない場合)

別売品のご紹介

SD オーディオ PC レコーディングキット
（SD-Jukebox Ver.5、USB リーダーライター付属）
- ● SH-SSK40

USB リーダーライター
- ● BN-SDCGP3

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。
Pana Sense http://www.sense.panasonic.co.jp/

別売品の品番は、2006 年 1 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

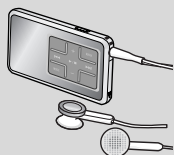
SD メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、SD メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、SD メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って SD メモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
SD メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

（2006年1月現在）

AACが再生可能なSDオーディオ対応機器で再生できます。

こんな機器で再生できます

SDオーディオプレーヤー（D-snapオーディオ）
- ●SV-SD770V※/SD710※
- ●SV-SD570V※/SD510※
- ●SV-SD370V※/SD310※
- ●SV-SD750V/SD700
- ●SV-SD350V/SD300
- ●SV-SD100V/SD90など

※2006年4月発売予定

SDマルチカメラ（D-snap）

- ●SV-AS30
- ●SV-AS3
- ●SV-AV35など

携帯電話

- ●NTTドコモ ：P902i
  ：P901iS
  ：P701iD
- ●au：W31SA*1/W32SA*1
  ：W32H*2
- ●ボーダフォン ：V801SA*3など

*1 タイトルが正しく表示されないことがあります。
*2 プレイリスト再生やタイトル表示には対応していません。
*3 プレイリスト再生やタイトル表示には対応していません。
256 MB以下のSDメモリーカードをご使用ください。

こんな機器では再生できません

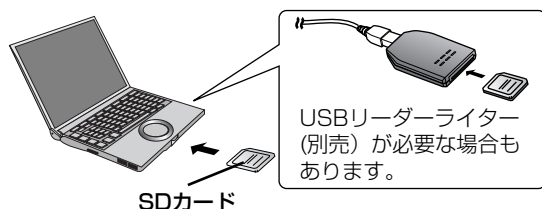
以下の当社製SD対応機器は、SDオーディオに対応していないため、本機との互換性はありません。

再生できない機器の例
- ●テレビ（ビエラ）
- ●デジタルカメラ
- ●SDカラオケマイク
- ●ICレコーダー
- ●DVDレコーダー（ディーガ）
- ●デジタルビデオカメラ（NV-C7を除く）
- ●カーオーディオ/カーナビ（ストラーダ）

他社製品との互換性

以下の条件を満たした機器であることを、カタログなどでご確認ください。
- ●**「SDオーディオ」対応機器であること**
  「SD Audio」「SD-Audio」のように記載されている場合もあります。
- ●**AAC（64、96、128 kbps）が再生可能なこと**

お知らせ

本機は、SDオーディオ規格に準拠したSDメモリーカードの録音・再生に対応していますが、すべてのSDオーディオ対応機器との動作互換を保証するものではありません。
動作確認済み機器については、ホームページ
（http://panasonic.jp/support/audio/mini/）をご覧ください。

SD-Jukebox Ver.5 を使うときは
- ● SD-Jukebox Ver.5 では漢字タイトルを入力できますが、本機の表示部は漢字/ひらがなタイトルに対応していないため、表示されません。
- ● 著作権保護のため、同じ曲をチェックアウト（パソコンから SD へ音楽データを書き込むこと）できる回数には制限があります。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先： (社) 私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽および映像作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したSDやMDを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本　　部	☎ (03) 3481-2121	静岡支部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中部支部	☎ (052) 583-7590
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
長野支部	☎ (026) 225-7111	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大宮支部	☎ (048) 643-5461	神戸支部	☎ (078) 322-0561
上野支部	☎ (03) 3832-1033	中国支部	☎ (082) 249-6362
東京支部	☎ (03) 3562-4455	四国支部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 5321-9530	九州支部	☎ (092) 441-2285
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5321-9881	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立川支部	☎ (042) 529-1500	那覇支部	☎ (098) 863-1228
横浜支部	☎ (045) 662-6551		

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」および「DTS 2.0＋Digital Out」はDTS社の商標です。

リモコンでテレビを操作する

当社製のテレビを、本機のリモコンで操作できます。
（一部機種を除く）
各操作について、くわしくはお手持ちのテレビの説明書をご覧ください。

テレビの電源を入/切する	電源	押す
テレビのテレビ/ビデオ入力を切り換える	TV/ビデオ	押す
テレビのチャンネルを選ぶ	∧ チャンネル ∨	押す（数字ボタンでは選べません）
テレビの音量を調節する	＋ 音量 −	押す

テレビに合わせて設定する

準備

テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える。
（ビデオ２など）

TV のアスペクト

- **お使いのテレビが標準（4：3）サイズのとき「4：3」を選択**
- **お使いのテレビがワイドサイズのとき「16：9」を選択**

お知らせ

「4:3」を選択した場合、16:9 の映像の表示方法は「パン＆スキャン」に設定されます。**初期設定画面**（☞ 76 ページ）で「レターボックス」に変更することもできます。

用語がよくわからないときは...
用語解説（☞ 85 ページ）
をご覧ください。

1 電源

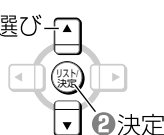
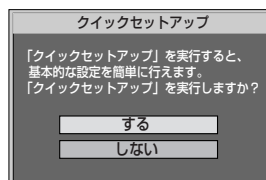
押して
電源を入れる

2 DVD/CD ▶

押して
“DISC” にする

3 クイックOSD エリア/−設定

押したままにする
お買い上げ後初めてのときは、テレビ画面に、基本的な設定が簡単に行える**クイックセットアップ画面**が表示されます。
（次回から**初期設定画面** ☞ 76 ページ）

4 ❶選び ❷決定

“する” を選択

画面のガイドに従って設定します。
設定を終えたら、［リスト／決定］を押す。

クイックセットアップで設定できる項目
- 画面メニュー言語
- 接続している TV
- TV のアスペクト（☞ 左記）

5 リターン

押す
初期設定画面が消えます。

■**ひとつ前の画面に戻る** ➡ リターン

■**クイックセットアップを “しない” にしたときは**
初期設定画面（☞ 76 ページ）になります。
必要に応じて初期設定を変更してください。
設定を終えたら、［戻る、リターン］を押す。

お知らせ
- DVD の映像の横縦比は、ディスクによって異なります。
- テレビ側の画面モードの設定が必要な場合もあります。

ディスク (DVD/CD) の再生

準　備

全ディスクに共通する、基本的な再生方法について説明します。

●DVD ビデオレコーダーなどで記録したディスクは、ファイナライズが必要な場合があります。「本機で再生できるディスク」(☞10ページ) をご確認ください。

電源

1 ディスクを入れる

2 再生方法を選ぶ

3 再生する

音量を調節する

本体で

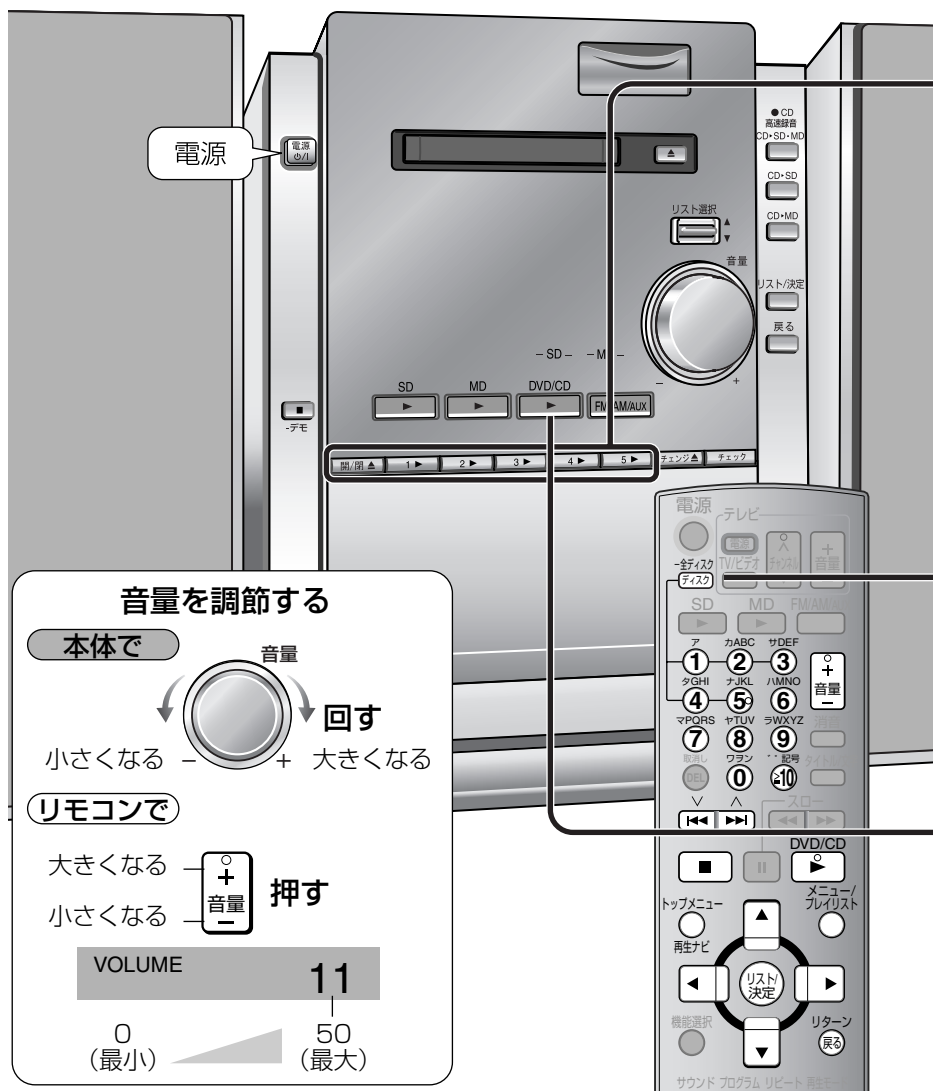
音量　回す

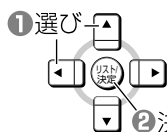
小さくなる －　＋ 大きくなる

リモコンで

大きくなる ＋ 音量 － 小さくなる　押す

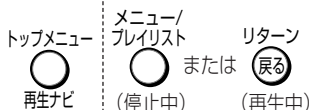
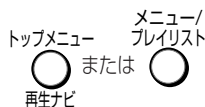
VOLUME 11

0 (最小)　50 (最大)

■メニュー画面が表示されたら

DVD-V DVD-A VCD

再生する項目を選択

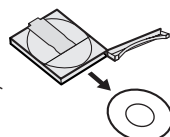
数字ボタンや [⏮ ∨、⏭ ∧] で選ぶディスクもあります。

メニュー画面に戻すときは

DVD-V	DVD-A	VCD
トップメニュー 再生ナビ または メニュー/プレイリスト	トップメニュー 再生ナビ	メニュー/プレイリスト (停止中) または リターン 戻る (再生中)

お知らせ

●テレビに "⊘この～" と表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。
●映像や音声が出るまでに時間がかかることがありますが、故障ではありません。
●＋R/＋RW では、総タイトル数が正しく表示されないことがあります。
●メニュー画面表示中も、ディスクは回転しています。本機のモーターの保護と、テレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■] (停止) を押して停止してください。
● VCD ALL DISC モードのとき、PBC（プレイバックコントロール）は解除されます。1 DISC モードで PBC を解除するときは、メニュー画面表示中に [■] (停止) を押してください。数字ボタンでの曲番指定などが可能になります。再び PBC に戻すときは、停止中に [メニュー／プレイリスト] を押す。

① テレビと接続する。（☞ 6〜7ページ）
② テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える。（ビデオ２など）

カートリッジ付き DVD-RAM は、カートリッジから取り出す。
（取り出しかたはディスクのジャケットなどでご確認ください。）

① 1► 2► 3► 4► 5►

押して好みのトレイを選ぶ

電源が入ります。

●すでにディスクが入っているときは、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

DISC

●“CD”または“DVD”と表示されることもあります。
●テレビ画面に、メニュー画面が表示されたら、左ページ下に従って操作してください。

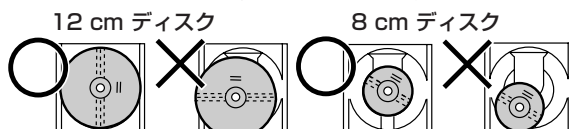
② 開/閉▲

押してトレイを開けてディスクを入れ
⬇
もう一度押して閉じる
（トレイを手で押して閉めない）

●各トレイにディスクを入れるには、手順①②をくり返す。

●トレイには、１枚のディスクを入れる。
●ラベル面を上に、図のように正しく置く。

12 cm ディスク　　8 cm ディスク

1枚

１枚のディスクを再生

-全ディスク ディスク **停止中に“1 DISC”が表示されるまで押したままにする**

1 DISC

1DISC（ディスク）モードになります。

すべて

すべてのディスクを連続再生
（VCD CD WMA/MP3 のみ）

-全ディスク ディスク **停止中に“ALL DISC”が表示されるまで押したままにする**

ALL DISC

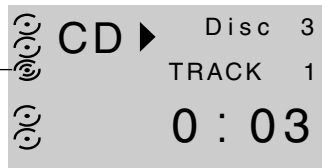
“A-D”が表示され、ALL DISC（オールディスク）モードになります。
● DVD-V DVD-A RAM JPEG は、連続再生できません。
●例えば、４枚目のトレイから再生を始めた場合、４→５→１→２→３の順に再生します。

DVD/CD ►

押す

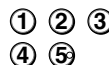
再生が始まります。

CD ► Disc 3
TRACK 1
0:03

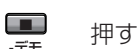
再生しているCD

■再生するディスクを選ぶときは

本体で （1 DISC モードになります）

1► 2► 3► 4► 5► 押す

リモコンで

-全ディスク ディスク 押して ➡ ① ② ③ ④ ⑤ 押す

（または［ディスク］→［▲、▼］→［リスト／決定］）

■途中で止める ➡

本体で
■ -デモ 押す

リモコンで
■ 押す

“RESUME”と表示されたときは、止めた位置が記憶されます。（**止めた位置から続きを再生** ☞ 18ページ）
もう一度押すと、記憶が解除されます。

停止中にディスクを交換する場合は、［開／閉 ▲］を押してトレイを開けます。

■再生中に他のディスクを交換する ➡

チェンジ▲ 押して 10秒以内 1► 2► 3► 4► 5► 押す

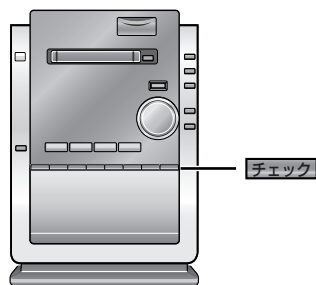
選んだトレイが開きます。
●閉めるには、［チェンジ ▲］を押す。
●ALL DISC モードでのプログラム／ランダム設定中は、操作できません。

再生

ディスク（DVD／CD）の再生

ディスク再生中の操作

準　備

ディスクを再生する。（☞ 16 ページ）

数字ボタンで 2 ケタ以上を選ぶには

例）25　⑩→②→⑤

WMA/MP3 JPEG は、

例）25
②→⑤→リスト/決定

例）125
①→②→⑤→リスト/決定

例）1255
①→②→⑤→⑤→リスト/決定

止めた位置から続きを再生

パワーオフリジューム

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

再生中または“RESUME”表示中に、電源を切ったり、他の音源（SD など）に切り換えたりすると、最後に再生した位置が記憶されます。

同じディスクが入っているときに

DVD/CD ▶ **押す**

記憶された位置から再生します。

- 一度再生すると、記憶は解除されます。
- “RESUME”が消えるまで［■］（停止）を押すと、記憶は解除されます。
- ディスクを取り出すと記憶は解除されます。
- 以下の場合には記憶されません。
  - 表示部に経過時間表示の出ないディスク（JPEG 除く）
  - プログラム、ランダム設定中
  - RAM のプレイリスト再生中
- ディスクによっては記憶できない箇所があります。

場面/曲を番号で選ぶ

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

再生するディスクを選び（☞ 17 ページ）

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ⑩ **押す**

再生が始まります。

WMA/MP3 JPEG は選んだあと［リスト／決定］を押す。（複数のグループがある場合は［▲、▼］を押して、先にグループを選んでおく。）

- 数字ボタンで 2 ケタ以上を選ぶには（☞ 左記）
- 停止中のみ働くディスクもあります。
- DVD-A は、先にグループを選んでおく。（☞ 24 ページ）
- プログラム/ランダム設定中は選べません。

早送り/早戻し

サーチ

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3

◀◀ ▶▶ 再生中に **数回押す**

押すたびに速くなります。（5 段階）

■通常再生に戻すには

［▶ DVD/CD］を押す。

DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM VCD

早送り 1 段階目のみ音声が聞こえます。

DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM

再生速度を微調整できます。（☞ 26 ページ）

場面/曲をとび越す

スキップ

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

[⏮ ⏭] 再生中/一時停止中に **数回押す**

押した回数だけとび越します。

例）

再生位置　再生方向

チャプター/トラック｜チャプター/トラック｜チャプター/トラック

2回　1回　1回　2回

例）RAM（番組）

再生位置　マーカー点　再生方向

番組｜番組｜番組

2回　1回　1回　2回　3回

RAM
- マーカーが記録されているときは、マーカー位置までとび越します。
- プレイリスト再生（☞23ページ）では、シーンの開始点までとび越します。
- コマーシャルが録画されていると、そこへとび越すことがあります。

WMA/MP3 JPEG ［▲、▼］を押すと、グループをとび越します。

一時停止/スロー再生/コマ送り

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

一時停止

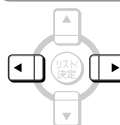
[⏸] 再生中に **押す**

DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM VCD（正方向のみ）

スロー再生

スロー [◀◀ ▶▶] 一時停止中に **押す**

押すたびに速くなります。（5段階）

コマ送り/コマ戻し

一時停止中に **押す**
- 押したままにすると、連続してコマ送り／コマ戻しします。
- ［⏸］（一時停止）でもコマ送りできます。（コマ戻しはできません。）

■**通常再生に戻すには**

［▶ DVD/CD］を押す。

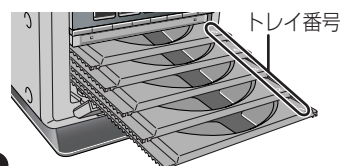
トレイのディスク(12 cm)を確認する

ディスクチェック

[チェック] **押す**

すべてのトレイが開きます。
（再生中のトレイは開きません。）
閉めるにはもう一度ボタンを押す。

お知らせ

ALL DISCモードでのプログラム／ランダム設定中は、操作できません。

お願い

チェック中は、次のことをお守りください。
- ディスクを出し入れしない。
- トレイをひっぱらない。
- トレイを手で押さない。

くり返し再生

リピート

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

ALL DISCモードやランダムプレイとも組み合わせて使えます。

リピート [ ] 再生中に **押して、リピートの種類を選ぶ**

TRACK REPEAT（1曲くり返し）
CONTENT REPEAT（1コンテンツくり返し）
GROUP REPEAT（1グループくり返し）
DISC REPEAT（再生中のディスク全曲くり返し）
CHAPTER REPEAT（1チャプターくり返し）
TITLE REPEAT（1タイトルくり返し）
PG REPEAT（1プログラムくり返し）
SCENE REPEAT（1シーンくり返し）
PL REPEAT（1プレイリストくり返し）
ALL REPEAT（ランダム/プログラムなどのプレイモード設定をした全曲くり返し）
A DISC REPEAT（ALL DISCモード時のみ）（通常再生時：全ディスク全曲くり返し）（ランダム/プログラムなどプレイモード設定時：設定した曲全曲くり返し）

- ディスクによって表示される種類は異なります。
- 表示部に経過時間表示の出ないディスク（JPEG除く）では働きません。
- GUIメニュー（☞78ページ）からも操作やリピート状態の確認ができます。

■**解除する**

［リピート］を押して“REPEAT OFF”を選ぶ。
- ［■］（停止）を押す、または、ディスクを取り出しても解除されます。（ただし、全ディスク全曲くり返し時は解除されません。）

■**HighMATで記録されたディスクのときは**

“CONTENT REPEAT”または“GROUP REPEAT”が選べます。

■**好みの場面／曲をくり返し再生するときは**

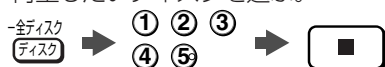
①場面／曲を好みの順に再生する。
（☞ 20ページ「プログラムプレイ」）
②再生中に［リピート］を押して“ALL REPEAT”または“A DISC REPEAT”を選ぶ。

■**好みの2点間をくり返すときは**

「A-Bリピート」（☞ 27ページ）

ディスクのいろいろな再生

準 備

① 電源を入れる。
② ディスクを入れる。（☞ 17ページ）
③ 再生したいディスクを選ぶ。

④ 再生方法を選ぶ。

● **1 枚のディスクを再生**

-全ディスク ディスク “1 DISC” が表示されるまで押したままにする。

●**すべてのディスクを再生（VCD CD WMA/MP3 のみ）**

-全ディスク ディスク “ALL DISC” が表示されるまで押したままにする。

数字ボタンで２ケタ以上を選ぶには

例）25 ≧10→②→⑤

WMA/MP3 JPEG は、

例）25 ②→⑤→リスト/決定　　例）125 ①→②→⑤→リスト/決定

例）1255 ①→②→⑤→⑤→リスト/決定

好みの順に再生

プログラムプレイ

DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3 JPEG

最大24曲/チャプターまで予約できます。

“ALL DISC”設定時

VCD CD WMA/MP3

すべてのディスクから予約できます。

準 備

テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える。（ビデオ２など）

1 プログラム 停止中に **押して**

↓

リスト/決定 **押す**

例） WMA/MP3 （テレビ画面）

順不同に再生

ランダムプレイ

DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3 JPEG

“ALL DISC”設定時

VCD CD WMA/MP3

1 DISC RANDOM：
　1 枚のディスクを順不同に再生
A DISC RANDOM：
　すべてのディスクを順不同に再生

VCD CD

1 再生モード 停止中に **押して**

“1 DISC RANDOM” または “A DISC RANDOM” を選ぶ

“RND” が表示されます。

DVD-V DVD-A WMA/MP3 JPEG

準 備

テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える。（ビデオ２など）

1 再生モード 停止中に **押して**

“1 DISC RANDOM” または “A DISC RANDOM” を選ぶ

“RND” が表示されます。

リスト表示で曲を探して再生

CD

CD のタイトル入力は（☞ 58ページ）

1 CD の停止中に **押す**

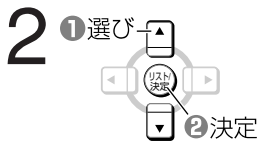
CD 選択画面になります。

CDのタイトルが入っていない　　CD以外（ディスクの種類を表示）

```
1．－－ DISC 1 －－
2． DVD-Video
3.Hit chart
4．◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
5．◆ No Disc ◆
```

ディスクが入っていない　　ディスクの情報が認識されていない

2

❶選び　❷決定

① “ALL DISC” 設定時 **ディスクを選択**

② **DVD-V タイトルを選択**
DVD-A WMA/MP3 JPEG グループを選択

③ **DVD-V チャプターを選択**
DVD-A VCD CD トラックを選択
WMA/MP3 JPEG コンテンツを選択

●続けて予約するときは[リスト／決定]を押して、手順①～③をくり返す。
●数字ボタンでも選べます。
WMA/MP3 JPEG の場合は、数字ボタン→[リスト／決定]で選んでください。（☞ 左ページ「数字ボタンで２ケタ以上を選ぶには」）
● “ALL” を選択すると、ディスク、タイトル、またはグループ内の全曲が予約されます。
●タイトル/グループのないディスク（CD など）で、タイトル/グループ入力が必要な場合（ディスクの情報が認識されていないときなど）は、“1” を選択してください。

3

DVD/CD ▶

押す

予約順に再生が始まります。

■解除する
停止中に [■]（停止）を数回押して、表示部の “PGM” を消す。“PROGRAM CLEAR” が表示され、すべての予約が取り消されます。

■通常の再生に戻す
停止中に [プログラム] を押して “PGM” を消す。（予約内容は保持）プログラムプレイに戻るには、手順 **1** と **3** を行う。

■予約を変更する
[▲、▼] で変更する項目を選んだ後、[リスト／決定] を押し、手順 **2** の操作で変更する。

■予約を取り消す
[▲、▼] で取り消したい項目を選んだ後、[DEL、取消し] を押す。
（または項目を選んだ後、[▲、▼、◀、▶] で “クリア” を選び、[リスト／決定] を押す。）

■すべての予約を取り消す
[▲、▼、◀、▶] で “オールクリア” を選び、[リスト／決定] を押す。

お知らせ
●ディスクを取り出す、電源を切る、他の音源（SD など）に切り換えるなどの操作をすると、予約は取り消されます。
●サーチは、再生している曲の中のみです。

2

DVD/CD ▶

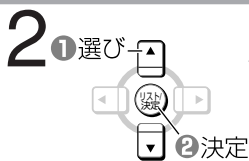
押す

順不同に再生が始まります。

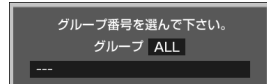
■解除する
停止中に、手順 **1** で “RND” 表示を消す。

お知らせ
●ディスクを取り出す、電源を切る、他の音源（SD など）に切り換えるなどの操作をすると、解除されます。
●ランダムプレイ中は、再生済みの曲へスキップできません。
●サーチは、再生している曲の中のみです。

2

❶選び　❷決定

“ALL” またはタイトル/グループ番号を選択

例）WMA/MP3（テレビ画面）

グループ番号を選んで下さい。
グループ ALL

DVD-A
● [◀、▶] で “オール” またはグループ番号を選び、[リスト／決定]を押す。（複数のグループが選べます。）
●グループ番号は数字ボタンでも選べます。（☞ 左ページ「数字ボタンで２ケタ以上を選ぶには」）
●上記手順と同じ操作で、選択の取り消しができます。

3

DVD/CD ▶

押す

順不同に再生が始まります。

---

①聞きたい CD を選択
②聞きたい曲(トラック)を選択

Track	16 — 曲数
1.Winter	
2.Summer	
3.Track 3	

選んだ曲から再生が始まります。

■停止中に 1 つ前の表示に戻る
[戻る、リターン] を押す。

■途中で止める
[■]（停止）を押す。

お願い
●再生中や “RESUME” 表示中、プログラム/ランダム設定中はリスト表示できません。設定を解除して、停止中に行ってください。
●テレビにメニュー画面（☞ 22、78 ページ）が表示されているときは、リスト表示ができません。メニュー画面を消してから操作してください。
● WMA/MP3 など、CD 以外のディスクでは、リスト表示からのトラック選択はできません。メニュー画面（☞ 22 ページ）で曲を選んでください。

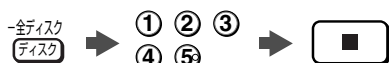
再生　ディスクのいろいろな再生

メニュー画面を使って再生

準 備

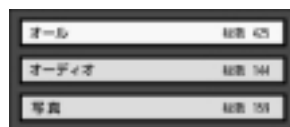
① 電源を入れる。
② テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える。
（ビデオ２など）

③ ディスクを入れる。（☞ 17 ページ）
④ 再生したいディスクを選ぶ。

-全ディスク ディスク ➡ ① ② ③ ④ ⑤ ➡ ■

⑤ WMA/MP3 は
-全ディスク ディスク "1 DISC" が表示されるまで押したままにする。

WMA/MP3/JPEG ファイル、CD テキストを再生

WMA/MP3 JPEG CD テキスト

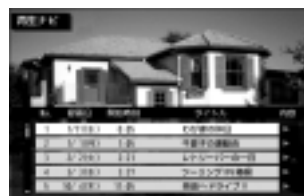
WMA/MP3 JPEG
ディスクを入れると**再生コンテンツメニュー**が表示されます。
（[トップメニュー] を押しても表示）
例）

メニュー画面表示中に
再生したい項目を選択
再生が始まります。

●音楽/静止画の混在ディスクでは、最初に "写真" を選び、静止画の再生を確認してからサブメニュー（☞ 右ページ）で "オール" または "オーディオ" を選ぶと、静止画を表示させたまま音楽を楽しむことができます。

再生ナビを使って再生

RAM

1 トップメニュー 再生ナビ **押す**
（再度押すと消える）

例）

再生ナビ表示中に [▶]（右カーソル）を押して、番組内容、ディスク内容を確認することができます。
（確認を終わるには[戻る、リターン]）

HighMAT（ハイマット）で記録されたディスクの再生

ディスクを入れると、メニュー画面が表示されます。

❶選び リスト/決定 ❷決定 **好みのプレイリストを選択**

メニュー：
このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表示します。

プレイリスト：
再生が始まります。

RAM（再生ナビ）　：番組リストが表示されます。**RAM**（プレイリスト）：好みのシーンを集めたリストが表示されます。
CDテキスト　：記録されているディスク／アーティスト／トラック名が表示されます。
WMA/MP3 **JPEG**：パソコンで付けたフォルダ名／ファイル名は、グループ名／コンテンツ名として表示されます。

■ナビメニューを使う

WMA/MP3 **JPEG** **CDテキスト**

① ［メニュー/プレイリスト］を押す。
② ［▲､▼､◀､▶］で項目を選び、［リスト／決定］を押す。

例）**WMA/MP3**

■サブメニューを使う **WMA/MP3** **JPEG**

① **ナビメニュー表示中に**［機能選択］を押す。
② ［▲､▼］で項目を選び、［リスト／決定］を押す。

例）

項目	説明
✓マルチ	グループとコンテンツを同時に表示
リスト	コンテンツを表示
ツリー	グループを表示
サムネイル	画像の一覧画面を表示（**JPEG**のみ）
次グループ	次のグループへ進む
前グループ	前のグループへ戻る
オール	全ての項目を表示
✓オーディオ	WMA/MP3 コンテンツのみ表示
写真	JPEG コンテンツのみ表示
✓ヘルプ表示	操作ガイドと再生状況表示の切り換え
検索	タイトルの検索（☞ 右記）

■ひとつ前の画面に戻るときは

［戻る、リターン］を押す。

■グループ/コンテンツをタイトルで検索する

WMA/MP3 **JPEG**

●ハイライトがグループ画面にあるときはグループ検索、コンテンツ画面にあるときはコンテンツ検索になります。
●ひらがな、カタカナ、英数字を、**ローマ字**で検索します。（大文字／小文字は区別されません。）

例）タイトルに「うた」を含む曲を探す。

① サブメニューで“検索”を選び、［リスト／決定］を押す。
② ［▲､▼］で“U”を選び、［リスト／決定］を押す。
　［▲］を押すたびに
　A→B→…→Z→0→1→…→9→A...
　続けて“T”“A”と選びます。
　“＊”は消さないでください。
③ ［▶］（右カーソル）で“検索”を選び、［リスト／決定］を押す。
④ ［▲､▼］で曲を選び、［リスト／決定］を押す。
　再生が始まります。

入力した文字で始まるタイトルを探す

手順①の後、［◀］で“＊”を消してから入力する。

お知らせ

●数字は、数字ボタンでも入力できます。
●［◀◀ ▶▶］で「A、E、I、O、U」にスキップします。
●確定した文字を変更するには、［◀］を押して、文字を選び直します。

---

2 番組を選択

❶選び　❷決定

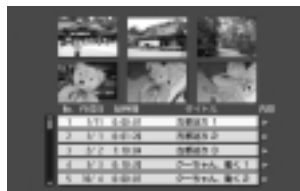
背景で、選んだ番組が再生されます。
●番組やプレイリスト（☞ 右記）は、数字ボタンでも選べます。

2ケタ以上を選ぶには

例）25　⑩→②→⑤

■プレイリストを再生する

① ［メニュー/プレイリスト］を押す。
② ［▲､▼］でプレイリストを選び、［リスト／決定］を押す。

例）

プレイリスト選択中に［▶］（右カーソル）を押すと、内容選択画面になります。“シーン一覧”を選ぶと、好きなシーンを再生することができます。

■番組/プレイリスト/静止画（JPEG）の混在ディスクで静止画（JPEG）を再生する

① ［機能選択］を押す。
② ［▲、▼］で“その他の設定”を選び、［リスト／決定］を押す。
③ 同じ操作で“その他のメニュー”を選択する。
④ 同じ操作で“データディスクとして再生”を選択する。

■リスト画面から選んで再生する

① 再生中に、［メニュー／プレイリスト］を押す。
（再度押すと消える）

② ［◀］→［▲、▼］でプレイリスト／グループ／コンテンツのリストを切り換える。
③ ［▶］（右カーソル）→［▲､▼］で選び、［リスト／決定］を押す。

■メニュー画面に戻るには

［トップメニュー］を押してから［戻る、リターン］を数回押す。

■ディスクに記録されたメニュー画面に切り換えるには

メニュー画面表示中に、［機能選択］を押す。

■メニュー画面を消すには

［■］（停止）を押す。

お知らせ

プログラムプレイ／ランダムプレイなどを行うときは、あらかじめGUIメニューで“データディスクとして再生”を選んでおきます。（☞ 80ページ）

メニュー画面を使って再生（つづき）

G U I(Graphical User Interface)とは「テレビ画面を見ながらディスクの操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、この画面を「GUI メニュー」と呼びます。

GUI メニューの使いかた

DVD-V GUI メニューの一例

1 機能選択

再生中に
押して GUI メニューを表示させる

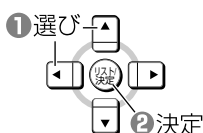
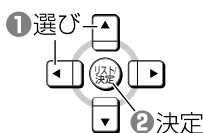
2 ❶選び ❷決定

変更したい
項目を選択
同じ操作をくり返し、変更したい項目まで階層メニューを進めます。

3 ❶選び ❷決定

好みの
設定を選択
数字ボタン→［リスト／決定］で設定できるものもあります。

■GUI メニューを消す ➡ リターン

お願い

録音中は操作しないでください。録音が途切れる原因になります。

グループを選んで再生

DVD-A WMA/MP3 JPEG

複数のグループがあるディスクを再生中に、GUI メニューで“グループ”を選び
再生したいグループを選択

例） WMA/MP3 （テレビ画面）

グループサーチ ⇕ 1

選んだグループの再生が始まります。

- テレビにナビメニューなど（☞ 22～23ページ）が表示されているときは、メニュー画面を消してから操作してください。
- グループは、数字ボタン→［リスト／決定］でも選べます。

■すべてのグループを再生する DVD-A

① 停止中に［再生モード］を押して“ALL GROUP”を選ぶ。（“GRP”が表示）
② ［▶ DVD/CD］を押す。
再生が始まります。

解除するには、①で“GRP”表示を消す。

■ボーナスグループを再生する DVD-A

ボーナスグループ付きディスクは、暗証番号（ジャケットなどに記載）を入力することでボーナスグループを再生できます。

① 停止中に、GUI メニューでボーナスグループを選び、［リスト／決定］を押す。
② 数字ボタンで画面に暗証番号を入力し、［リスト／決定］を押す。
まちがえたときは、［リスト／決定］を押す前に［DEL、取消し］を押してやり直す。
ボーナスグループの再生が始まります。

お知らせ

電源を切る、他の音源（SD など）に切り換える、ディスクを取り出す、などの操作をすると、暗証番号の再入力が必要になる場合があります。

●GUI メニューについて、くわしくは☞ 78～79 ページ

音声の切換

DVD-V DVD-A RAM VCD

複数の音声があるディスクの再生中に、
GUI メニューで“音声”を選び
音声の種類を選択

DVD-V DVD-A VCD
カラオケディスクはカラオケの入／切ができます。ジャケットなどをご覧ください。

DVD-A
- 切り換わる音声がなくても、音声番号は２つまで表示されます。
- 静止画付トラックと音声のみのトラックでは、音声が切り換わると、曲の先頭に戻ります。（RAM の静止画部分でも同様）

字幕の切換

DVD-V
DVD-A（動画部のみ）
RAM（入／切のみ）
VCD（SVCD のみ）

字幕があるディスクを再生中に、
GUI メニューで“字幕”を選び
字幕を“入”にし、
さらに、字幕が複数ある場合は、
字幕言語を選択

お知らせ
- 表示するまでに、少し時間がかかることがあります。
- ＋R/＋RW では、字幕が記録されていなくても字幕番号が表示されることがあります。
- SVCD は、複数の字幕がなくても番号のみ切り換わります。
- 当社製 DVD ビデオレコーダーで作成したディスクは、字幕の入/切ができません。

好みの静止画を選ぶ

ページスキップ
DVD-A（静止画付）

複数の静止画があるディスクを再生中に、
GUI メニューで“静止画”を選び
“次静止画”（または“前静止画”）を選択

選択するたびに、静止画が切り換わります。

画像回転

JPEG

静止画を再生中に、
GUI メニューで“画像回転”を選び
“右 90゜回転”（または“左 90゜回転”）を選択

選択するたびに、右（または左）に 90゜ずつ回転します。

お知らせ
GUI メニューでスライドショーの入/切や表示間隔の設定も行えます。（☞ 79 ページ）

アングルの切換

DVD-V
DVD-A（動画部のみ）

複数のアングルがあるディスクを再生中に、
GUI メニューで“アングル”を選び
アングルの種類を選択

メニュー画面を使って再生（つづき）

G U I（Graphical User Interface）とは「テレビ画面を見ながらディスクの操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、この画面を「GUI メニュー」と呼びます。

GUI メニューの使いかた

■ GUI メニューを消す ➡ リターン 戻る

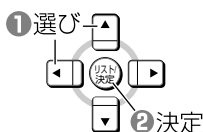
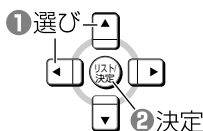
お願い

録音中は操作しないでください。録音が途切れる原因になります。

1 機能選択

再生中に
押して GUI メニューを表示させる

2 ❶選び ❷決定

3 ❶選び ❷決定

DVD-V GUI メニューの一例

変更したい
項目を選択

同じ操作をくり返し、変更したい項目まで階層メニューを進めます。

好みの
設定を選択

数字ボタン→［リスト／決定］で設定できるものもあります。

映像を拡大

ぴったりズーム

DVD-V
DVD-A（動画部のみ）
RAM VCD

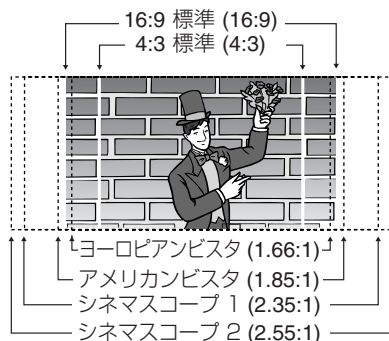
いろいろな横縦比の映像を拡大し、お使いのテレビの画面サイズに近づけます。

準 備

「初期設定」の“TV アスペクト”をテレビに合わせて設定する。（☞ 76 ページ）

再生中に、
GUI メニューで“その他の設定”→“表示メニュー”を選び
ぴったりズームの種類を選択

スクリーンサイズ（横縦比）が切り換わります。

■ぴったりズームの種類について

お知らせ

ぴったりズームで“オート”を選択したときは
●テレビのオートズーム機能を「切」にしてください。
●映像全体が暗いときは、ズーム機能が働かないことがあります。
●映像の黒い部分が激しく変化するようなディスクでは、正しくズーム機能が働かないことがあります。
●映像の上下が隠れるときは「任意ズーム」（☞ 80 ページ）をお使いください。

再生速度を微調整

DVD-V
DVD-A（動画部のみ）
RAM

セリフなどを聞きながら速く再生したり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときなどに使います。

再生中に、
GUI メニューで“その他の設定”を選び
再生速度を選択（☞ 80 ページ）

お知らせ

● ［▶ DVD/CD］を押すと、通常再生に戻ります。
● ディスクによっては働かない箇所があります。
● 速度変換モード中は
　－デジタル出力が PCM（44.1 kHz または 48 kHz）に切り換わります。
　－アドバンストサラウンド、マルチ リ.マスター、サウンドエンハンスメントは働きません。（☞ 70、72 ページ）

ディスク内容を手早く確認

アドバンストディスクレビュー

DVD-V RAM

一定間隔で数秒間ずつ再生（レビュー）します。

再生中または停止中に、
GUI メニューで“その他の設定”→“再生メニュー”を選び
“アドバンストディスクレビュー”を選択

現在の位置からレビューが始まります。ディスクの終わりまでくると冒頭に戻り、レビューを続けます。

■レビューの方法について

レビューのしかたは下記の 2 通りあり、初期設定（☞ 76 ページ）で変更できます。

イントロモード（お買い上げ時）：
タイトル/プログラムの冒頭部分を数秒ずつ再生。

インターバルモード：
タイトル/プログラムの冒頭部分に加え、タイトル/プログラム内を約 10 分おきに数秒ずつ再生。

■解除する

[▶ DVD/CD]で通常再生に戻ります。レビューを解除し、ディスクを止めたいときは［■］(停止）を押します。

お知らせ

- ＋R/＋RW では働きません。
- 以下の場合はレビューできません。
  - －表示部に経過時間が表示されないとき
  - －プログラム、ランダム設定中
  - － RAM のプレイリスト再生中や、静止画再生中
- レビュー中は、［▶▶I ∧］で次の位置にスキップできます。
- リピート再生中にレビューを行うと、リピートは解除されます。（ただしオールリピートは解除されません。）
- RAM でサムネイルを設定している場合は、冒頭部分ではなくサムネイル位置を再生します。

2 点間をくり返す

A-B リピート

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3

1 再生中に、
GUI メニューで“その他の設定”→“再生メニュー”を選び
“A-B リピート”を選択

2 （リスト/決定）**始点（A）で押す**
↓
終点（B）で押す

■解除する

① GUI メニューで“A-B リピート”を選択する。
② [リスト／決定] を押して“＊＊”を表示させる。
- ［■］(停止）を押しても解除されます。

お知らせ

RAM の静止画部分には働きません。

好みの位置にマークを付ける

マーカー

DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3 JPEG

最大 5 カ所まで付けられます。

1 再生中に、
GUI メニューで“その他の設定”→“再生メニュー”を選び
“マーカー”を選択

2 （リスト/決定）**好みの位置で、押す**
続けて付けるには [◀, ▶] → [リスト／決定] を押す。

■マークを付けた位置から再生する

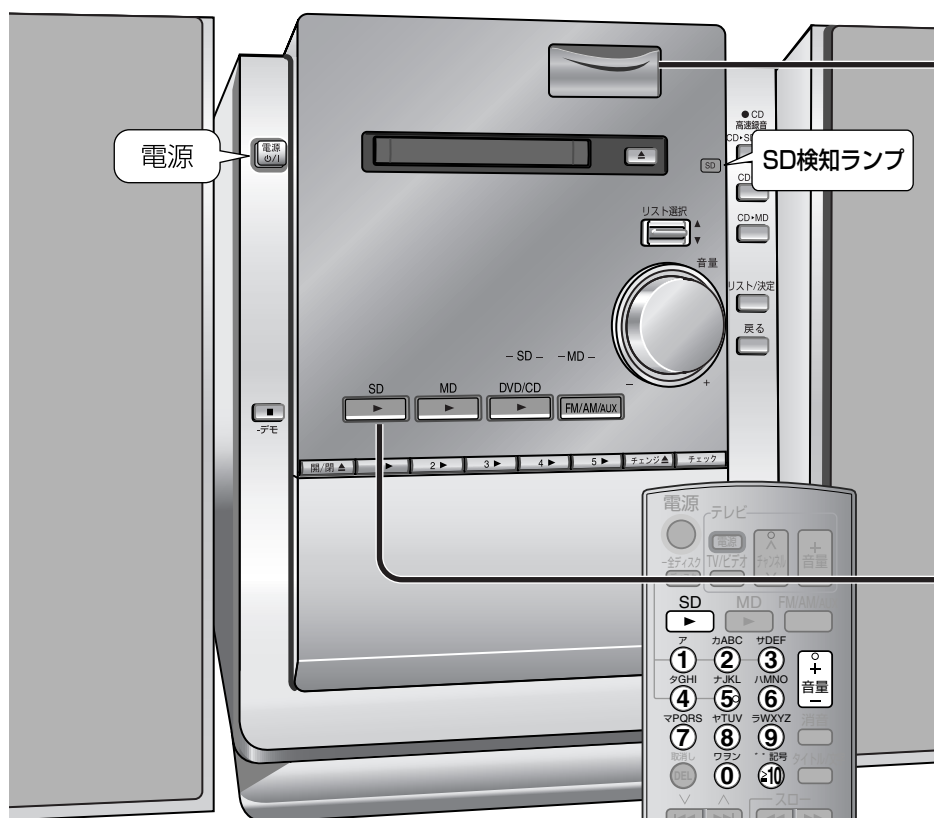
手順 1 を行った後、[◀, ▶] で再生するマーカーを選び、[リスト／決定] を押す。

■マークを取り消す

手順 1 を行った後、[◀, ▶] で取り消すマーカーを選び、[DEL、取消し] を押す。

お知らせ

- 電源を切る、他の音源（SD など）や他のディスクに切り換える、ディスクを取り出す、などの操作をすると、マーカーは解除されます。
- プログラム/ランダム設定中は働きません。
- RAM の場合、ディスクにあらかじめ付いていたマーカーにとび越すことができます。（☞ 79 ページ）

SDの再生

電源

SD検知ランプ

1
SDを入れる

2
再生する

■途中で止める ➡ 本体で

-デモ 押す

リモコンで

■ 押す

■一時停止する ➡ II 押す

再開するには、[▶ SD］を押す。

■使用可能なSDメモリーカードについて

本機では以下の容量（8 MB～2 GBまで）のSDメモリーカードが使用できます。

8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GBまで

最新情報はhttp://panasonic.jp/support/audio/でご確認ください。

① 上部を押して ふたを開ける

② SDカード（録音済み）を入れる

③ ふたを閉める

ふたが開いていると、SDの再生はできません。

SDモードになっているとき

SD
T. 17 — 曲数
54：30 — 総再生時間

（1曲も録音されていない、または再生できるデータがないSDカードを入れたときは、"NO TRACK"と表示されます。）

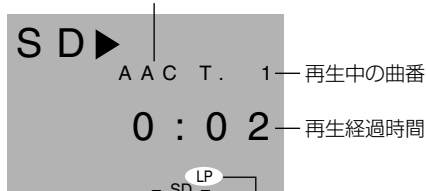
●SDを入れ、ふたを閉めると、SD検知ランプが点灯します。（録音、記録中は点滅）

miniSD™カードをお使いの場合

miniSD™アダプターが必要です。

miniSD™アダプター
miniSD™カード

押す

再生が始まります。

再生中の曲の録音モード表示（☞右記）

電源「切」時にSDが入っているときは、この操作だけで自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

■再生できるデータ形式について

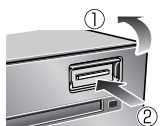
本機では、「SDオーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/WMA/MP3）のみ再生できます。（WMA/MP3は、SD-Jukeboxで作成されたもののみ）
静止画および動画の再生はできません。

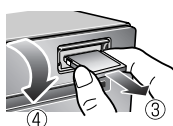
■録音モードについて

本機で録音した曲の再生中は、表示部に録音時の録音モードが表示されます。
- 高音質モードで録音した曲　：“XP”
- 標準モードで録音した曲　：“SP”
- 長時間モードで録音した曲　：“LP”

他の機器で録音した曲や、WMA/MP3の曲の場合は、録音モードが表示されないことがあります。

録音モードを選んで録音するには
（☞43ページ）

■SDを取り出す

① 停止中にふたを開ける。

② カードの中央部を指で押す。（指ではさめるくらいカードが出る。）

③ まっすぐ引き抜く。

④ ふたを閉める。

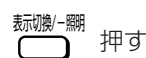
お願い

“CARD Writing”表示中やSD検知ランプの点滅中は、絶対にふたを開けたり、SDを取り出さないでください。SDが使えなくなることがあります。

■曲を番号で選ぶ ➡ ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪≧10 押す

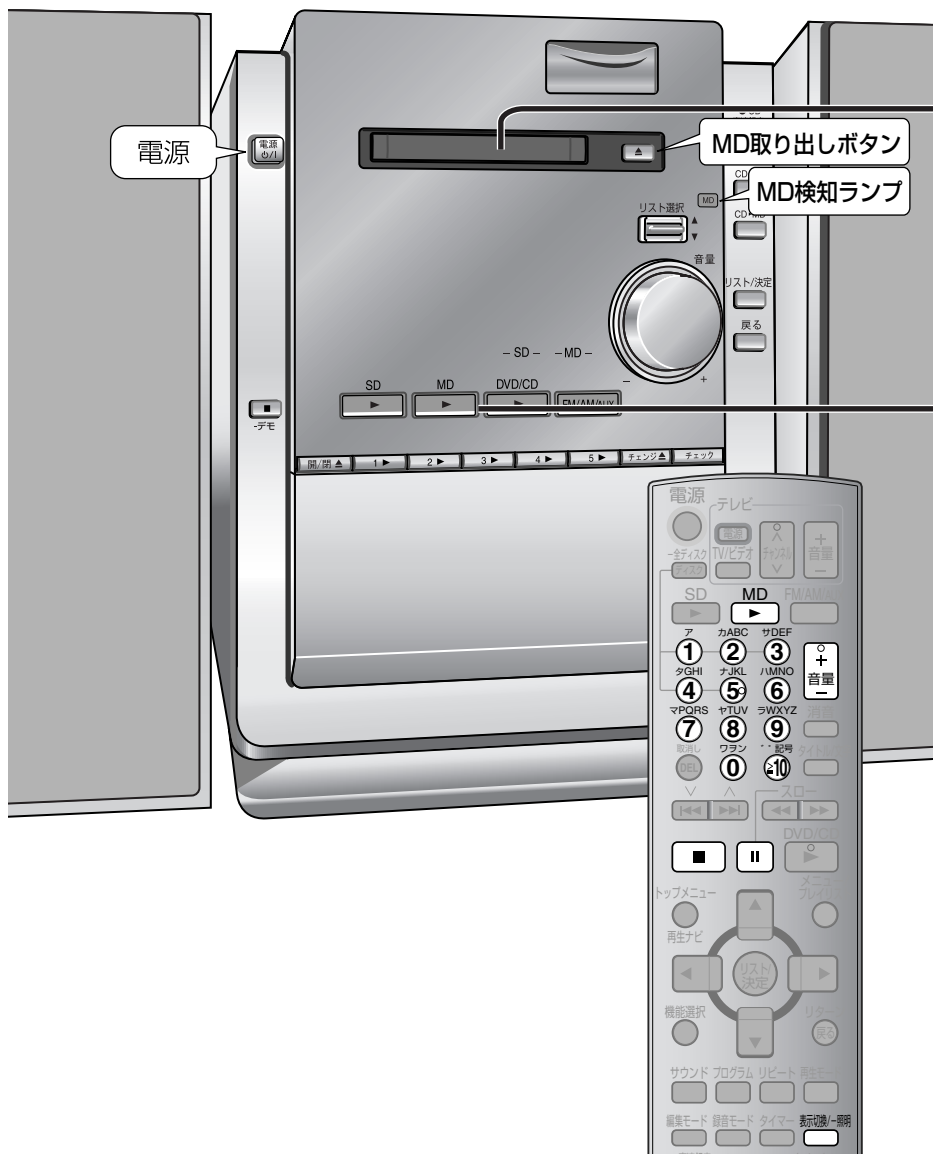
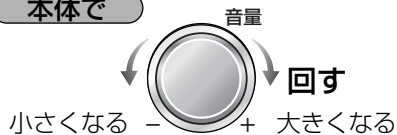
2ケタ以上を選ぶには
- **2ケタ**：例）25
  ≧10→②→⑤
- **3ケタ**：例）125
  ≧10→≧10→①→②→⑤

プログラム/ランダム設定中、プレイリスト再生中は、選べません。設定を解除してください。

■残り時間などを見る ➡ 表示切換/-照明 押す

押すたびに残り時間などの表示に切り換わります。

再生

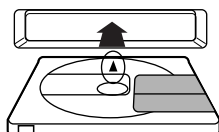
SDの再生

MD の再生

電源

MD取り出しボタン

MD検知ランプ

1 MD を入れる

2 再生する

MDを入れる

電源が入り、途中から自動的にMDが引き込まれます。

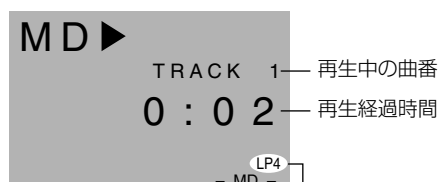
MDモードになっているとき

MD
TRACK 17 — 曲数
54:30 — 総再生時間

（1曲も録音されていないときは、“BLANK DISC”と表示されます。）

●MDを入れると、MD検知ランプが点灯します。（録音、記録中は点滅）

押す

再生が始まります。

MDLP のモード表示（☞右記）

電源「切」時にMDが入っているときは、この操作だけで自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

■ MDLP（長時間ステレオ録音／再生）について

MDLP は、音声圧縮技術によって、長時間（2倍または4倍）のステレオ録音､再生ができる方式です。
録音したときのモード（SP/LP2/LP4）に従って再生します。

再生時には、表示部に次のように表示されます。
- 標準時間録音（ステレオ）した曲：“SP”
- 2倍長時間録音（ステレオ）した曲：“LP2”
- 4倍長時間録音（ステレオ）した曲：“LP4”

MDLP で長時間録音するには（☞45ページ）

■曲を番号で選ぶ ➡

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⓪ ≧10 押す

2ケタ以上を選ぶには
●**2ケタ**：例）25
≧10→②→⑤
●**3ケタ**：例）125
≧10→≧10→①→②→⑤

プログラム/ランダム/1グループブレイ設定中は、選べません。設定を解除してください。

■残り時間などを見る ➡

表示切換/−照明 押す

押すたびにタイトルや残り時間などの表示に切り換わります。

Winter
−2:05

■MDを取り出す ➡

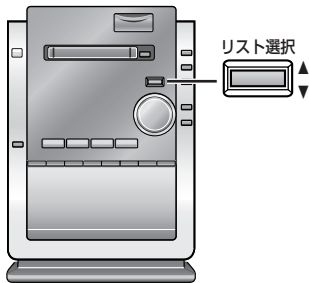
 押す

SD/MD のいろいろな再生

準 備

① 電源を入れる。
② SD / MD を入れる。（☞ 29、31 ページ）
③ “SD” / “MD” に切り換える。

● SDのとき

● MDのとき

数字ボタンで 2 ケタ以上を選ぶには

● **2 ケタ**：例）25
⑩ → ② → ⑤

● **3 ケタ**：例）125
⑩ → ⑩ → ① → ② → ⑤

早送り／早戻し

サーチ

SD MD

◀◀ ▶▶

再生中／一時停止中に
聞きたい位置まで押したままにする

くり返し再生

リピート

SD MD

プログラムプレイやランダムプレイと組み合わせて使えます。

リピート 再生中に
押す

REP)
REPEAT ON

リピート再生中は “REP)” または “)” が表示されます。

好みの順に再生

プログラムプレイ

SD MD

好みの数曲や 1 曲を選んで、好きな順に聞くことができます。最大 24 曲まで予約できます。

1 プログラム 停止中に
押す

PGM P:00 0

“PGM” が表示されます。

順不同に再生

ランダムプレイ

SD MD

1 再生モード 停止中に
押して “RANDOM” を選ぶ

RND
RANDOM

“RND” が表示されます。

●選択操作で迷ったときは**「操作メニュー一覧」**（☞ 81 ページ）

曲をとび越す

スキップ

SD MD

本体で

上下に動かす

リモコンで

押す

■**解除する**
［リピート］を押して“REPEAT OFF”を選ぶ。
再生を止めたり、SD や MD を取り出しても解除されます。

■**好きな曲を選んでくり返す/1 曲だけをくり返す**
プログラムプレイ中（☞ 下記）に、［リピート］を押す。

■**順不同にくり返す**
ランダムプレイ中（☞ 下記）に、［リピート］を押す。

■**プレイリストをくり返す**（SD のみ）
リスト表示からプレイリストを再生中（☞ 34 ページ）に、［リピート］を押す。

■**グループ全体をくり返す**（MD のみ）
1 グループプレイ中（☞ 34 ページ）に、［リピート］を押す。

---

2 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ⑩ **押して曲番を選ぶ**

●数字ボタンで 2 ケタ以上を選ぶには（☞ 左ページ）
●続けて予約するときは、手順 **2** をくり返す。（最大 24 曲）

3 SD ► / MD ►

押す
予約順に再生が始まります。

■**途中で止める**
再生中に［■］（停止）を押す。

■**すべての予約を取り消す**
停止中に［■］（停止）を押す。
“PROGRAM CLEAR”が表示され、すべての予約が取り消されます。

■**通常の再生に戻す**
停止中に［プログラム］を押して“PGM”を消す。（予約内容は保持）プログラムプレイに戻るには、手順 **1** と **3** を行う。

■**予約を追加する**
停止中に、数字ボタンで曲番を選ぶ。

■**予約内容を確認する**
停止中に、［⏮ ∨、⏭ ∧］を押す。

お知らせ
●電源を切ったり、他の音源（ラジオなど）に切り換えても予約内容は保持しています。
●SD や MD を取り出すと、予約内容は取り消されます。
●予約曲を選んで取り消すことはできません。
●プログラムプレイ中のサーチは、MD の場合、予約順に行われ、SD の場合、再生中の曲の中だけで行われます。

2

押す
順不同に再生が始まります。

■**解除する**
停止中に、手順 **1** で“PLAY MODE OFF”を選ぶ。
SD や MD を取り出しても解除されます。

お知らせ
●電源を切ったり、他の音源（ラジオなど）に切り換えてもランダムプレイは保持しています。
●ランダムプレイ中は、再生済みの曲へスキップできません。
●サーチは、再生している曲の中のみです。

SD/MD のいろいろな再生（つづき）

準　備

① 電源を入れる。
② SD / MD を入れる。（☞ 29、31 ページ）
③ “SD” / “MD” に切り換える。

● SD のとき

● MD のとき

リスト表示で曲を探して再生

SD MD

聞きたい曲のタイトルをリストから探して再生できます。

タイトル入力は（☞ 58 ページ）

1 停止中に
押す

例）MD のとき
（グループがある場合）

グループ数

GROUP 7
1.Group1

お願い

再生中やプログラム/ランダム/1 グループ設定中は、リスト表示できません。
設定を解除し、停止中に行ってください。

グループを選んで再生

1 グループプレイ

MD

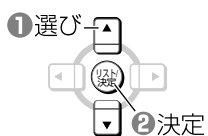
MD をグループ（連続したの曲の集まり）単位で再生できます。

あらかじめ曲をグループにまとめてください。
（☞ 54 ページ）

1 再生モード 停止中に
押して“1-GROUP”を選ぶ

GRP
1– GROUP

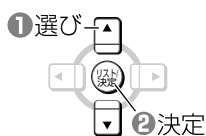
“GRP” が表示されます。

2

（プレイリストやグループがある場合）

SDのプレイリストや MDのグループを選択

2.Pops
3.Jazz
– Track List –

すべてのトラックタイトルの中から曲を選ぶ場合は "Track List" を選択します。

3

聞きたい曲（トラック）を選択

Track 16—曲数
1.Winter
2.Summer
3.Track 3
4.Track 4

選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ

- SDのプレイリスト（再生したい順に並べたもの）や、MDのグループ（連続した曲の集まり）は、あらかじめ作成しておく必要があります。
  - MDの曲をグループにまとめる（☞ 54ページ）
  - SDのプレイリストを作成する（☞ 56ページ）
- 表示される文字数は1タイトルにつき最大32文字です。

■**途中で止める**
[■]（停止）を押す。

■**停止中に1つ前の表示に戻る**
[戻る、リターン] を押す。

■**SDをプレイリスト単位で再生する**
手順**2**で聞きたいプレイリストを選択し、手順**3**で最初のトラックを選択する。

2

好みのグループが表示されるまで

何回か押す

G. 2 T. 11
My Best

グループに付けたタイトル

3

押す

再生が始まります。

■**途中で止める**
[■]（停止）を押す。

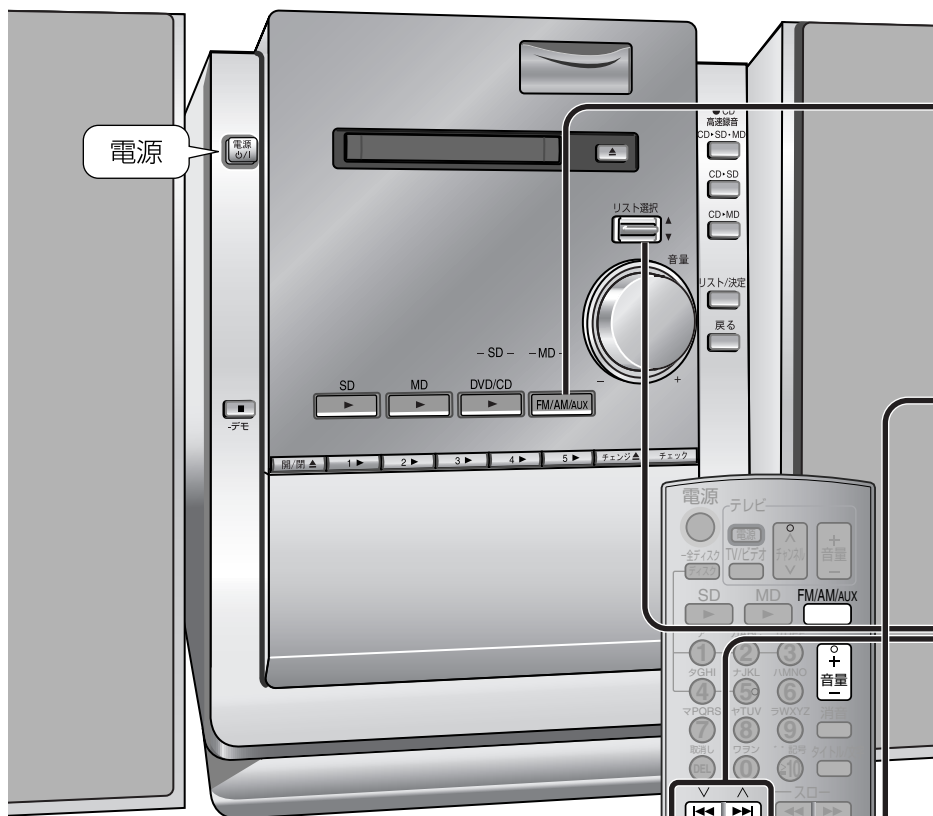
■**解除する**
手順**1**で "PLAY MODE OFF" を選ぶ。
MDを取り出しても、解除されます。

■**グループをとび越す（グループ・スキップ）**
停止中に、好みのグループが表示されるまで［◀、▶］を何回か押す。

再生

SD／MDのいろいろな再生（つづき）

ラジオを聞く

準　備

1 バンドを選ぶ

2 放送局の探しかたを選ぶ

3 放送局を探す

音量を調節する

本体で

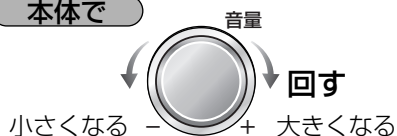
小さくなる – 音量 + 大きくなる　回す

リモコンで

大きくなる / 小さくなる　＋音量－　押す

VOLUME 11

0（最小）　50（最大）

■自動選局する（オートチューニング）

■FM ステレオ放送で雑音が多いときは

お知らせ

- ●オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。
- ●本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。
- ●山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの設置をおすすめします。
- ●テレビの電源を切ると受信状態がよくなることがあります。

ラジオを聞くには
FM 簡易型アンテナ/AM ループアンテナを必ず接続してください。（☞ 6ページ）
接続しないと放送局を受信できません。
テレビ音声（1～3チャンネルのみ）は、FM で受信します。

押して “FM”または“AM”を選ぶ

電源「切」時は、自動的に電源が入ります。

FM 76.0 MHz

押すたびに
FM→AM→AUX

テレビ（1 ch～3 ch）の場合は、“FM”を選びます。

再生モード

押して “MANUAL”を選ぶ

押すたびに
MANUAL⇄PRESET

本体で
上下に動かして

リモコンで
押して

周波数を合わせる

➡ ① 周波数が動き始めるまで
押したままにする
② 動き始めたら
指を離す

放送を受信すると、周波数が止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。

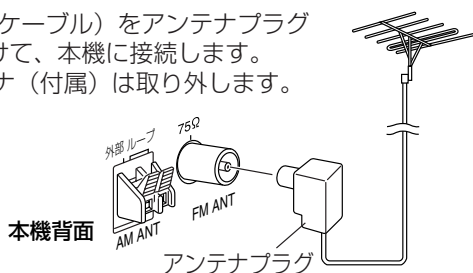
➡ 再生モード
“MONO”と表示するまで
押したままにする

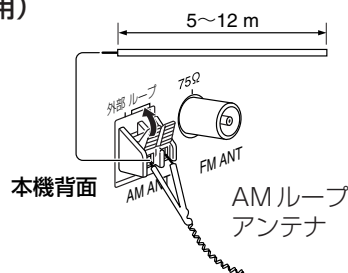
上記操作をするたびに
MONO ⇄ STEREO
（通常は“STEREO”にする）

■FM/AM 放送がうまく受信できない場合

屋外アンテナを使うのも一つの方法です。
山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

FM（テレビアンテナの利用）

アンテナ線（同軸ケーブル）をアンテナプラグ（市販）に取り付けて、本機に接続します。
FM 簡易型アンテナ（付属）は取り外します。

AM（市販のコードの利用）

窓際などに水平に取り付け、本機に接続します。
AM ループアンテナは取り外さないで、いっしょに接続します。

再生

ラジオを聞く

放送局を記憶させて聞く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で受信できます。
(FM/AM 各 15 局まで)

準 備

FM/AM/AUX 押して "FM" または "AM" を選ぶ。

記憶させる

お住まいの地域の放送局を記憶させる

エリアバンク

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

1 クイックOSD エリア/ー設定 ラジオ受信中に**押す**

AREA 11
トウキョウケン

好みの放送局をチャンネルに記憶させる

マニュアルメモリー

エリアバンクで記憶させたチャンネルに、上書きすることもできます。

1 再生モード ラジオ受信中に**押して**

"MANUAL" を選ぶ

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

MANUAL

聞く

記憶させた放送局を聞く

プリセットチューニング

1 再生モード ラジオ受信中に**押して**

"PRESET" を選ぶ

押すたびに
MANUAL ⇄ **PRESET**

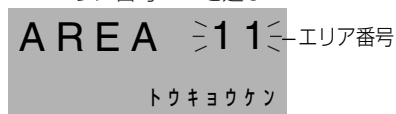
PRESET

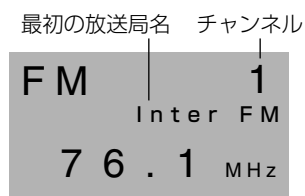
エリアバンク一覧表(2006 年 1 月現在)

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏(東京、横浜、千葉、さいたま)	20	福井	31	松山
2	青森	12	甲府	21	大津	32	高知
3	秋田	13	松本	22	奈良	33	福岡
4	盛岡	14	静岡	23	和歌山	34	北九州
5	山形	15	名古屋圏(名古屋、岐阜)	24	大阪圏(大阪、神戸、京都)	35	佐賀
6	仙台	16	津	25	鳥取	36	長崎
7	福島	17	新潟	26	松江	37	大分
8	宇都宮	18	富山	27	広島	38	熊本
9	水戸	19	金沢	28	山口	39	宮崎
10	前橋			29	高松/岡山	40	鹿児島
				30	徳島	41	那覇

2 ∨ ∧ [⏮|⏭] 押して
エリア番号を選ぶ
（☞ 左ページ「エリアバンク一覧表」）
押したままにすると連続変化します。

例）お住まいの地域が東京圏の場合、
エリア番号 11 を選ぶ

AREA 11 —エリア番号
トウキョウケン

3 **押す**

放送局が各チャンネルに記憶されます。

■途中で解除する
［■］（停止）を押す。

お知らせ
手順**2**は、エリア番号を数字ボタンで選ぶこともできます。（☞ 下記「数字ボタンの使いかた」）

---

2 ∨ ∧ [⏮|⏭] 押して
周波数を合わせる

3 **押して**

PGM –

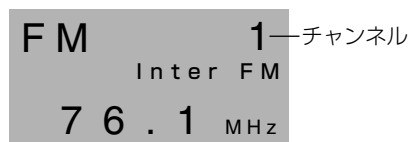
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10
10秒以内
押して
チャンネルを選ぶ
（☞ 下記「2 ケタ以上を選ぶには」）

選んだチャンネルに放送局が記憶されます。
続けて記憶させるには手順２～３をくり返す

■途中で解除する
［■］（停止）を押す。

---

2 ∨ ∧ [⏮|⏭] 押して
チャンネルを選ぶ
選んだチャンネルの放送局を受信します。

FM 1—チャンネル
Inter FM
76.1 MHz

お知らせ
- 数字ボタンでチャンネルを選ぶこともできます。
（☞ 下記「数字ボタンの使いかた」）
- エリアバンクで記憶させたチャンネルを選ぶと、放送局名が表示されます。

数字ボタンの使いかた

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10 **押して エリア番号や チャンネルを選ぶ**

■２ケタ以上を選ぶには
例）12　≧10→①→②

録音するまえに

ディスクからは、こんな録音ができます

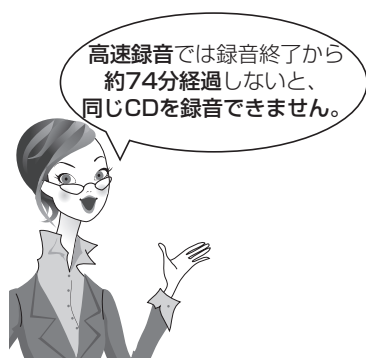
本機で再生できるディスク（☞ 10ページ）もご覧ください。

		SDまたはMDへ高速録音	SDへ通常速録音	MDへ通常速録音
CD	5CD連続イッキ録り	○	×	×
	5CDイッキ録り	○	×	×
	すべてのCDを録音	○	○	○
	1枚のCDを録音	○	○	○
	プログラム録音	×	○	○
WMA/MP3 VCD	すべてのディスクを録音	×	○	○
	1枚のディスクを録音	×	○	○
	プログラム録音	×	○	○
DVD-A ※	すべてのディスクを録音	×	×	×
	1枚のディスクを録音	×	○	×
	プログラム録音	×	○	×
DVD-V ※	すべてのディスクを録音	×	×	×
	1枚のディスクを録音	×	○	○
	プログラム録音	×	○	○
RAM	すべてのディスクを録音	×	×	×
	1枚のディスクを録音	×	○	○
	プログラム録音	×	×	×

※ディスクによって部分的に、または全体を録音できないものがあります。

高速録音について

高速録音できるのは音楽CD（CD-DA）のみです

CDからMDへ最大7倍速で、CDからSDへ最大5倍速（LPモード時）で録音します。
ディスクや条件によっては、最大倍速にならない場合や、高速録音できない場合があります。
高速録音できない場合は、通常速録音してください。

■高速録音には次のような制限があります

本機は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているため、以下の制限があります。
録音終了から約74分経過しないと、同じCDを高速録音できません。
録音を途中で止めたときでも、続けて同じCDは高速録音できません。
（通常速録音は可能です。）

■一度に24枚まで録音できます

約74分以内に、それぞれ異なる24枚のCDは高速録音できますが、25枚目の高速録音はできません。
さらに高速録音しようとして、“PLEASE WAIT ○○ MIN.”（○○は数字）と表示したときは、○○分待ってから高速録音してください。

48 ページ

ワンボタンでらくらく高速録音！ （イッキ録り）

高速録音できるのは CD のみです。

イッキ録りの便利な機能

- すべての曲が録音できないときは、録音できる範囲が表示されます。
- 各 CD が 1 つのグループまたはプレイリストとして録音されます。
- CD にタイトル入力しているときは、SD や MD にもタイトル情報がコピーされます。

50 ページ

好きな曲だけ録音したい！ （プログラム録音）

RAM からのプログラム録音はできません。

たくさん曲を録音したい！ （録音モード）

SDに録音なら 43 ページ

MDに録音なら 45 ページ

SD の録音モード（XP/SP/LP）と録音可能時間

カード容量＼録音モード	XP（高音質）	SP（標準）	LP（長時間）
32 MB	約31分	約41分	約62分
64 MB	約64分	約85分	約128分
128 MB	約130分	約173分	約260分
256 MB	約259分	約346分	約519分
512 MB	約523分	約698分	約1047分
1 GB	約1007分	約1343分	約2014分
2 GB	約2048分	約2731分	約4097分

MD の録音モード（SP/LP2/LP4）と録音可能時間

ディスクの種類＼録音モード	SP	LP2	LP4
74分のMD	74分	148分	296分
80分のMD	80分	160分	320分

SP ：通常ステレオ録音
LP2 ：ステレオ長時間（2倍）録音
LP4 ：ステレオ長時間（4倍）録音

■CD から SD への高速録音時のお願い

高速録音するときは、当社製 SD メモリーカードのご使用をおすすめします。

（お知らせ）

- 高速録音は、常に最大倍速になるわけではありません。（CD の内周と外周では速度に差が生じるため）
- 録音開始前に、"READING DATA" が表示されることがあります。これは CD の情報を読み取り中であることを表しています。この表示が消えてから実際の録音が始まります。
- 高速録音時は音声が聞こえません。

（お知らせ）

アナログ録音について

DVD-V DVD-A RAM VCD WMA/MP3 SD MD からは、デジタル録音できません。デジタル信号をアナログ信号に一度変換した後、再度デジタル信号にして録音（アナログ録音）します。

SD カードへの録音時のお願い

SD カードを保護するために

- SD カードへの録音中に SD 挿入部のふたを開けないでください。ふたを開けると、現在行っている動作が停止し、正しく録音できません。

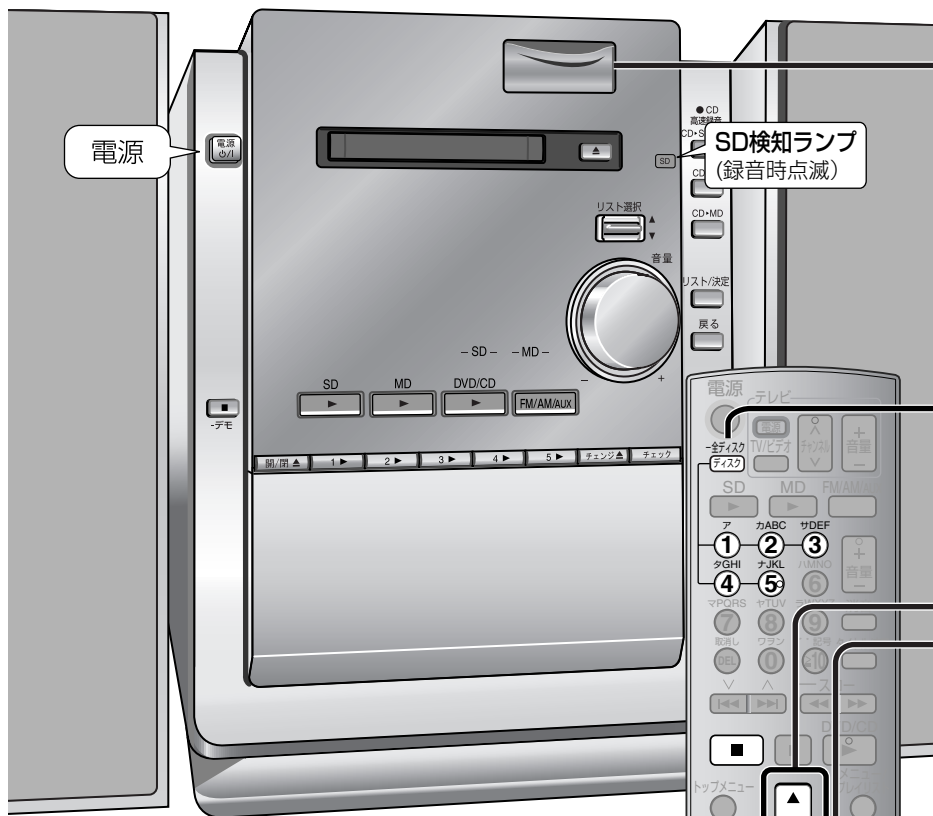
CD、MD からの録音時に誤ってふたを開けてしまったときは

- カードを入れ直し、今回録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は、録音内容を削除し、もう一度録音してください。
- CD の高速録音時には、録音が停止したあと、約 74 分経過しないと同じ CD を高速録音できません。ただし、通常速録音はできます。

ディスク(CD/DVD)をSDに録音

お願い 録音中はGUIメニュー（☞ 24、26、72、78ページ）を操作しないでください。
録音が途切れる原因になります。

DVD-V **DVD-A** **RAM** **VCD** **WMA/MP3** 録音はアナログ録音（☞ 41ページお知らせ「アナログ録音について」）になります。

DVD-V **DVD-A** ディスクによって部分的に、または全体を録音できないものがあります。
部分的に録音できない場合は、そこで録音が停止します。録音できる位置までスキップして録音してください。

準備

1
SDを入れる

2
録音方法を選ぶ

3
録音モードを選ぶ
(XP/SP/LP)

4
録音する

■途中で止める

■SDの残り時間が知りたい

■録音モードについて

録音モード（XP/SP/LP）と録音可能時間

カード容量	録音モード		
	XP（高音質）128 kbps	SP(標準) 96 kbps	LP（長時間）64 kbps
32 MB	約31分	約41分	約62分
64 MB	約64分	約85分	約128分
128 MB	約130分	約173分	約260分
256 MB	約259分	約346分	約519分
512 MB	約523分	約698分	約1047分
1 GB	約1007分	約1343分	約2014分
2 GB	約2048分	約2731分	約4097分

■使用可能なSDメモリーカードについて

本機では以下の容量（8 MB～2 GBまで）のSDメモリーカードが使用できます。
8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GBまで
最新情報はhttp://panasonic.jp/support/audio/でご確認ください。

● SDメモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットを行ってください。（☞ 54ページ）

① ディスクを入れる。（☞ 17 ページ）
② [ディスク]→ 数字ボタン（1 ～ 5）→[■]（停止）と押して、録音したいディスク（または録音を始めるディスク）を選ぶ。
③ 音声/静止画の混在ディスクを録音するときは、再生コンテンツメニューを表示させ、“オーディオ”を選ぶ。（☞ 22 ページ「WMA/MP3/JPEG ファイル、CD テキストを再生」）

上部を押して ふたを開け

SD カードを入れ

ふたを閉める

● miniSD™ カードの場合、miniSD™ アダプターが必要です。（☞ 29 ページ）

お願い
● 録音中は**絶対に SD 挿入部のふたを開けない**でください。録音が停止し、正常に録音できません。
● 録音が終わっても、“CARD Writing” 表示中や SD 検知ランプの点滅中は、絶対に SD 挿入部のふたを開けたり、SD を取り出したりしないでください。SD が使えなくなることがあります。

1 枚
1 枚のディスクを録音
-全ディスク ディスク
停止中に
押したままにして “1 DISC” を選ぶ

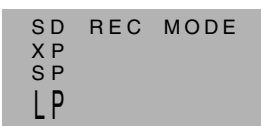
すべて
すべてのディスクを連続録音（VCD CD WMA/MP3 のみ）
-全ディスク ディスク
停止中に
押したままにして “ALL DISC” を選ぶ

例）ALL DISC の場合
インジケーター
A–D
ALL DISC

① 録音モード
停止中に 押す

② 10秒以内
“SD REC MODE” を選択

③ 10秒以内
録音モード (XP/SP/LP) を選択

SD REC MODE
XP
SP
LP

XP ：高音質で録音
SP ：標準の録音
LP ：長時間で録音
（☞ 左ページ「録音モードについて」）

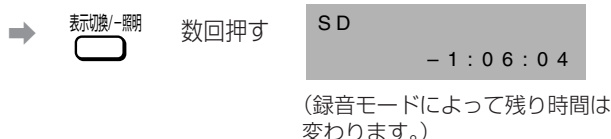
通常速録音
SD ●/❚❚
押す
“REC” が点灯し、インジケーターが点灯しているディスクの 1 曲目から録音します。
（ディスクの再生が終わると、SD も自動停止）

● “CARD Writing” 点滅後、元の表示に戻り、録音が完了します。

高速録音 CD のみ
CD高速録音 ＋ SD ●/❚❚
[CD 高速録音] を押したまま [●/❚❚ SD] を押す
“REC” が点灯し、インジケーターが点灯しているディスクの 1 曲目から高速録音します。
（ディスクの再生が終わると、SD も自動停止）
●高速録音の制限について（☞ 40 ページ）

お願い
● ランダム設定中は録音できません。ランダムを解除してから録音してください。（☞ 33 ページ）
● **“PLEASE WAIT ○○ MIN.”（○○は数字）が表示されたら**（☞ 40 ページ）○○分経過してから高速録音するか、通常速録音してください。

➡ ■ 押す
CARD Writing
（点滅後に録音完了。）

➡ 表示切換/-照明 数回押す
SD
–1:06:04
（録音モードによって残り時間は変わります。）

お知らせ
● 本機で SD に録音した場合、AAC で記録されます。（☞ 12 ページ）
● CD にタイトルを入力（☞ 58 ページ）しているときは、SD 側にも曲名（トラックタイトル）が付きます。
● ディスクの一時停止中から録音を始めると、その位置から録音できます。
● ディスク再生中からの録音はできません。
● 録音中は一時停止できません。

ディスク(CD/DVD)をMDに録音

お願い 録音中はGUIメニュー（☞24、26、72、78ページ）を操作しないでください。録音が途切れる原因になります。

DVD-V **RAM** **VCD** **WMA/MP3** 録音はアナログ録音（☞ 41ページお知らせ「アナログ録音について」）になります。

DVD-V ディスクによって部分的に、または全体を録音できないものがあります。部分的に録音できない場合は、そこで録音が停止します。録音できる位置までスキップして録音してください。

DVD-A MDへの録音はできません。SDに録音してください。（☞ 42ページ）

準備

1 MDを入れる

2 録音方法を選ぶ

3 録音モードを選ぶ (SP/LP2/LP4)

4 録音する

■ MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

録音モード(SP/LP2/LP4)と録音可能時間

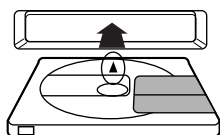
ディスクの種類 ＼ 録音モード	SP	LP2	LP4
74分のMDディスク	74分	148分	296分
80分のMDディスク	80分	160分	320分

- 本機でLP2またはLP4で録音した曲は、MDLPに対応していない機器では再生できません。
- LP4は、特殊な圧縮方式によって長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
  音質を重視して録音するときは、SPまたはLP2で録音してください。
- カーオーディオがMDLPに対応していないときは、SPで録音してください。

■途中で止める

■MDの残り時間が知りたい

上手に使いこなすには、87ページ「MDについて」をお読みください。

① ディスクを入れる。（☞ 17ページ）
② [ディスク]→ 数字ボタン（1～5）→[■]（停止）と押して、録音したいディスク（または録音を始めるディスク）を選ぶ。
③ 音声/静止画の混在ディスクを録音するときは、再生コンテンツメニューを表示させ、“オーディオ”を選ぶ。（☞ 22ページ「WMA/MP3/JPEGファイル、CDテキストを再生」）

MDを入れる

電源が入り、途中から自動的にMDが引き込まれます。
●MDを入れると、MD検知ランプが点灯します。

1枚 1枚のディスクを録音

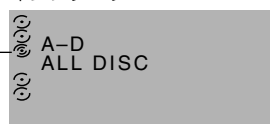
-全ディスク ディスク **停止中に**
押したままにして“1 DISC”を選ぶ

すべて すべてのディスクを連続録音（VCD CD WMA/MP3のみ）

-全ディスク ディスク **停止中に**
押したままにして“ALL DISC”を選ぶ

例）ALL DISCの場合

インジケーター

A–D
ALL DISC

① 録音モード

停止中に押す

② 10秒以内

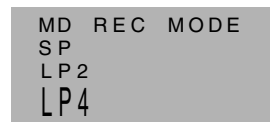
❶選び ❷決定

“MD REC MODE”を選択

③ 10秒以内

❶選び ❷決定

録音モード(SP/LP2/LP4)を選択

MD REC MODE
SP
LP2
LP4

SP ：通常ステレオ録音
LP2 ：ステレオ長時間（2倍）録音
LP4 ：ステレオ長時間（4倍）録音

（☞ 左ページ「MD**LP**について」）

通常速録音

MD ●/II

押す

“REC”が点灯し、インジケーターが点灯しているディスクの1曲目から録音します。
（ディスクの再生が終わると、MDも自動停止）

高速録音 CDのみ

CD高速録音 ＋ MD ●/II

[CD高速録音]を押したまま[●/II MD]を押す

“REC”が点灯し、インジケーターが点灯しているディスクの1曲目から高速録音します。
（ディスクの再生が終わると、MDも自動停止）
●高速録音の制限について（☞ 40ページ）

● “UTOC Writing”点滅後、元の表示に戻り、録音が完了します。

お願い
● ランダム設定中は録音できません。ランダムを解除してから録音してください。（☞ 33ページ）
● **“PLEASE WAIT ○○ MIN.”（○○は数字）が表示されたら**（☞ 40ページ）○○分経過してから高速録音するか、通常速録音してください。

➡ ■ 押す

UTOC Writing

（点滅後に録音完了。）

➡ 表示切換/-照明 数回押す

MD
–60:04

（録音モードによって残り時間は変わります。）

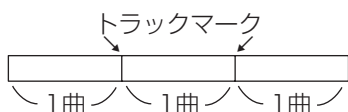
お知らせ
● CDにタイトル入力（☞ 58ページ）しているときは、MD側にも曲名（トラックタイトル）が付きます。
● ディスクの一時停止中から録音を始めると、その位置から録音できます。
● ディスク再生中からの録音はできません。
● 録音中は一時停止できません。

SD に録音／MD に録音

準 備

① 電源を入れる。
② SD / MD を入れる。（☞ 43、45 ページ）
③ 録音モードを選ぶ。
● SD に録音するとき
XP/SP/LP を選ぶ。（☞ 43 ページ）
● MD に録音するとき
SP/LP2/LP4 を選ぶ。（☞ 45 ページ）

SD/MD にトラックマーク（曲の区切り）を付けるには

ラジオからの録音時に付きます。

編集モード 録音中に
好みの位置で押す

“TR MARKING” が表示され、その位置にトラックマークが付きます。
SD では曲と曲をつなげてトラックマークを消すことはできません。

SD に録音

MD を SD に録音

MD→SD

1 MD ► ➡ ■
“MD” を選ぶ

ラジオを SD に録音

ラジオ→SD

1 録音したい放送を受信する
（☞ 37 ページ）

MD に録音

SD を MD に録音

SD→MD

1 SD ► ➡ ■
“SD” を選ぶ

ラジオを MD に録音

ラジオ→MD

1 録音したい放送を受信する
（☞ 37 ページ）

上手に使いこなすには、86ページ「SDについて」、87ページ「MDについて」をお読みください。

2 SD ●/II 押す

“REC”が点灯し、
録音が始まります。

2 編集モード

押して
録音タイプを選ぶ

押すたびに

MANUAL（通常の録音タイプ）
↑↓
TIME MARK
（5分おきにトラックマークが自動的に追加）

3 SD ●/II 押す

“REC”が点灯し、
録音が始まります。

■途中で止める

[■]（停止）を押す。

■SDの残り時間を確認する

[表示切換／一照明]を数回押す。

■一時停止する（ラジオ録音時のみ）

ラジオからの録音中に、[●/II SD]を押す。SDは一時停止（“REC”が点滅）し、ラジオは受信を続けます。
トラックマークが付きます。
（再開するには、再度押す。）

●MDからの録音中は、一時停止できません。

お知らせ

● MDから録音した場合、トラックタイトルもコピーされます。（99曲分のみ）
● 録音時に誤ってSD挿入部のふたを開けてしまったときは、録音が停止します。

お願い

●ランダム設定中は録音できません。ランダムを解除（☞33ページ）してから録音してください。
●SDカードへの録音中にSD挿入部のふたを開けないでください。ふたを開けると、現在行っている動作が停止し、正しく録音できません。
● MDからの録音時に誤ってふたを開けてしまったときは、カードを入れ直し、今回録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は、録音内容を削除し、もう一度録音してください。

2 MD ●/II 押す

“REC”が点灯し、
録音が始まります。

2 編集モード

押して
録音タイプを選ぶ

押すたびに

MANUAL（通常の録音タイプ）
↑↓
TIME MARK
（5分おきにトラックマークが自動的に追加）

3 MD ●/II 押す

“REC”が点灯し、
録音が始まります。

■途中で止める

[■]（停止）を押す。

■MDの残り時間を確認する

[表示切換／一照明]を数回押す。

■一時停止する（ラジオ録音時のみ）

ラジオからの録音中に、[●/II MD]を押す。MDは一時停止（“REC”が点滅）し、ラジオは受信を続けます。
トラックマークが付きます。
（再開するには、再度押す。）

●SDからの録音中は、一時停止できません。

お知らせ

SDから録音した場合、トラックタイトルもコピーされます。

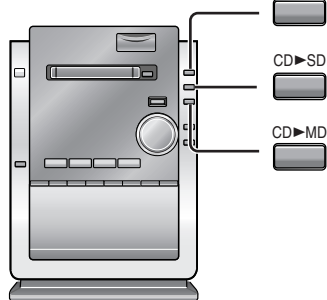
お願い

ランダム設定中は録音できません。ランダムを解除（☞33ページ）してから録音してください。

5CD イッキ録り/5CD 連続イッキ録り

ディスク 1 から順に、本機に入っている CD をすべて高速録音します。

準 備

① 電源を入れる。
② CD / SD / MD を入れる。
（☞17、43、45 ページ）
③ 録音モードを選ぶ。
●SD に録音するとき
XP/SP/LP を選ぶ。（☞ 43 ページ）
● MD に録音するとき
SP/LP2/LP4 を選ぶ。（☞ 45 ページ）
④ “CD” に切り換える。

DVD/CD ▶ ➡ ■

5CD イッキ録り

CD → SD

CD → MD

ワンタッチですべての CD を 1 番目のトレイから順に、SD や MD へ高速録音します。

高速録音について詳しくは 40 ページを参照してください。

SD に録る

停止中に
押す

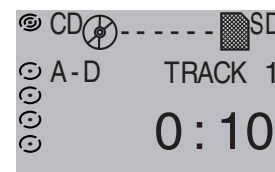
すべての CD の情報を確認後、録音が始まります。

MD に録る

CD►MD

停止中に
押す

すべての CD の情報を確認後、録音が始まります。

例： CD → SD

CD------SD
A-D TRACK 1
0 : 10

5CD 連続イッキ録り

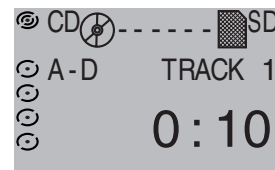
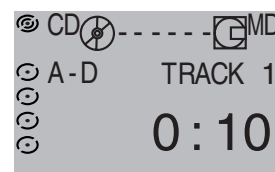
CD → SD & MD

ワンタッチですべての CD を 1 番目のトレイから順に、SD および MD へ連続で高速録音します。

高速録音について詳しくは 40 ページを参照してください。

●CD
高速録音
CD►SD･MD

停止中に
押す

すべての CD の情報を確認後、SD への録音が始まります。

SD への録音が終了したあと、すべての CD の情報を確認後、MD への録音が始まります。

“PLEASE WAIT ○○ MIN.”（○○は数字）が表示された場合は、○○分（○○は数字）経過してからイッキ録りしてください。（☞ 40ページ）

●途中の曲までしか録音できない場合、録音できる範囲が約6秒間表示されます。
(例)“DISC 5 TRACK 10　マデロクオンカノウ”
これは5枚目のCDの10曲目まで録音できることを表しています。
表示中に[■]（停止）を押すと、イッキ録りを解除できます。録音モードを選び直すことで、全曲録音できる場合があります。

● **“CHANGE”と表示したら**
ディスク交換しています。

● **“REC RETRY”と表示したら**
ディスク情報をうまく読み取れなかったので、自動的に録音し直しています。表示中はボタン操作をしないでください。

■途中で止める
[■]（停止）を押す。

■SD/MDの残り時間を確認する
[表示切換／一照明] を数回押す。

お知らせ

●イッキ録り時はプログラム/ランダム設定は解除されます。
●CDタイトルメモリー（☞ 58ページ）で本機にタイトルを記憶させたCDを録音すると、SDやMDにタイトル情報もコピーされます。
●CDごとに1つのプレイリスト（SD）またはグループ(MD)として録音されます。(UTOCエリアに空きがないときはグループになりません。)

“PLEASE WAIT ○○ MIN.”（○○は数字）が表示された場合は、○○分（○○は数字）経過してからイッキ録りしてください。（☞ 40ページ）

●途中の曲までしか録音できない場合、録音できる範囲が約6秒間表示されます。
(例)“DISC 5 TRACK 10　マデロクオンカノウ”
これは5枚目のCDの10曲目まで録音できることを表しています。(SDへの録音が、表示された曲までの録音であっても、SDへの録音が終了すると、MDへの録音が始まります。)
表示中に[■]（停止）を押すと、イッキ録りを解除できます。録音モードを選び直すことで、全曲録音できる場合があります。

● **“CHANGE”と表示したら**
ディスク交換しています。

● **“REC RETRY”と表示したら**
ディスク情報をうまく読み取れなかったので、自動的に録音し直しています。表示中はボタン操作をしないでください。

■途中で止める
[■]（停止）を押す。

■SD/MDの残り時間を確認する
[表示切換／一照明] を数回押す。

お知らせ

●SDへの録音が正常に行われたときだけMDへの録音が始まります。
●イッキ録り時はプログラム/ランダム設定は解除されます。
●CDタイトルメモリー（☞ 58ページ）で本機にタイトルを記憶させたCDを録音すると、SDやMDにタイトル情報もコピーされます。
●CDごとに1つのプレイリスト（SD）またはグループ(MD)として録音されます。(UTOCエリアに空きがないときはグループになりません。)

好みの曲を選んで録音（プログラム録音）

プログラムプレイやリスト表示（SD）、1 グループプレイ（MD）を使って、好きな曲だけを選んで録音できます。（高速録音はできません。）

準 備

① 電源を入れる。
② ディスク / SD / MD を入れる。
（☞17、43、45 ページ）
③ 録音モードを選ぶ。
● SD に録音するとき
XP/SP/LP を選ぶ。（☞ 43 ページ）
● MD に録音するとき
SP/LP2/LP4 を選ぶ。（☞ 45 ページ）
④ ディスクから録音するときは、"1 DISC" または "ALL DISC" を選ぶ。
（☞ 17 ページ）

■途中で止める ➡ [■]

■ SD/MD の残り時間を確認する ➡ 表示切換/一照明 数回押す

数字ボタンで 2 ケタ以上を選ぶには

● 2 ケタ：例）25
≧10 → ② → ⑤
● 3 ケタ：例）125
≧10 → ≧10 → ① → ② → ⑤

WMA/MP3 は、

例）25
② → ⑤ → リスト/決定
例）125
① → ② → ⑤ → リスト/決定
例）1255
① → ② → ⑤ → ⑤ → リスト/決定

ディスクから好みの曲を選んで録音

プログラム録音

ディスク→SD
DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3

ディスク→MD
DVD-V VCD CD WMA/MP3

準 備

[▶ DVD/CD] を押して "DISC" にし、[■]（停止）を押す。

1 テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える（ビデオ 2 など）

お知らせ

DVD-A から MD への録音はできません。

MD から好みの曲を選んで録音

プログラム録音

MD → SD

準 備

[▶ MD] を押して "MD" にし、[■]（停止）を押す。

1 プログラム 停止中に **押す**

PGM P：00 0

SD から好みの曲を選んで録音

プログラム録音

SD → MD

準 備

[▶ SD] を押して "SD" にし、[■]（停止）を押す。

1 プログラム 停止中に **押す**

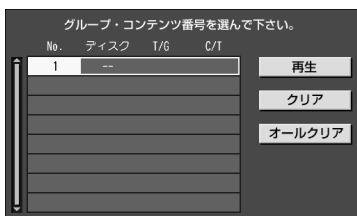
PGM P：00 0

2 プログラム 停止中に押して

↓

リスト/決定 押す

例） WMA/MP3 （テレビ画面）

3

① "ALL DISC" 設定時 **ディスクを選択**
② DVD-V **タイトルを選択**
DVD-A WMA/MP3 **グループを選択**
③ DVD-V **チャプターを選択**
DVD-A VCD CD **トラックを選択**
WMA/MP3 **コンテンツを選択**

- 続けて予約するときは[リスト／決定]を押して、手順①～③をくり返す。
- 数字ボタンでも選べます。
  WMA/MP3の場合は、数字ボタン→[リスト／決定]で選んでください。（☞ 左ページ「数字ボタンで2ケタ以上を選ぶには」）
- "ALL" を選択すると、ディスク、タイトル、またはグループ内の全曲が予約されます。
- タイトル/グループのないディスク（CDなど）で、タイトル/グループ入力が必要な場合（ディスクの情報が認識されていないときなど）は、"1" を選択してください。
- 予約を変更、取り消すには（☞ 21ページ）

4

SDに録音

SD ●/II 押す

"REC" が点灯し、録音が始まります。

MDに録音

MD ●/II 押す

"REC" が点灯し、録音が始まります。

---

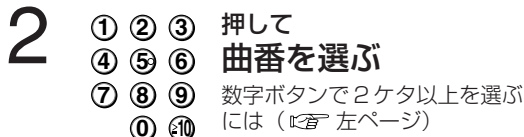
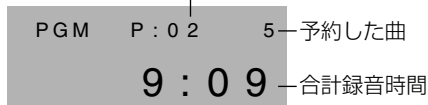
2 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10 押して **曲番を選ぶ**

数字ボタンで2ケタ以上を選ぶには（☞ 左ページ）

予約順

PGM P：02 5 — 予約した曲
9：09 — 合計録音時間

- 続けて予約するときは、手順**2**をくり返す。（最大24曲）
- [⏮ ∨、⏭ ∧] を押すと、予約内容を確認できます。

3 SD ●/II 押す

"REC" が点灯し、録音が始まります。

■**好みのグループだけを録音する**

「1グループプレイ」（☞ 34～35ページ）の手順**1**～**2**でグループを選び、左記手順**3**を行う。

---

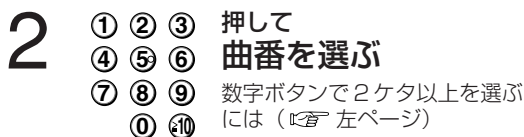
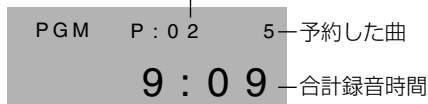
2 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10 押して **曲番を選ぶ**

数字ボタンで2ケタ以上を選ぶには（☞ 左ページ）

予約順

PGM P：02 5 — 予約した曲
9：09 — 合計録音時間

- 続けて予約するときは、手順**2**をくり返す。（最大24曲）
- [⏮ ∨、⏭ ∧] を押すと、予約内容を確認できます。

3 MD ●/II 押す

"REC" が点灯し、録音が始まります。

■**好みのプレイリストを録音する**

リスト表示（☞ 34～35ページ）の手順**1**～**2**でプレイリストを選び、左記手順**3**を行う。

SD/MD の編集

曲順を入れ換えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナルSDやMDが作れます。(再生専用MDは編集できません)
プレイリストを作成しているSD(☞ 56ページ)や、曲をグループ(☞ 54ページ)にしているMDを編集すると、編集内容に応じてプレイリスト/グループ管理情報も更新されます。

準 備

① 電源を入れる。
② 編集するSD / MDを入れる。
(☞29、31ページ)
③ "SD" / "MD"に切り換える。

● SDのとき SD ► ➡ ■

● MDのとき MD ► ➡ ■

■途中で解除する ➡ ■

お願い

プログラム/ランダム/1グループ設定中やリスト表示中、SDのプレイリスト再生中は、SD/MDの編集ができません。各設定を解除してから行ってください。

曲を消す

イレース

SD MD

1曲～数曲消すとき

1 編集モード 停止中に押して
"TRACK ERASE?"を選び

リスト/決定 押す

全曲消すとき

1 編集モード 停止中に押して
"ALL ERASE?"を選び

リスト/決定 押す

"ALL ERASE OK?"と"PRESS ENTER"を交互に表示。

曲を移動する

ムーブ

SD MD

1 編集モード 停止中に押して
"MOVE?"を選び

リスト/決定 押す

曲を分ける

ディバイド

MD

1 編集モード 分ける曲を再生中に押して
"DIVIDE?"を選ぶ

曲をつなぐ

コンバイン

MD

1 編集モード 停止中に押して
"COMBINE?"を選び

リスト/決定 押す

●選択操作で迷ったときは「**操作メニュー一覧**」(☞81ページ)

2
❶選び ❷決定

消す曲を選択
●続けて選ぶときは、手順2をくり返す。(最大24曲。超えると"SELECT OVER"と表示。)
●"TRACK ERASE"と"PRESS ENTER"を交互に表示。

3 (リスト/決定) **押す**

"CARD Writing"(SD)または"UTOC Writing"(MD)点滅後、編集が完了します。

(お知らせ)
● 再生中の1曲を消すこともできます。
● SDのオールイレースは、SDオーディオのファイルだけをすべて消去します。
● SDでは、一度に消去する曲数が多い場合や、消す曲が多数のプレイリストに登録されている場合、編集に時間がかかることがあります。

2 **押す**

● "CARD Writing"(SD)または"UTOC Writing"(MD)点滅後、編集が完了します。
●全曲を消した後は"NO TRACK"(SD)または"BLANK DISC"(MD)が表示されます。

2
❶選び ❷決定

① **移動する曲を選択**
② **移動先を選択**

```
PRESS ENTER
        1 →    3
```

"MOVE"と"PRESS ENTER"を交互に表示。

3 (リスト/決定) **押す**

"CARD Writing"(SD)または"UTOC Writing"(MD)点滅後、編集が完了します。

(お知らせ)
再生中の曲を移動することもできます。

2

分けたい位置で
押す

押した位置からの約4秒間を、くり返し再生します。

3 (|◀◀ ▶▶|)
押して
位置を調節する

```
POSITION +006?
```

調整範囲
SP :前後約8秒間
LP2 :前後約16秒間
LP4 :前後約32秒間
数値は−128から+127の範囲で表示されます。

4 **押す**

"UTOC Writing"点滅後、編集が完了します。(分けた位置にトラックマークが付きます。)

2
❶選び ❷決定

つなぎたい
連続した曲の組み合わせを選択

"COMBINE"と"PRESS ENTER"を交互に表示。

3 (リスト/決定) **押す**

"UTOC Writing"点滅後、編集が完了します。(トラックマークが1つ減ります。)

(お知らせ)
● 再生中の曲と、その直前の曲をコンバインすることもできます。
● 異なる録音モード(SP/LP2/LP4/長時間モノラル)で録音された曲はつなげません。

SD/MD の編集（つづき）

準 備

① 電源を入れる。
② 編集する SD / MD を入れる。
（☞29、31 ページ）
③ “SD” / “MD” に切り換える。

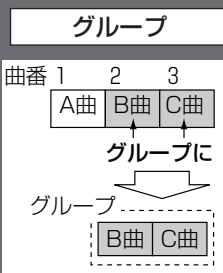
● SD のとき

● MD のとき

■途中で解除する ➡

お願い

プログラム/ランダム/1 グループ設定中やリスト表示中は、SD/MD の編集ができません。各設定を解除してから行ってください。

曲をグループにまとめる

グループ

MD

連続した複数の曲を 1 つのグループとして管理できます。
最大 99 グループまで作れます。

1 編集モード 停止中に押して

“GROUP EDIT?” を選び

 押す

■グループの曲を聞くには
「1 グループプレイ」
（☞ 34 ページ）

SD カードを初期化する

フォーマット

SD

1 編集モード 停止中に押して

“CARD FORMAT?” を選ぶ

フォーマットすると、本機で録音したデータだけでなく、カードに記録されているすべてのデータが消去され、元に戻すことができません。よく確認してから実行してください。

上手に使いこなすには、86ページ「SDについて」、87ページ「MDについて」をお読みください。

●選択操作で迷ったときは「**操作メニュー一覧**」（☞ 81 ページ）

2

[|◀◀ ∨ ▶▶| ∧] ➡ [リスト/決定]
❶選び ❷決定

"GROUP SET?" を選択

3

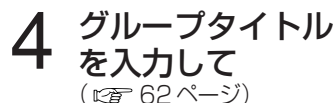
[|◀◀ ∨ ▶▶| ∧] ➡ [リスト/決定]
❶選び ❷決定

① **グループ先頭の 曲番を選択**
② **グループ最後の 曲番を選択**

```
GROUP SETTING
       2 → 3?
```

4 グループタイトルを入力して

（☞ 62 ページ）

押す

"UTOC Writing"の点滅後、グループ化が完了します。

■グループタイトルを変更する

① 手順 1 の後、[|◀◀ ∨、▶▶| ∧] で "TITLE INPUT?" を選び、[リスト／決定] を押す。
② [|◀◀ ∨、▶▶| ∧] でグループを選び、[リスト／決定] を押す。
③ タイトルを入力する。（☞62 ページ）
④ [リスト／決定] を押す。"UTOC Writing" の点滅後、グループタイトルが変更。

■ひとつのグループを解除する

① 手順 1 の後、[|◀◀ ∨、▶▶| ∧] で "RELEASE?" を選び、[リスト／決定] を押す。
② [|◀◀ ∨、▶▶| ∧] で解除するグループを選び、[リスト／決定] を押す。（"RELEASE OK?" と "PRESS ENTER" を交互に表示。）
③ [リスト／決定] を押す。"UTOC Writing" の点滅後、選んだグループが解除。

■全グループを解除する

① 手順 1 の後、[|◀◀ ∨、▶▶| ∧] で "ALL RELEASE?" を選び、[リスト／決定] を押す。（"ALL RELEASE" と "PRESS ENTER" を交互に表示。）
② [リスト／決定] を押す。"UTOC Writing" の点滅後、すべてのグループが解除。

お知らせ

- グループ化できるのは、連続した曲（例：３曲目～９曲目）のみです。「3 曲目と 7 曲目と 9 曲目」のように曲が離れている場合は、グループにできません。
- 1 曲だけでもグループにできます。
- 同じ曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。

2

押す

"FORMAT OK?" と "PRESS ENTER" を交互に表示。

3

押す

- "CARD Writing" 点滅後、初期化が完了します。
- **"NO TRACK" が表示されるまで SD 挿入部のふたを開けないでください。SD カードが使えなくなることがあります。**

お知らせ

- フォーマットすると、本機で録音したデータだけでなく、SD に記録されたすべてのデータが消去されます。
- 本機でフォーマットした場合、他の機器で使えないことがあります。
- SD カードの種類によっては、フォーマットに時間がかかることがあります。

SD のプレイリストを編集

プレイリストとは
録音した曲（トラック）を集めて、再生したい順に並べたものです。

- プレイリストは再生順を登録するだけなので、カードの容量はほとんど使いません。
- プレイリストのトラックを消したり新たに作成しても元のトラックには影響しません。

最大記録数
プレイリスト：99
1 つのプレイリストに登録できる曲数：99

準 備

① 電源を入れる。
② 編集する SD を入れる。（☞ 29 ページ）
③ “SD” に切り換える。

プレイリストを作成する

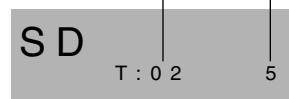
SD

1 停止中に押して
“PLAYLIST?”を選び
↓
リスト/決定 押す

■**プレイリストで聞くには**
リスト表示（☞ 34 ページ）で、聞きたいプレイリストを選ぶ。

プレイリストを削除する

SD

1 停止中に押して
“PLAYLIST?”を選び
↓
リスト/決定 押す

お知らせ
- 最大 99 のプレイリストが作成できます。
- 1 曲だけでもプレイリストにできます。
- 同じ曲を複数のプレイリストに登録できます。
- 作成済みのプレイリストから全曲を削除すると、プレイリストそのものも削除されます。
- プレイリストから曲を削除しても、元の曲がなくなるわけではありません。

お願い
プログラム/ランダム設定中やリスト表示中は、プレイリストの作成や変更ができません。各設定を解除して行ってください。

●選択操作で迷ったときは「**操作メニュー一覧**」（☞ 81ページ）

2

[⏮ ∨ ⏭ ∧]

“PL CREATE?”を選び

押す

3

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪⑩ 押して

曲番を選び

数字ボタンで2ケタ以上を選ぶには（☞ 下記）

●続けて選ぶときは、上記操作をくり返す。（最大99曲。超えると“SELECT OVER”と表示。）
●登録した曲は［⏮ ∨、⏭ ∧］で確認できます。

押す

4

プレイリストタイトルを入力して（☞ 62ページ）

押す

“CARD Writing”の点滅後、プレイリストの作成が完了します。

■プレイリストの内容を変更する

① 上記手順**1**の後、［⏮ ∨、⏭ ∧］で“PL EDIT?”を選び、［リスト／決定］を押す。
② ［⏮ ∨、⏭ ∧］で変更するプレイリストを選び、［リスト／決定］を押す。
③ **曲を追加：**［⏮ ∨、⏭ ∧］で追加する位置を選び、数字ボタンで曲を登録する。
　曲を削除：［⏮ ∨、⏭ ∧］で曲を選び、［DEL､取消し］を押す。
④ ［リスト／決定］を押す。
　“CARD Writing”点滅後、完了。

■プレイリストタイトルを変更する

① 上記手順**1**の後、［⏮ ∨、⏭ ∧］で“PL TITLE?”を選び、［リスト／決定］を押す。
② ［⏮ ∨、⏭ ∧］でプレイリストを選び、［リスト／決定］を押す。
③ タイトルを入力する。（☞ 62ページ）
④ ［リスト／決定］を押す。
　“CARD Writing”点滅後、完了。

2

“PL ERASE?”を選び

押す

3

[⏮ ∨ ⏭ ∧]

削除したいプレイリストを選び

押す

“PL ERASE”と“PRESS ENTER”を交互に表示。

4

押す

“CARD Writing”の点滅後、プレイリストの削除が完了します。

■途中で解除する ➡

■数字ボタンで2ケタ以上を選ぶには

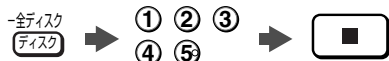
●**2ケタ**：例）25
　⑩→②→⑤

●**3ケタ**：例）125
　⑩→⑩→①→②→⑤

CD/SD/MD にタイトル入力

準備

① 電源を入れる。
② タイトルを付けたいCD / SD / MDを入れる。
（ ☞17、29、31ページ）
③ "CD" / "SD" / "MD" に切り換える。

● CDにタイトル入力するとき
ディスクを選ぶ。

（"RESUME" が表示されていたら、再度 [■]（停止）を押して表示を消しておく。）

● SDにタイトル入力するとき

● MDにタイトル入力するとき

■途中で解除する ➡ ■

ただし、すでに［リスト／決定］を押して確定したタイトルは記録されています。
もう一度［タイトル／文字］を押すと、最初からタイトル入力/修正が可能です。

お知らせ

●他の機器で漢字、ひらがなのタイトル入力をしているSDやMDをさらに本機でタイトル入力すると、他の機器で正しくタイトル表示されないことがあります。
●漢字でのタイトル入力はできません。

お願い

プログラム/ランダム/1グループ設定中やリスト表示中は、タイトル入力できません。各設定を解除して行ってください。

タイトルの種類について

ソース（音源）＼タイトルの種類	ディスク	アーティスト
CD	○	○
SD	×	○
MD	○	×

CD/録音済みMDにタイトル入力

CD
ディスクタイトル
アーティスト名
トラックタイトル

MD
ディスクタイトル
トラックタイトル

1 タイトル/文字 停止中に **押す**

DISC TITLE

録音済みSDにタイトル入力

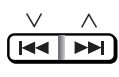
SD
トラックタイトル
アーティスト名

1 タイトル/文字 停止中に **押す**

■CDのタイトルについて

CDタイトルメモリー

● **入力したCDタイトルは本機でのみ表示されます。**
CDのタイトル情報は、ディスクではなく本機に記憶されています。
● 各タイトルごとに最大32文字まで入力できます。
● CD1枚につき最大25曲分のタイトルが記憶できます。
● 本機では、最大100枚分のCDのタイトル情報を記憶できます。100枚を超えてタイトル入力しようとすると、"MEMORY FULL" と表示されます。このときは、不要になったCDのタイトルを消してください。（☞ 右記）
● CDのタイトル情報は、SD/MDへの録音時にコピーされます。

	トラック	グループ	プレイリスト
	○	×	×
	○	×	○（☞57ページ）
	○	○（☞55ページ）	×

2 **押して タイトルの種類や曲番を選んで**

押す

タイトル入力画面になります。

ディスクタイトル

DISC TITLE

アーティスト名 CDのみ

ARTIST NAME

トラックタイトル

例）MDのとき　曲番

T. 1

TR TITLE

3 タイトル入力して（☞ 62ページ）

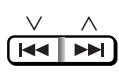
 押す

● “TITLE WRITE”（CD）または“UTOC Writing”（MD）の表示後、タイトル入力が完了。

●続けてタイトル入力するときは手順**2**から行う。

4 タイトル/文字 **押す**

タイトル入力が終わります。（MDは“UTOC Writing”が点滅。）

---

2 **押して タイトルを付けたいトラックを選んで**

押す

タイトル入力画面になります。

3 タイトル入力して（☞ 62ページ）

 押す

“CARD Writing”の表示後、タイトル入力が完了し、アーティスト名入力画面になります。

4 アーティスト名を入力して（☞ 62ページ）

 押す

● “CARD Writing”の点滅後、入力が完了。

●続けてタイトル入力するときは手順**2**から行う。

5 タイトル/文字 **押す**

タイトル入力が終わります。

■入力したアーティスト名などを確認する

CD停止中に、[表示切換／一照明] を数回押す。

■CDのタイトルを消す

① CD停止中に [編集モード] を押し（“TITLE ERASE ?”が表示）、[リスト／決定] を押す。
② [▲、▼] で消したいCDのディスクタイトルを選ぶ。トレイに入っていないCDのタイトルも表示されます。
③ [リスト／決定] を押す。（“TITLE ERASE ?”と“PRESS ENTER”が交互に表示）
④ [リスト／決定] を押す。
“COMPLETE”が表示され、タイトルが消去されます。
続けてタイトルを消すときは、[リスト／決定] を押して、手順②から行う。
操作を終えるには [■]（停止）を押す。

■SDのタイトルについて

● 各タイトルごとに、最大約32文字まで入力できます。
● 未録音のSDには、タイトル入力できません。

■MDのタイトルについて

● MD1枚に最大約1700文字（カナ文字では約半分の文字数）、各タイトルごとに最大約100文字まで入力できます。
● LP2/LP4で録音したり、グループの設定をすると、入力できる文字数は減ります。
● 再生専用MDや未録音のMD（BLANK DISC）には、タイトル入力できません。

CD/SD/MD にタイトル入力（つづき）

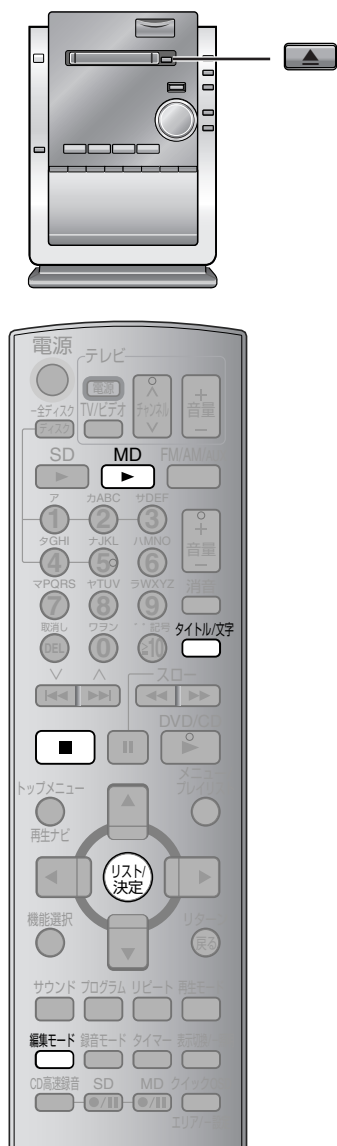
■途中で解除する ➡ [■]

ただし、すでに［リスト／決定］を押して確定したタイトルは記録されています。
もう一度［タイトル／文字］を押すと、最初からタイトル入力/修正が可能です。

お知らせ

- 入力途中で録音が終わった場合、入力モードは解除されます。ただし、すでに［リスト／決定］を押して確定したタイトルは記録されています。
- 漢字でのタイトル入力はできません。

お願い

- MD のプログラム/ランダム/1 グループ設定中は、タイトル入力できません。各設定を解除して行ってください。
- SD のイッキ録り中や、録音中、再生中はタイトル入力できません。停止中に行ってください。（☞ 58 ページ）

イッキ録り中にタイトル入力

MD

グループタイトル
トラックタイトル

イッキ録り（☞ 48 ページ）しながら、CD1 枚分のタイトルが付けられます。

1 タイトル/文字 イッキ録り中に **押す**

グループタイトル入力画面になります。

録音中または再生中にタイトル入力

MD

トラックタイトル

1 タイトル/文字 録音中または再生中に **押す**

トラックタイトル入力画面になります。

他の MD にタイトルをコピー

タイトルステーション

MD

MD のタイトルを別の MD にそのままコピーできます。
ポータブル MD から本機の MD にダビングしたときなどに便利です。

準備

［▶ MD］を押して“MD”にし、［■］（停止）を押す。

1 **コピー元の MD を本機に入れる**

2 グループタイトルを入力して（☞ 62 ページ）

 押す

“UTOC Writing”表示後、トラックタイトル入力画面になります。

3 トラックタイトルを入力して

（☞ 62 ページ）

 押す

- “UTOC Writing”表示後、次のトラックタイトル入力画面になります。
- 次にトラックがないときは、タイトル入力が完了。

お知らせ

- タイトル入力している CD からのイッキ録り時には、自動的に MD にもタイトルが付きます。（手動では付けられません。）
- 入力しないタイトルは、［リスト／決定］でスキップできます。
- イッキ録りした後に、グループタイトルを付けるには（☞ 55 ページ「グループタイトルを変更する」）

---

2 トラックタイトルを入力して（☞ 62 ページ）

タイトル入力が完了。

お知らせ

- タイトル入力している CD や、SD からの録音時には、自動的に MD にもトラックタイトルが付きます。（手動では付けられません。）
- 再生中にタイトルを付けた後、タイトル入力以外の編集（☞ 52 ～ 55 ページ）はできません。［■］（停止）を押して“UTOC Writing”点滅後に編集してください。

2

 停止中に **押して**

“TITLE STATION?”を選び

 押す

“TITLE STATION?”と“PRESS ENTER”を交互に表示。

3

 押して

押して コピー元の MD を取り出す

4

コピー先の MD を入れて

 押す

“UTOC Writing”の点滅後、“COMPLETE”が表示され、タイトルコピーが完了。

お知らせ

- **コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。**
- タイトル入力済み MD に新たにタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。
- 本機が記憶できるタイトルは、MD1 枚分です。電源を切ると、記憶したタイトルは消去されます。
- LP2/LP4 で録音した曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲が SP で録音されていると、トラックタイトルの頭に“LP:”と表示されます。
- コピー元の MD がグループ管理されているときは、グループ管理情報もコピーされます。
- 再生専用 MD や未録音の MD は使用できません。

文字入力のしかた

準 備 タイトル入力画面（☞ 55、57、59、61 ページ）にした後、文字を入力します。

1 タイトル/文字 押して 文字の種類を選ぶ

押すたびに

カタカナ<ア>→英大<Ａ>→英小<ａ>→数字<１>

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2 押して 文字を選ぶ

選んだ文字が表示されます。

ΞAΞ　　<A>

3 押す

●選んだ文字が確定し、次の文字が選べる状態になります。
●次に入力する文字が、他のボタンに割り当てられている場合、この操作は不要です。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

	カタカナ	アルファベット		数字
	<ア>	大文字 <Ａ>	小文字 <ａ>	<１>
ア ①	アイウエオ ァィゥェォ			1
カABC ②	カキクケコ	ABC	abc	2
サDEF ③	サシスセソ	DEF	def	3
タGHI ④	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナJKL ⑤	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハMNO ⑥	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マPQRS ⑦	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤTUV ⑧	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラWXYZ ⑨	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン ⓪	ワヲン			0

■゛゜または記号を入力する ➡ ゛゜記号 ≧10

濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。
押すたびに下の順序で記号が現れます。（文字の種類によっては表示されない記号があります。）

゛ ゜ ー。「」、・ ␣ ! " # $ % & ' ( ) * + , − . / : ; < = >
? @ [¥] ^ _ ` { | } ~
（␣ は空白です。 部分は SD のみ使用可能です。）

■入力済みの文字を変更する

◀ ▶ 押して、変更する文字にカーソルを合わせ、次の操作をします。

●**文字を削除する** ➡ 取消し DEL

●**文字を訂正する** ➡ 取消し DEL 押して、文字を削除し、正しい文字を入力する。

■文字や空白を挿入する

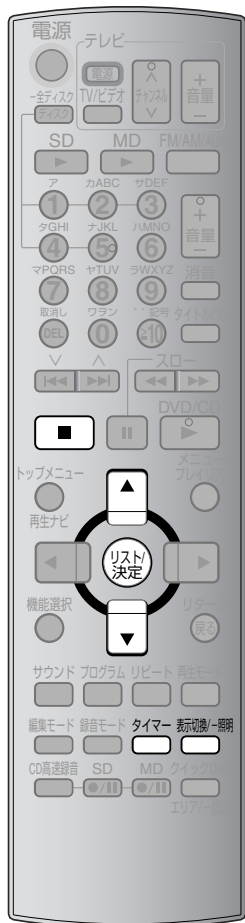
◀ ▶ 押して、挿入位置の右の文字にカーソルを合わせ、次の操作をします。

●**文字を挿入する** ➡ 新たに文字を入力して ▶ 押す

●**１文字空ける** ➡ ゛゜記号 ≧10 押して、"␣"（空白）を選び、▶ 押す

時計合わせ

準　備

電源を入れる。

■途中で解除する ➡ ■

●選択操作で迷ったときは「操作メニュー一覧」（☞ 81 ページ）

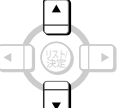
本機の時計は 24 時間表示です。
例）土曜日の 16 時 25 分（午後４時 25 分）に合わせる。

1 タイマー 押す

2

10 秒以内
“TIMER ADJUST” を選択

TIMER ADJUST

3

10 秒以内
“CLOCK ADJUST” を選択

CLOCK ADJUST

4

10 秒以内
曜日を選択

SUN（日曜）	THU（木曜）
MON（月曜）	FRI（金曜）
TUE（火曜）	SAT（土曜）
WED（水曜）	

5

押して
時刻を選び
（押したままにすると、連続して変化します。）

CLOCK
SAT
16：25

押す
時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

■電源「切」時に時計を見る
[表示切換／一照明] を押す。約 10 秒間、時計表示になります。

■電源「入」時に時計を見る
手順 **1** ～ **3** を行う。約 10 秒間、時計表示になります。

お知らせ
- ●時計を合わせると、**デモ機能**（☞ 6 ページ）は自動的に「切」になります。
- ●時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
- ●コンセントを抜いたり、停電したりしたときは、もう一度設定してください。

おめざめタイマー

設定した曜日の時刻になると、電源が入って、指定した音源（ディスク、SD、MD、ラジオ、別売機器）を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

例）日曜日の午前６時30分から午前７時40分まで、好みの音源を再生する。

準　備

① 電源を入れる。
② 時計を合わせておく。（☞ 63ページ）

■途中で解除する ➡

タイマーに使う曜日の切り換え

SUN	（日曜）
MON	（月曜）
TUE	（火曜）
WED	（水曜）
THU	（木曜）
FRI	（金曜）
SAT	（土曜）
SUN to SAT	（毎日）
MON to SAT	（月曜〜土曜）
MON to FRI	（月曜〜金曜）
SAT , SUN	（土曜と日曜）

タイマー日時設定

（24時間表示）

日時設定をしておけば、あとは実行設定を変えるだけで使えます。

1 ① タイマー 押す

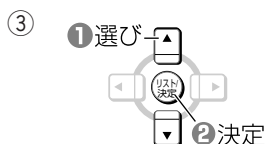
2 ①

❶選び ❷決定

10秒以内

曜日を選択
（☞ 左記「タイマーに使う曜日の切り換え」）

タイマー実行設定

3 ① DVD/CD ▶　SD ▶　MD ▶　FM/AM/AUX

好みの音源を再生する
（☞ 16、28、30、36ページ）

4 ① タイマー 押す

5 電源

押して
電源を切る

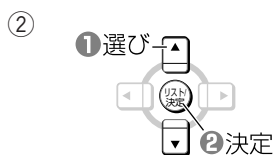
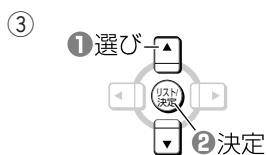
②

❶選び　❷決定

10秒以内

“TIMER ADJUST”を選択

TIMER ADJUST

③

10秒以内

“◴ PLAY ADJUST”を選択

◴PLAY ADJUST

---

②

開始時刻を選択

◴PLAY
SUN
6:30 →→ 0:00

③

終了時刻を選択

元の表示に戻る

---

②

音量 + −

音量を調節

③

ディスク/SD/MDは再生を停止

---

②

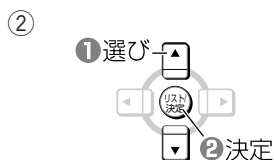
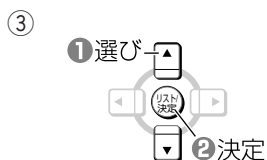
❶選び　❷決定

10秒以内

“TIMER SET”を選択

TIMER ADJUST
TIMER SET
AUTO OFF

③

❶選び　❷決定

10秒以内

“◴ PLAY SET”を選択

◴PLAY SET
◴REC MD
◴REC SD
TIMER OFF — タイマー切

◴PLAY

電源を切らないとタイマーが動作しません。

設定した日時になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して、再生します。（動作中は、“◴ PLAY”が点滅）

■解除する

電源を入れ、手順**4**から始め、手順**4**-③で“TIMER OFF”を選択する。

■設定を変える

電源を入れ、手順**4**から始め、手順**4**-③で“TIMER OFF”を選択した後、設定をやり直す。

■設定内容を確認する

電源「切」時に［タイマー］を押す。（約10秒間表示）

■タイマー設定した後に、再生を楽しむ

① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。

■別売機器を使ったタイマー設定

手順**3**で［FM/AM/AUX］を押して“AUX”を選んだ後、別売機器を本機と同日時に動作するように設定します。

■好みの曲を再生する SD MD

手順**3**でプログラム予約します。（☞ 32ページ）
タイマー設定を行った後に、プログラム予約を解除すると、タイマー動作時にはプログラム再生になりません。タイマー動作時にプログラム再生したい場合は電源を切る前に、再度プログラム予約をしてください。

■順不同に再生する SD MD

手順**3**でランダム設定します。（☞ 32ページ）
タイマー設定を行った後に、ランダム設定を解除すると、タイマー動作時にはランダム再生になりません。タイマー動作時にランダム再生したい場合は電源を切る前に、再度ランダム設定をしてください。

お知らせ

- **おめざめタイマーと留守録タイマー（☞ 66ページ）は同時に使えません。**
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。

タイマー

留守録タイマー

設定した曜日の時刻になると、電源が入って、指定した放送（ラジオ、別売機器）を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

例）土曜日の 18 時 30 分から 20 時 40 分まで、好みの放送を MD に録音する。

準　備

① 電源を入れる。
② 時計を合わせておく。（☞ 63 ページ）
③ 録音用 SD または MD を入れる。（☞ 43、45 ページ）

■途中で解除する ➡

タイマーに使う曜日の切り換え

SUN	（日曜）
MON	（月曜）
TUE	（火曜）
WED	（水曜）
THU	（木曜）
FRI	（金曜）
SAT	（土曜）
SUN to SAT	（毎日）

タイマー日時設定

（24 時間表示）

日時設定をしておけば、あとは実行設定を変えるだけで使えます。

1 ①

タイマー **押す**

2 ①

10秒以内

曜日を選択
（☞ 左記「タイマーに使う曜日の切り換え」）

タイマー実行設定

3 ①

FM/AM/AUX

選局する（☞ 37 ページ）

4 ①

タイマー **押す**

5

電源

押して
電源を切る

②

10秒以内

“TIMER ADJUST”を選択

TIMER ADJUST

③

10秒以内

“◷ REC ADJUST”を選択

◷REC ADJUST

②

開始時刻を選択

③

終了時刻を選択

② **録音モード**（☞ 43,45 ページ）、
録音タイプ（☞ 47 ページ）
を選ぶ

②

10秒以内

“TIMER SET”を選択

TIMER ADJUST
TIMER SET
AUTO OFF

③

❶選び
❷決定

10秒以内

動作させたいタイマーを選択

電源を切らないとタイマーが動作しません。

- 頭切れ防止のため、設定した日時の 30 秒前になると、録音が始まります。（動作中は、“◷ REC”が点滅）
- 録音中は自動的に最小音量になります。

■解除する

電源を入れ、手順**4**から始め、手順**4-**③で“TIMER OFF”を選択する。

■設定を変える

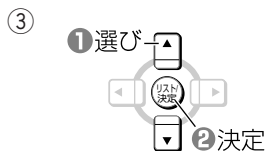
電源を入れ、手順**4**から始め、手順**4-**③で“TIMER OFF”を選択した後、設定をやり直す。

■設定内容を確認する

電源「切」時に［タイマー］を押す。（約 10 秒間表示）

■タイマー設定した後に、再生を楽しむ

① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。

■別売機器を使ったタイマー設定

手順**3**で［FM/AM/AUX］を押して“AUX”を選んだ後、別売機器を本機と同日時に動作するように設定します。

お知らせ

- **留守録タイマーとおめざめタイマー（☞ 64 ページ）は同時に使えません。**
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。
- ディスク、SD、MD の留守録タイマーはできません。

お願い

容量の大きいSDカードに録音する場合、録音を開始するまでに、時間がかかることがありますので、開始時刻を早めに設定してください。

おやすみタイマー／電源の切り忘れを防ぐ

●選択操作で迷ったときは「**操作メニュー一覧**」（☞ 81 ページ）

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

1 タイマー 音源を聞きながら **押す**

2 ❶選び ❷決定 10秒以内 **“SLEEP”を選択**

3 ❶選び ❷決定 10秒以内 **再生時間（30、60、90、120分）を選択**

SLEEP 30

“SLEEP”が表示されます。

■解除する
手順**3**で“SLEEP OFF”を選ぶ。

■残り時間を確かめる
[タイマー] を押す。（約 10 秒間表示）

■残り時間を変える
手順**3**で、新たに時間を指定する。

お知らせ
おやすみタイマーは、おめざめ／留守録タイマー（☞ 64～67 ページ）と組み合わせて使えます。予約時間が重なるときはおやすみタイマーが優先されます。

電源の切り忘れを防ぐ

オートオフ

ボタン操作のない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れます。

1 タイマー **押す**

2 ❶選び ❷決定 10秒以内 **“AUTO OFF”を選択**

AUTO OFF

3 ❶選び ❷決定 10秒以内 **“AUTO OFF”を選択**

AUTO OFF
SCREEN SAVER

■解除する
手順**3**で“SCREEN SAVER”（☞ 8ページ「スクリーンセーバーについて」）を選択する。

お知らせ
- ディスク、SD、MD の停止中のみ働きます。
- おやすみタイマーと同時に使っているときは、オートオフが優先します。
- 電源を「切」にしても、オートオフは記憶されています。

■途中で解除する ➡ ■

便利な機能

表示部やライトを暗くする

ライトモード

表示切換/ー照明

押したままにする

表示部の輝度が下がり、ライトが消えます。暗くした部屋での映画鑑賞などにお使いください。

■解除する
● もう一度、[表示切換／ー照明]を押したままにする。
● 電源を切／入する。

再生状態を確認

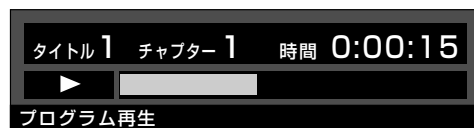
クイック OSD

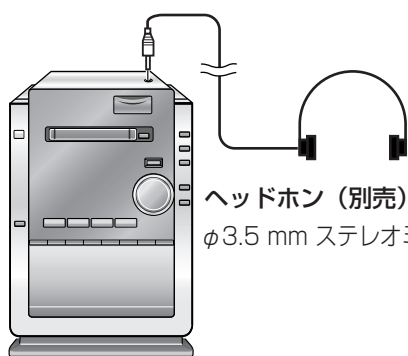
テレビ画面で、ディスクの再生状態を確認できます。

クイックOSD
エリア/ー設定

押す

CD または、WMA/MP3 （静止画などが混在していないとき）では、ディスクを入れると自動的に下の画面が表示されます。

例）DVD ビデオのプログラム再生時（テレビ画面）

■表示を消す
[クイック OSD] を押す。

ヘッドホンを使う

お願い
●接続するときは、音量を下げてください。
●耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

音質/音場/画質などを変える

■途中で解除する ➡ ■

(お知らせ)
- ディスクや音源によっては、音質／音場効果の働かないものがあります。
- 音質/音場効果の優先順位について
  アドバンストサラウンド（☞ 72ページ）＞マルチ リ.マスター＞サウンドエンハンスメント（☞ 72ページ）の順に優先的に働きます。
  （同時に使用すると左記の効果のみ有効）

一時的に消音する

ミューティング

消音 押す

MUTING

■解除する
- もう一度押す。
- 音量を最小 "0" にしてから上げる。
- 電源を切／入する。

好みの音質・音場効果を使う

プリセットイコライザー

用意された７種類の音質・音場から、好みの効果を選びます。

1 サウンド 押す

低域/高域を調整する

マニュアルイコライザー

BASS（低域）とTREBLE（高域）を細かく調整できます。

1 サウンド 押す

豊かな低音を楽しむ

H.BASS

再生帯域の広いスピーカーで聞いているような効果が得られ、厚みのある低音で楽しめます。

1 サウンド 押す

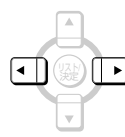
より自然な音で聞く

マルチ リ.マスター

1 サウンド 押す

●選択操作で迷ったときは「操作メニュー一覧」（☞ 81 ページ）

■マルチ リ.マスターの効果について

DVD-V RAM （48 kHz で記録されたディスク） DVD-A （44.1 kHz または 48 kHz で記録されたディスク） VCD CD	●ディスクに記録されていない高い周波数信号を付加することで、より自然で豊かな音質を楽しめます。
WMA/MP3 （8 kHz、16 kHz、32 kHz 以外で記録されたディスク） MD （44.1 kHz または 48 kHz で記録された MD） SD （AAC または MP3 の音楽データ）	●圧縮時に失われた周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

2 10秒以内

"PRESET EQ" を選択

3 10秒以内

❶選び ❷決定

効果を選択

HEAVY ：ロックなど。パンチを効かせるとき
SOFT ：BGM として聞くとき
CLEAR ：ジャズなど。高音部を鮮明にするとき
VOCAL ：ボーカルにつやを出したいとき
DISCO ：ディスコで聞いているような効果を出したいとき
LIVE ：ライブハウスで聞いてるような効果を出したいとき
HALL ：大ホールで聞いているような効果を出したいとき
FLAT ：切

お買い上げ時の設定は "HEAVY" です。

2 10秒以内

"MANUAL EQ" を選択

3

押して
BASS（低域）または TREBLE（高域）を選び

❶調整 ❷決定

押して
レベルを調整し、決定

BASS TREBLE
–1 0

●上下４ステップずつ調整できます。
●ボタン操作がない状態で 10 秒経過すると、調整画面は消えます。

2 10秒以内

"H.BASS" を選択

3

"H.BASS ON" を選択

■解除する
手順 **3** で "H.BASS OFF" を選ぶ。

お知らせ
●再生する音源によっては、効果の少ないものもあります。
●お買い上げ時の設定は "H.BASS ON" です。

2 10秒以内

"RE-MASTER" を選択

3 10秒以内

効果を選択

RE-MASTER 1
RE-MASTER 2
RE-MASTER 3
RE-MASTER OFF

設定	DVD-V DVD-A CD (LPCM/PPCM) 音源に適した設定を選択	その他のディスクと SD MD 効果の強弱を選択
1	テンポの速い曲（ポップス、ロックなど）	弱
2	さまざまなテンポの曲（ジャズなど）	中
3	テンポの遅い曲（クラシックなど）	強
OFF	切	切

音質/音場/画質などを変える（つづき）

ジー・ユー・アイ（グラフィカル ユーザー インターフェース）
G U I（Graphical User Interface）とは「テレビ画面を見ながらディスクの操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、この画面を「GUI メニュー」と呼びます。

● GUI メニューについて、くわしくは ☞ 78～80 ページ

GUI メニューの使いかた

1 機能選択 ○

再生中に
押して GUI メニューを表示させる

2 ❶選び ❷決定

変更したい
項目を選択

同じ操作をくり返し、変更したい項目まで階層メニューを進めます。

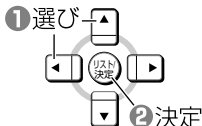
3 ❶選び ❷決定

好みの
設定を選択

数字ボタン→［リスト／決定］で設定できるものもあります。

DVD-V GUI メニューの一例

■ GUI メニューを消す ➡ リターン 戻る

お願い

録音中は操作しないでください。
録音が途切れる原因になります。

臨場感のある音で聞く

アドバンストサラウンド

DVD-V RAM VCD

（2ch 以上のディスク）

再生中に、
GUI メニューで“その他の設定”→“音声メニュー”を選び

アドバンストサラウンドで効果を選択

1 標準：自然な臨場感を与えるとき
2 強：臨場感を与えるとともに、映画のセリフを聞き取りやすくするとき
切：効果を使わない

お知らせ

- 音が歪むときは「切」にしてください。
- ディスクや音源によっては、効果の働かないものもあります。
- 音質/音場効果の優先順位について
  アドバンストサラウンド＞マルチ リ.マスター（☞ 70 ページ）＞サウンドエンハンスメントの順に優先的に働きます。
  （同時に使用すると左記の効果のみ有効）

映画のセリフを聞き取りやすくする

シネマボイス

DVD-V

（センターチャンネルにセリフが記録されたディスク）

再生中に、
GUI メニューで“その他の設定”→“音声メニュー”を選び

シネマボイスを“入”にする

ディスクによって効果のないものや効果の少ないものがあります。

■解除する
GUI メニューで“切”にする。

心地よい音で楽しむ

サウンドエンハンスメント

高い周波数信号を付加することで、クリアな音質で楽しめます。

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3

再生中に、
GUI メニューで“その他の設定”→“音声メニュー”を選び

サウンドエンハンスメントを“入”にする

■解除する
GUI メニューで“切”にする。

お知らせ

- ディスクや音源によっては、効果の働かないものもあります。
- 音質/音場効果の優先順位について
  アドバンストサラウンド＞マルチ リ.マスター（☞ 70 ページ）＞サウンドエンハンスメントの順に優先的に働きます。
  （同時に使用すると左記の効果のみ有効）

映画向けの画質にする

ピクチャーモード

DVD-V DVD-A RAM VCD JPEG

再生中に、
GUI メニューで“その他の設定”→“画質メニュー”を選び

ピクチャーモードで画質を選択

“ユーザー”を選択し、詳細画質設定で、より細かな画質の設定も行えます。（☞ 80 ページ）

ノーマル：切
シネマ 1：映画館で見ているようなしっとり感、暗い場面は細部をはっきり
シネマ 2：昔の映画などをくっきり、暗い場面は細部をはっきり
アニメ：アニメの色をくっきり
ダイナミック：色にめりはりをつける
ユーザー：詳細画質設定を使う

別売機器の接続

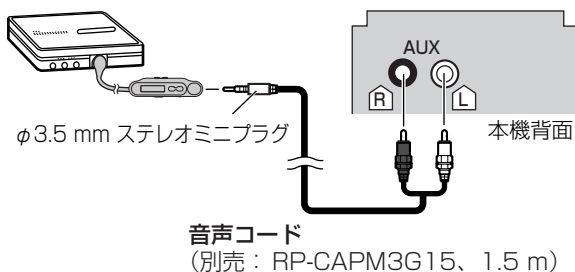
別売品の品番は、2006年1月現在のものです。品番は変更されることがあります。

電源を切った状態で接続します。接続する機器の取扱説明書もお読みください。

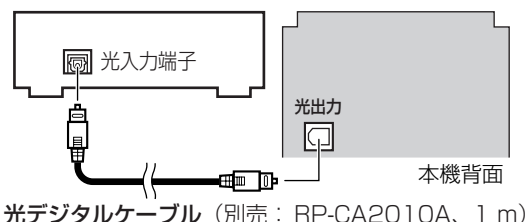
ポータブルMD

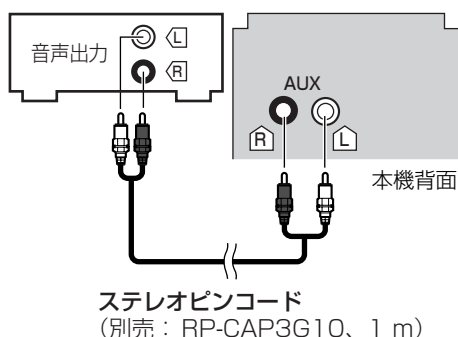
音声コード
（別売：RP-CAPM3G15、1.5 m）

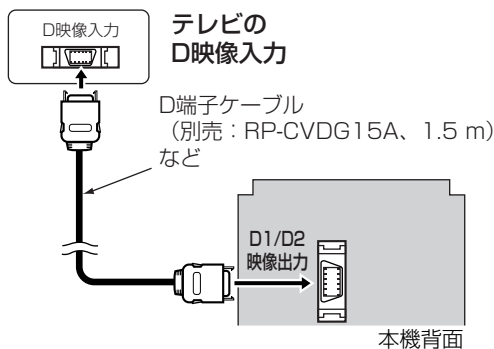
テレビ、ビデオ、有線、BS/CSチューナーなど

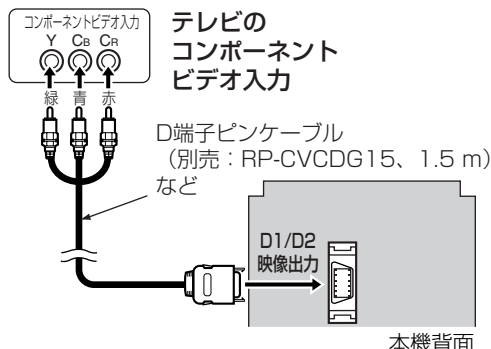
ステレオピンコード
（別売：RP-CAP3G10、1 m）

AVアンプ

5.1チャンネル出力を持つAVアンプと接続すると、**DVDビデオ**をマルチチャンネルで楽しめます。（**DVDオーディオ**の場合は、2チャンネルになります。）

光デジタルケーブル（別売：RP-CA2010A、1 m）

本機の光出力端子について

- ディスク（DVD/CD）以外の音声は出力されません。
- 初期設定（☞ 77ページ）の“Dolby Digital”/“DTS Digital Surround”が“PCM”のとき：音質/音場効果が働くものもあります。
- 初期設定（☞ 77ページ）の“Dolby Digital”/“DTS Digital Surround”が“Bitstream”のとき：音質/音場効果は働きません。

DVDをより高画質で楽しむために

D端子と接続

- D3、D4と表示されていても接続できます。
- D1のときは、プログレッシブ映像を楽しめません。（インターレース映像のみの出力になります。）
- 他社のテレビを使用する場合は、「DVDプログレッシブ出力のコピーガードシステム（マクロビジョン方式）に対応している525p映像入力端子が付いていること」をご確認ください。

コンポーネント端子と接続

ハイビジョンテレビに接続するときは、DVDに対応した端子に接続してください。ハイビジョン方式（MUSE）の端子に接続すると、画面が乱れたり映らないことがあります。

プログレッシブ対応テレビで、プログレッシブ映像を楽しむには

GUIメニューで（☞ 80ページ）“その他の設定”→“画質メニュー”を選び「ビデオ出力モード」を“**525p**”にする。

別売機器から録音/再生

準 備

① 別売機器を接続する。（☞ 73 ページ）
② 電源を入れる。

●別売機器から録音するとき
③ 録音用 SD/MD を入れ、録音モードを選ぶ。（☞ 43、45 ページ）
④ 別売機器を再生する準備をする。
（例えば、ポータブル MD の場合、ポータブル MD 側で、音量を調節しておく。
テレビ、有線、BS/CS チューナーの場合、好みの放送局を受信しておく。）

別売機器を再生

●ポータブル MD
●テレビ
●ビデオ
●有線
● BS/CS チューナーなど

1 FM/AM/AUX
押して
“AUX” を選ぶ

別売機器から録音

●ポータブル MD
●テレビ
●ビデオ
●有線
● BS/CS チューナーなど

1 FM/AM/AUX
押して
“AUX” を選ぶ

■入力レベルを調整する
AUX 選択中に、［再生モード］を押して、“HIGH” または “NORMAL” を選ぶ。
押すたびに
HIGH　：音量が小さい場合
↓ ↑
NORMAL　：通常の場合

■録音を途中で止める
［■］（停止）を押す。

■ SD/MD の残り時間を確認する
［表示切換/一照明］を数回押す。

2

別売機器を再生する

接続した機器の入力レベルが低い場合は調整してください。
（☞ 下記「入力レベルを調整する」）

2 編集モード

押して
録音タイプを選ぶ

押すたびに

MANUAL：
通常の録音タイプです。

SYNCHRO：
接続した機器で再生が始まると、自動的に録音を開始します。無音状態が約３秒続くと一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置にトラックマークが付きます。

TIME MARK：
５分おきにトラックマークが自動的に付きます。

3

SDに録音する

SD ●/II 押す

- MANUAL、TIME MARK
  録音が始まります。
- SYNCHRO
  録音待機状態になります。

MDに録音する

MD ●/II 押す

- MANUAL、TIME MARK
  録音が始まります。
- SYNCHRO
  録音待機状態になります。

4 別売機器を再生する

- SYNCHROでは、音の出始めから録音が始まります。
- 接続した機器の入力レベルが低い場合は調整してください。
  （☞ 下記「入力レベルを調整する」）

別売機器から録音／再生

使いこなす

■SD/MDにトラックマーク（曲の区切り）を付ける

AUX選択時、MANUAL/TIME MARKで録音中に好みの位置で［編集モード］を押すと、“TR MARKING”が表示され、その位置にトラックマークが付きます。
SDでは曲と曲をつなげてトラックマークを消すことはできません。

お知らせ

- 録音する曲の種類よっては、“SYNCHRO”を使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は“MANUAL”で録音してください。
- 音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

初期設定一覧

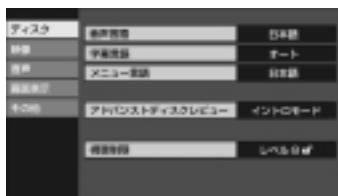
日本語 のようにアミがかかった項目は、お買い上げ時の設定です。

準 備

［▶ DVD/CD］を押して“DISC”にし、［■］（停止）を押す。

1 クイックOSD エリア/ー設定
初期設定画面が表示されるまで押したままにする

2 ❶選び ❷決定
変更したい
項目を選択

3 ❶選び ❷決定
好みの
設定を選択

初期設定画面

■ 1つ前の画面に戻る/設定を終了する ➡ リターン 戻る

ディスク

■ 音声言語
- 日本語
- 英語
- オリジナル※1
- その他＊＊＊＊※2

■ 字幕言語
- オート※3
- 日本語
- 英語
- その他＊＊＊＊※2

■ メニュー言語
メニューなど、テレビ画面の表示言語が選べます。
- 日本語
- 英語
- その他＊＊＊＊※2

■ アドバンストディスクレビュー
レビューの方法を選びます。（☞ 27ページ）
- イントロモード
- インターバルモード

■ 視聴制限
お子さまなどに見せたくないDVDの視聴を制限できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。
- レベル８ ：すべてのディスクが視聴可
- レベル７～１ ：制限レベルの記録されているディスクが視聴不可
- レベル０ ：すべてのディスクが視聴不可

レベル０～７を選ぶ（または選んだあと再び“視聴制限”を選ぶ）と、暗証番号の入力画面が表示されます。

暗証番号の入力方法

① **数字ボタン**で４ケタの数字を入力する。
② ［**リスト／決定**］を押す。
③ 暗証番号を確認し、［**リスト／決定**］を押す。
暗証番号を忘れないでください。

- ロック解除や暗証番号変更などは“視聴制限”を選び、画面の指示に従ってください。
- 視聴制限を超えるDVDを入れると、画面上に表示がでます。そのときは画面の指示に従ってください。

映 像

■ TVアスペクト
- 4:3パン&スキャン （☞ 右ページ）
- 4:3レターボックス（☞ 右ページ）
- 16:9

■ 接続するTV
- 標準（ブラウン管テレビ）
- 3管式プロジェクター
- 液晶テレビ/プロジェクター
- プロジェクションテレビ
- プラズマテレビ

■ TVディレイ
プラズマTVなどのデジタルTV使用時に、本機の映像出力のタイミングを早めることで、映像と音声を同期させることができます。
- 0 ms ～●100 ms（20 ms刻み）

お知らせ

テレビによっては、効果のないことがあります。

■ スチルモード
一時停止時の画像表示方法が選べます。
- オート
- フィールド（☞ 85ページ）
- フレーム（☞ 85ページ）

※1 “オリジナル”：ディスクの最優先言語が選ばれます。
※2 “その他＊＊＊＊”：数字ボタンで言語番号（☞ 右ページ）を入力します。
※3 “音声言語”で選んだ言語が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

音　声

光出力端子に接続する別売機器に合わせて、設定を選びます。

■ PCM デジタル出力

接続する別売機器が対応しているサンプリング周波数に合わせて選びます。

- **最高 48 kHz**　　●最高 96 kHz

■ Dolby Digital

- **Bitstream**：デコーダーが内蔵されている機器と接続するとき
- PCM：デコーダーが内蔵されていない機器と接続するとき

■ DTS Digital Surround

- **Bitstream**：デコーダーが内蔵されている機器と接続するとき
- PCM：デコーダーが内蔵されていない機器と接続するとき

■ 音声のダイナミックレンジ圧縮

（ドルビーデジタルのみ）

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

- **切**　　●入

画面表示

■ 画面メニュー言語

- **日本語**　　●English（英語）

■ 画面メッセージ

- **入**　　●切

その他

■ クイックセットアップ

本機の基本的な設定を、画面上での対話形式によって行います。（☞ 15 ページ）

- **する**　　●しない

■ 設定の初期化

初期設定、ディスク（DVD/CD）関連のユーザー設定（GUI メニューで設定した A-B リピートやマーカーなど）を、すべてお買い上げ時の状態に戻します。

- する　　● **しない**

初期化の方法

① “する”を選び、［リスト／決定］を押す。
② テレビ画面に“オールクリア”が表示されたら、［リスト／決定］を押す。
③ 本機の電源を入れ直す。

お知らせ

- 初期化した後は、必ず電源を入れ直してください。入れ直さないと、正しく初期化されません。
- 視聴制限を設定しているときは、操作の途中で暗証番号の入力画面が表示されます。暗証番号を入力してください。

言語番号一覧表

言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	タタール	8484
アイマラ	6589	タミル	8465
アイルランド	7165	タガログ	8476
アゼルバイジャン	6590	タジク	8471
アッサム	6583	チェコ	6783
アファル	6565	中国語	9072
アフリカーンス	6570	チベット	6679
アブハジア	6566	ティグリニア	8473
アムハラ	6577	テルグ	8469
アラビア	6582	デンマーク	6865
アルバニア	8381	トウイ	8487
アルメニア	7289	トルクメン	8475
イタリア	7384	トルコ	8482
イディッシュ	7473	トンガ	8479
インターリングア	7365	ドイツ	6869
インドネシア	7378	ナウル	7865
ウェールズ	6789	日本語	7465
ウォロフ	8779	ネパール	7869
ヴォラピュック	8679	ノルウェー	7879
ウクライナ	8575	ハウサ	7265
ウズベク	8590	ハンガリー	7285
ウルドゥー	8582	バシキール	6665
英語	6978	バスク	6985
エストニア	6984	パシュト	8083
エスペラント	6979	パンジャブ	8065
オーリヤ	7982	ヒンディー	7273
オランダ	7876	ビハール	6672
カザフ	7575	ビルマ	7789
カシミール	7583	フィジー	7074
カタロニア	6765	フィンランド	7073
ガリチア	7176	フェロー	7079
韓国（朝鮮）語	7579	フランス	7082
カンナダ	7578	フリジア	7089
カンボジア	7577	ブータン	6890
キルギス	7589	ブルガリア	6671
ギリシャ	6976	ブルターニュ	6682
クルド	7585	ヘブライ	7387
クロアチア	7282	ベトナム	8673
グアラニー	7178	ベロルシア（白ロシア）	6669
グジャラト	7185	ベンガル（バングラ）	6678
グリーンランド	7576	ペルシャ	7065
グルジア	7565	ポーランド	8076
ケチュア	8185	ポルトガル	8084
ゲール（スコットランド）	7168	マオリ	7773
コーサ	8872	マケドニア	7775
コルシカ	6779	マライ（マレー）	7783
サモア	8377	マラッタ	7782
サンスクリット	8365	マラヤーラム	7776
ショナ	8378	マルタ	7784
シンド	8368	マダガスカル	7771
シンハラ	8373	モルダビア	7779
ジャワ	7487	モンゴル	7778
スウェーデン	8386	ヨルバ	8979
スロバキア	8375	ラオ	7679
スロベニア	8376	ラテン	7665
スワヒリ	8387	ラトビア（レット）	7686
スンダ	8385	リトアニア	7684
スペイン	6983	リンガラ	7678
ズールー	9085	ルーマニア	8279
セルビア	8382	レトロマンス	8277
セルボクロアチア	8372	ロシア	8285
ソマリ	8379		
タイ	8472		

パン＆スキャンとレターボックスとは

DVD ソフトのワイドな映像（16:9）を、標準サイズ（4:3）のテレビで見る場合、2 つの表示方法があります。

4:3 パン＆スキャン

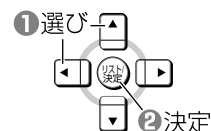
左右をカットし、テレビ画面全体に映像を映し出します。

4:3 レターボックス

上下に黒い帯を入れ、16:9 の映像を忠実に再現します。

GUI メニュー項目一覧

G U I(Graphical User Interface)とは「テレビ画面を見ながらディスクの操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、この画面を「GUI メニュー」と呼びます。

お願い **録音中は操作しないでください。録音が途切れる原因になります。**

1 機能選択

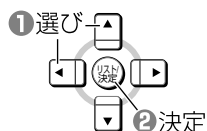
再生中に
押して
GUI メニューを表示させる

2 ❶選び ❷決定

変更したい
項目を選択

同じ操作をくり返し、変更したい項目まで階層メニューを進めます。

3 ❶選び ❷決定

好みの
設定を選択

数字ボタン→［リスト／決定］で設定できるものもあります。

DVD-V GUI メニューの一例

■ GUI メニューを消す ➡ リターン 戻る

名 称	項目と設定		
DVD ビデオ DVD-R DVD-RW（DVD ビデオ） ＋R、＋RW	**タイトル**	**タイトルサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[リスト／決定]**
	チャプター	**チャプターサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[リスト／決定]**
	時間	**タイムワープ**※：時間指定スキップ	**±30秒、60秒、90秒、2分…** (2分以降は、押したままにすると10分刻み)
		タイムサーチ※：時間指定再生	例）1時間24分50秒から再生 **[1]→[2]→[4]→[5]→[0]→[リスト／決定]**
		※＋R/＋RW では働きません。	
		タイトル経過時間 **タイトル残時間**	
	音声（☞ 25ページ）	**1～最大 8**	カラオケ入/切：**[▲、▼]→[リスト／決定]**
	字幕（☞ 25ページ）	**入または切** **1～最大 32**	
	アングル（☞ 25ページ）		
	その他の設定（☞ 80ページ）		
DVDオーディオ	**グループ**	**グループサーチ**（☞ 24ページ）	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[リスト／決定]**
	トラック	**トラックサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[リスト／決定]**
	時間	**タイムワープ**：時間指定スキップ	**±30秒、60秒、90秒、2分…**
		タイムサーチ：時間指定再生	例）4分50秒から再生 **[4]→[5]→[0]→[リスト／決定]**
		トラック経過時間 **トラック残時間** **グループ残時間**	
	音声（☞ 25ページ）	**1 または 2**	
	静止画	**次静止画** **前静止画**	
	字幕（☞ 25ページ）	**入または切**	
	アングル（☞ 25ページ）		
	その他の設定（☞ 80ページ）		

●ディスクによっては、表示されない項目/設定があります。

名 称	項目と設定		
DVD-RAM（JPEGは除く） DVD-RW（DVD-VR）	**プログラム** プレイリスト※1	**プログラムサーチ** プレイリストサーチ※1	[▲、▼]（または数字ボタン）→[リスト／決定] ※1プレイリスト再生時に表示
	時間	**タイムワープ**：時間指定スキップ **タイムサーチ**：時間指定再生	±30秒、60秒、90秒、2分... 例）24分30秒から再生 [2]→[4]→[3]→[0]→[リスト／決定]
		プログラム経過時間 プレイリスト/シーン経過時間※2 **プログラム残時間** プレイリスト/シーン残時間※2	 ※2プレイリスト/シーン再生時に表示 ※2プレイリスト/シーン再生時に表示
	音声（☞25ページ）	**LR**または**L**または**R** **1**または**2**	
	字幕（☞25ページ）	**入**または**切**	
	マーカー（VR）：マーカースキップ		●ディスクにあらかじめ付いていたマーカーにとび越すことができます。 ●マーカーを付けることはできません。 ●プレイリスト再生時は働きません。
	その他の設定（☞80ページ）		
ビデオCD	**トラック**	**トラックサーチ**	[▲、▼]（または数字ボタン）→[リスト／決定]
	時間	**トラック経過時間** **トラック残時間**（SVCD以外） **ディスク残時間**（SVCD以外）	
	音声（☞25ページ）	**LR**または**L**または**R** **1**または**2**（SVCDのみ）	
	字幕（☞25ページ） （SVCDのみ）	**入**または**切** 字幕言語選択（1～4）	
	その他の設定（☞80ページ）		
CD	**トラック**	**トラックサーチ**	[▲、▼]（または数字ボタン）→[リスト／決定]
	時間	**トラック経過時間** **トラック残時間** **ディスク残時間**	
	その他の設定（☞80ページ）		
WMA/MP3	**グループ**	**グループサーチ**（☞24ページ）	[▲、▼]（または数字ボタン）→[リスト／決定]
	コンテンツ	**コンテンツサーチ**	[▲、▼]（または数字ボタン）→[リスト／決定]
	時間		
	音声		
	その他の設定（☞80ページ）		
JPEG	**グループ**	**グループサーチ**（☞24ページ）	[▲、▼]（または数字ボタン）→[リスト／決定]
	コンテンツ	**コンテンツサーチ**	[▲、▼]（または数字ボタン）→[リスト／決定]
	サムネイル：サムネイル一覧表示		
	画像回転	**右90°回転**または**左90°回転**	
	スライドショー	**間隔** **入**または**切**	**0～30秒**
	その他の設定（☞80ページ）		
HighMAT	**プレイリスト**	**プレイリストサーチ**	[▲、▼]（または数字ボタン）→[リスト／決定]
	グループ	**グループサーチ**（☞24ページ）	[▲、▼]（または数字ボタン）→[リスト／決定]
	コンテンツ	**コンテンツサーチ**	[▲、▼]（または数字ボタン）→[リスト／決定]
	時間		
	音声		
	画像回転（静止画のみ）	**右90°回転**または**左90°回転**	
	その他の設定（☞80ページ）		

GUI メニュー項目一覧（つづき）

「その他の設定」項目一覧（ディスク共通）

再生速度

×0.6、×0.7、×0.8、×0.9、ノーマル、×1.1、×1.2、×1.3、×1.4 （☞ 26ページ）

再生メニュー

リピート（☞ 19ページ）　A-B リピート（☞ 27ページ）
マーカー（☞ 27ページ）　アドバンストディスクレビュー（☞ 27ページ）

画質メニュー

ピクチャーモード（☞ 72ページ）
- ノーマル：　切
- シネマ１：　映画館で見ているようなしっとり感、暗い場面は細部をはっきり
- シネマ２：　昔の映画などをくっきり、暗い場面は細部をはっきり
- アニメ：　アニメの色をくっきり
- ダイナミック：色にめりはりをつける
- ユーザー：　詳細画質設定を使う

詳細画質設定
- コントラスト（白黒の強弱）：−7〜+7
- ブライトネス（全体の明るさ）：0〜+15
- シャープネス（水平方向の鮮鋭度・解像感）：−7〜+7
- カラー（色の濃さ）：−7〜+7
- ガンマ（暗い部分の明るさ）：0〜+5
- デプスエンハンサー（映像の奥行き感）：0〜+4

ビデオ出力モード
- 525i：インターレース映像
- 525p：プログレッシブ映像（“PROG.”点灯）

テレビを本機の映像出力端子に接続したときは、表示部の“PROG.”点灯にかかわらず、インターレース出力になります。（☞ 85ページ「プログレッシブ/インターレース」）

変換モード（表示部の“PROG.”点灯中のみ）

プログレッシブ出力に変換する方式を素材に応じて使い分ける。
- オート１（標準）：映画再生
- オート２：オート１の変換方式に加え、30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応
- ビデオ：ビデオ素材。オート１、オート２でブレが生じるとき

音声メニュー

アドバンストサラウンド（☞ 72ページ）　シネマボイス（☞ 72ページ）
マルチ リ.マスター（☞ 70ページ）　サウンドエンハンスメント（☞ 72ページ）

表示メニュー

字幕位置（DVD-V DVD-A（動画部のみ））　0〜−60
字幕明るさ（DVD-V DVD-A（動画部のみ））　オート、0〜−7
情報表示（JPEG）　切、日付、詳細

4:3 アスペクト（DVD-V DVD-A RAM VCD JPEG）

初期設定（☞ 76ページ）でTVアスペクト“16：9”を選んだ場合に、4:3の映像を、ワイドサイズ（16:9）のTVで表示する方法を選ぶ。
- ノーマル：　画面幅いっぱいに引き延ばす
- オート：　通常はシュリンクに、レターボックスの映像はズームに自動で切り換える
- シュリンク：画面中央に4:3の画面比のまま映す
- ズーム：　画面比4:3で拡大する

ぴったりズーム（☞ 26ページ）

任意ズーム　× 1.00〜× 2.00
× 1.00〜× 1.60までは0.01刻み（押したままにすると0.05刻み）
× 1.61〜× 2.00までは0.02刻み（押したままにすると0.1刻み）

ビットレート表示（DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM VCD）入または切

映像の種類（☞ 85ページ「I/P/B」）とビットレートの目安を表示する。

・ビットレート
現在値　10.621 Mbps
平均値　6.622 Mbps
5.0 Mbps

サンプリング期間中のビットレート履歴

一時停止時：
映像の種類とフレームのデータ量
動画再生時：
再生画像の平均ビットレート

GUI シースルー：半透明化　入、切、オート
GUI 明るさ　−3〜+3

その他のメニュー

DVD-Video として再生　：DVDオーディオをDVDビデオとして再生
DVD-Audio として再生　：「DVD-Videoとして再生」を解除

DVD-VR として再生（DVD-RAM）：「データディスクとして再生」を解除
HighMAT として再生　：「データディスクとして再生」を解除
データディスクとして再生　：DVD-RAMまたはHighMATをデータディスクとして再生

初期設定（☞ 76ページ）

操作メニュー一覧

● ［タイマー］ボタン、［サウンド］ボタン、［録音モード］ボタン、［編集モード］ボタン、［再生モード］ボタンを押した後の操作メニューは、以下のような階層になっています。（主なもののみ記載）
● 選択操作で迷ったときの参考にしてください。
くわしい操作方法については、それぞれのページをご覧ください。

タイマー （☞ 63～68ページ）

サウンド （☞ 70～71ページ）

録音モード （☞ 43、45ページ）

編集モード （MD選択時） （☞ 52～55、61ページ）

編集モード （SD選択時） （☞ 52～57ページ）

再生モード （DISC選択時） （☞ 20、24ページ）

ALL GROUP（DVD-A）
1 DISC RANDOM / A DISC RANDOM
（切）

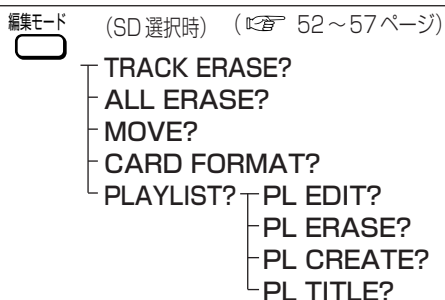
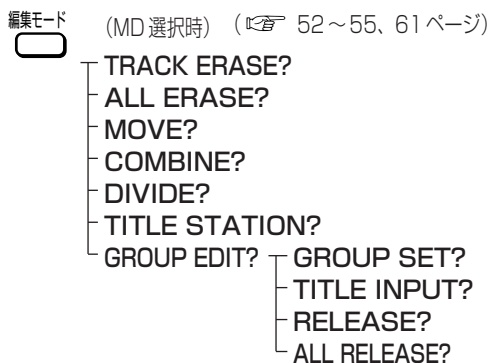
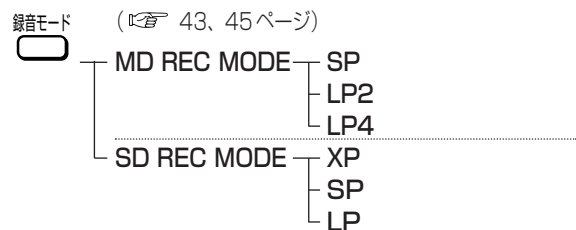
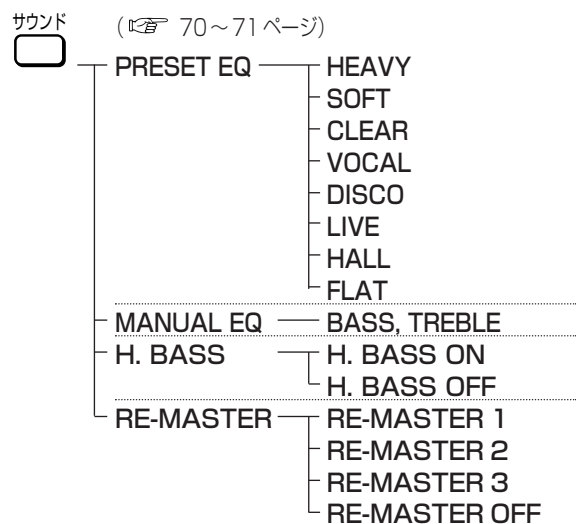
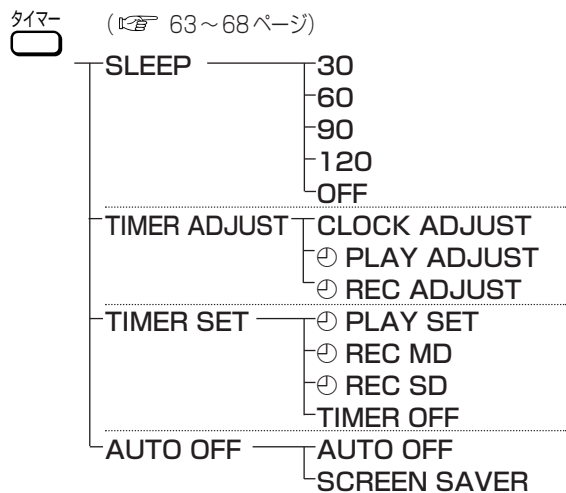
再生モード （MD選択時） （☞ 32～35ページ）

再生モード （SD選択時） （☞ 32～33ページ）

再生モード （ラジオ選択時） （☞ 37～38ページ）

MANUAL
PRESET

再生モード （AUX選択時） （☞ 74ページ）

HIGH
NORMAL

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。）

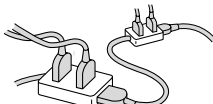
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

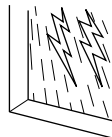
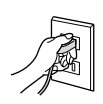
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

感電の恐れがあります。

ご使用について

SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

リモコン用乾電池について

電池は誤った使い方をしない

- ⊕と⊖を逆に入れない
- 乳幼児の手の届くところに置かない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体、火の中へ入れたりしない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり、保管しない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

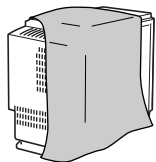
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

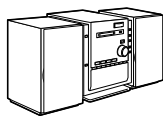
屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **壁や天井に取り付けない**

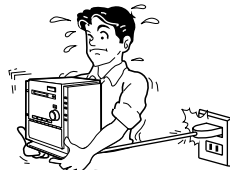
機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスクトレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器に乗らない

倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

電池について

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

用語解説

（ディスクや映像に関する用語の解説です）

ア

アングル

DVDソフトには、複数の撮影角度（アングル）で撮影されているものがあり、同じ場面を異なるアングルで見ることができます。くわしくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。

サ

再生ナビ（プログラムナビ）

DVD-RAMに録画した番組の一覧です。見たい番組をすばやく探せます。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

タ

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、音量差が小さくなるため、小音量でもセリフなどが聞きとりやすくなります。

ダウンミックス

ディスクに収録されたマルチチャンネル（サラウンド）の音声を、2チャンネルに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオを本機のスピーカーで再生するときは、ダウンミックスされた音声が出力されています。

デコーダー

DVDソフトなどに記録されているデジタル信号を、映像や音声の信号に戻す装置や回路のことです。この処理をデコードといいます。

ハ

フィルム素材/ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。

- **フィルム素材**　フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。（映画撮影のフィルムは24コマ/秒）
- **ビデオ素材**　映像情報が60フィールド/秒で記録されているもの。

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。フィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム　フィールド　フィールド

=
+
- **フレームスチル**
  画質はよくなりますが、2枚のフィールド間でブレを生じる場合があります。
- **フィールドスチル**
  画像は少し粗くなりますが、情報量が少ないため、ブレを生じません。

プレイリスト

好みの場面や曲を集めた、演奏リストのようなものです。DVD-RAMや、HighMATで記録されたディスクに収録されます。

プログレッシブ/インターレース

従来の映像信号（NTSC）は、525I（I：インターレース=飛び越し走査）といわれるのに対し、525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P（P：プログレッシブ=順次走査）といいます。プログレッシブではDVDソフト本来の高精細映像を再現できます。
プログレッシブ映像を楽しむには、プログレッシブ対応テレビが必要です。

マ

マーカー

もう一度再生したい位置に付ける印のことです。

B

ビットストリーム
Bitstream

圧縮され、デジタル信号に置き換えられた信号です。デコーダーにより、5.1chなどのマルチチャンネルの音声信号に戻されます。

D

ディー　ディー
D1/D2映像出力

S映像出力よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本機はプログレッシブ映像出力（525P）にも対応しているため、525I信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

ドルビーデジタル
Dolby Digital

ドルビー研究所の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもとより、マルチチャンネルに対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ディーティーエス　デジタル　シアター　システムズ
DTS（Digital Theater Systems）

多くの映画館で採用されているマルチチャンネルシステムです。リアルな音響効果が得られます。

I

アイピービー
I/P/B

DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは画面ごとに記録しています。

- **I-picture**　共用データの基準として単独で記録される画面
- **P-picture**　過去のI-pictureまたはP-pictureを元につくられる画面
- **B-picture**　I/P両方を元につくられ、両者の間をうめる画面

画質調整をするときは、一時停止した後、コマ送りで画質のもっともよいI-pictureを選ぶことをおすすめします。

M

エムピー　エムペグ　オーディオ　レイヤー
MP3（MPEG Audio Layer 3）

元の音声をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンでCD-R/-RWに記録したMP3を再生できます。

P

ピービーシー　プレイバック　コントロール
PBC（Playback control）

ビデオCDを再生する方式の1つで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を選ぶことができます。本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています。

SD について

本機で使用できるカードについて

- SD メモリーカード、miniSD™ カード（専用アダプターが必要です）が使えます。
- 使用可能な SD メモリーカード
  8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで
  最新情報は http://panasonic.jp/support/audio/ で確認してください。
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- 録音前に、本機で初期化することをおすすめします。（☞ 54 ページ）
- Windows Media Audio 9(WMA9)対応
  ただし、Professional, Lossless, Voice 及びマルチプルビットレート（一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）には対応していません。

録音・編集について

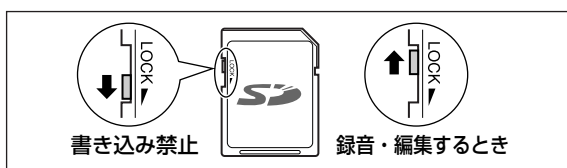
本機の SD への録音は、高度な著作権保護技術に対応した「SD オーディオフォーマット※」を採用しています。
※SD アソシエーションにて制定された SD メモリーカードのオーディオ規格です。

■ 録音時のデータ形式について
本機で録音した音楽データは、著作権保護付きの AAC になります。

■ トラックマーク
録音部分に記録される「区切り」のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。

■ SD1 枚への録音は、収録時間内で最大 998 曲までです
実際に録音できる時間が少なくなる場合もあります。

■ 大切なデータを保護するために
書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。
新たに録音・編集するときは解除してください。

書き込み禁止　　録音・編集するとき

■ 録音・編集時のお願い
録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、SD を取り出したり、SD 挿入部のふたを開けたり、電源コードを抜いたりしないでください。動作が停止します。
“CARD Writing”の点滅中に電源が切れたり、SD が取り出されると、録音・編集・タイトル入力が SD に正しく記録されないばかりか、SD が使えなくなることがあります。

- 録音時に誤ってふたを開けてしまったときは、カードを入れ直し、今回録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は、録音内容を削除し、もう一度録音してください。（CD の高速録音時には、録音が停止したあと、約 74 分経過しないと同じ CD を高速録音できません。ただし、通常速録音はできます。）ラジオなどからの録音では復元できませんので、ご注意ください。
- 編集時に誤ってふたを開けてしまったときは、編集内容を確認してください。正しく編集されていない場合は、もう一度編集してください。

フォーマットについて

- SD メモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
  また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットを行ってください。（☞ 54 ページ）
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカードに対応しています。

再生について

「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/MP3/WMA)のみ再生できます。
静止画および動画の再生はできません。

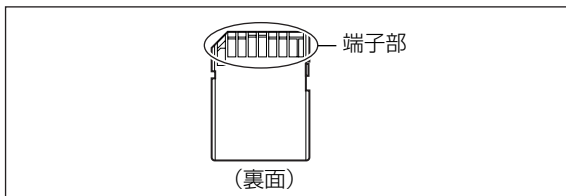
音楽の著作権保護のために

著作権保護と、音楽文化の健全な発展と、正当な購入者の権利保護のために、暗号技術を利用した SDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。このため、SD をご利用いただくにあたり、下記の制限があります。

- 本機は音楽データを暗号化して SD に記録します。暗号化された音楽データを別の機器に複製して使用することはできません。
- 暗号化して記録された音楽データのバックアップ／リストア（復元）には対応していません。
- カード内のデータを移動するには、マイグレート対応のソフトウェア「SD-Jukebox Ver.5」（別売）をご使用ください。（☞ 13 ページ）
- コピー制限情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

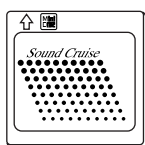
■ デジタル録音の制限について
CD から SD のデジタル録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム)という制限があります。
本機で CD から SD へ録音すると信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行えます。著作権保護のため、この制限がある CD から SD へのデジタル録音はできません。
なお、アナログ録音にはこのような制限はありません。

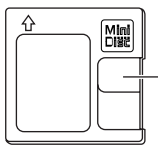
取り扱い上のお願い

- 保管時は、必ずケースに収納する。
- 分解や改造をしない。
- 貼られているラベルをはがさない。
- 新たにラベルやシールを貼らない。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触れない。

MDについて

MDの種類

■ 再生専用MD

録音できません。
ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。
この方式のMDを「光ディスク」といいます。

■ 録音用MD

磁気によってデータを記録します。
この方式のMDを「光磁気ディスク」といいます。

シャッター

MDの録音・編集について

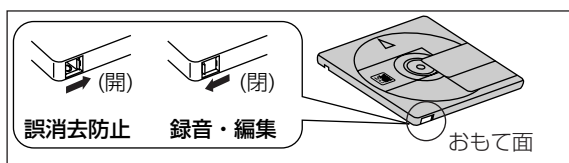
■ テープとは違います

録音済みのMDは、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません。）

■ MD 1枚への録音曲数は 、収録時間内で最大254曲までです

ただし、MDは2秒以下の音声を録音する場合にも約2秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■ 大切な録音を消さないために

MDの誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について

デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CDなどからMDにデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、このMDから、さらに別のMDへはデジタル録音できないようになっています。（「コピーのコピー」の禁止）また、このような制限があるCDからMDへのデジタル録音もできません。
なお、アナログ録音にはこのような制限はありません。

■ 録音、編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。"UTOC Writing"の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力がMDに正しく記録されません。

よく出てくるMD用語

■ トラックマーク

録音部分に記録される「区切り」のことです。ある区切りから次の区切りまでが1曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。
トラックマークを入れることで、1枚のMDに最大254曲まで記録することができます。

■ TOC（トック）（Table of Contents）

MDには、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容をTOC情報といいます。

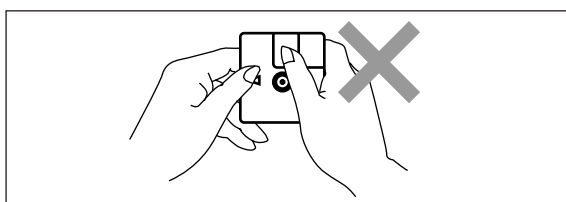
■ UTOC（ユートック）（User Table of Contents）

利用者が自由に書き換えられるTOCです。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MDにUTOC情報が書き込まれているとき、"UTOC Writing"と表示され注意を促します。

■ MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
  （また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のあるMDは、故障の原因になりますので機器に入れないでください）
- シャッターは開かない
  （万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください）

MDの制約について

症　状	原　因
コンバイン/ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音/部分消去をくり返したMDに録音すると、MD上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。また、SP/LP2/LP4の異なるモードで記録された曲ではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り/早戻しすると、音が途切れることがある。	

ディスク（DVD/CD）について

WMA/MP3/JPEG/CD テキスト

本機での制限

- 使用できるフォーマット：ISO9660 level 1 及び level 2（拡張フォーマットを除く）
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
- 8 階層より深い階層にあるグループは、8 階層目と同じ列に表示されます。
- 表示可能な漢字は、JIS 第一水準のみです。それ以外の漢字は "__（アンダーバー）" で表示されます。
- メニュー画面での表示順は、パソコンでの表示順と異なることがあります。
- ディスクの作りかたによっては、順番通りに再生できないことがあります。

WMA

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 情報部に JPEG など大きなデータが入っていると、無音になったり再生できない場合があります。
- Windows Media Audio 9(WMA9)対応
  ただし、WMA9 の Professional,Lossless,Voice および MBR（マルチプルビットレート：一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）には対応していません。

MP3

- 静止画の入った MP3 ディスクを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まっても正確に時間が表示されないことがあります。
- ID3 タグには対応していません。

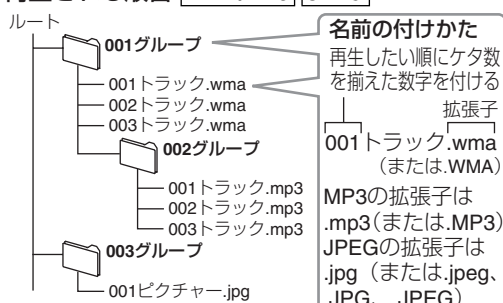
JPEG

- DCF（Design rule for Camera File system）規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG を表示します。（デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF 規格にあてはまらないデータになり、画像が表示されないことがあります）
- 画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- MOTION JPEG などの動画や JPEG 以外の静止画（TIFF など）および音声付画像は再生できません。

再生される順番 WMA/MP3 JPEG

ルート
- 001グループ
  - 001トラック.wma
  - 002トラック.wma
  - 003トラック.wma
  - 002グループ
    - 001トラック.mp3
    - 002トラック.mp3
    - 003トラック.mp3
- 003グループ
  - 001ピクチャー.jpg

名前の付けかた

再生したい順にケタ数を揃えた数字を付ける
拡張子
001トラック.wma
（または.WMA）
MP3の拡張子は .mp3（または.MP3）
JPEGの拡張子は .jpg（または.jpeg、.JPG、.JPEG）

ただし、順番通りに再生できないことがあります。

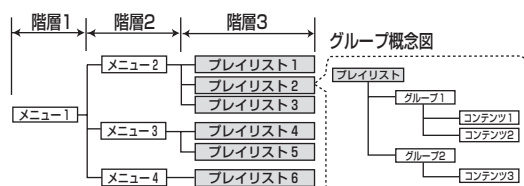
CDテキスト

市販のソフトなどで作成したCDテキストは、作成したトラック順に再生されます。

お知らせ

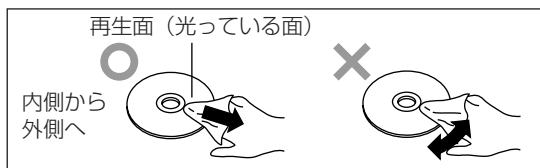
- WMA/MP3 JPEG：グループ数 400、コンテンツ数 4000 まで再生できます。ただし、階層の深いフォルダが複数あるときは、フォルダ／ファイルを認識できないことがあります。
- CD-DA と WMA/MP3 などの異なる形式が同一ディスクに記録されている場合は、正常に再生できないことがあります。

HighMAT で記録されたディスクについて

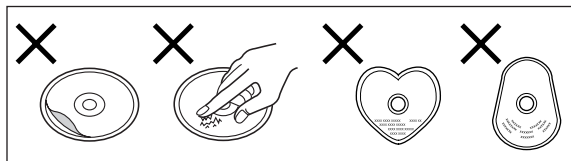
- HighMAT™ 規格は、音声／画像／動画ファイルを CD-R/RW に記録するときの管理フォーマットです。本機では、WMA/MP3 の音楽ファイルと JPEG の静止画ファイルが記録されたディスクを再生できます。
- HighMAT 規格に対応したパソコンソフトでディスクを作成するときは、記録するファイルに曲名やアーティスト名などの情報を付けたり、プレイリストの設定なども合わせて収録することができます。
- 作成されたディスクでは、多彩なメニュー操作により、ファイル選択などを簡単に行うことができます。
- HighMAT 規格に準拠して記録されたディスクを作るためには、Windows XP がインストールされたパソコンが必要です。（HighMAT：High performance Media Access Technology）

作成方法については下記ホームページをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/

保管とお手入れ

ディスクの扱い

■汚れたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

推奨品： **ブルーレイ/DVD ディスククリーナー（品番 RP-CL750）**

■露がついたら
急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■取扱上のお願い
ディスクの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。
- ●ディスクにシールやラベルを貼らない。（ディスクにそりが発生し、使用できない場合があります。）
- ●鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない。
- ●レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- ●傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- ●以下のディスクを使わない。
  - －シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク（レンタルディスクなど）
  - －そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  - －ハート型など、特殊な形のディスク

■ 次のような場所に置かない
- ●直射日光の当たる場所
- ●湿気やほこりの多い場所
- ●暖房器具の熱が直接当たる場所

■本機が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- ●アルコールやシンナーは使わないでください。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ DVD/CD プレーヤー部
- ●使用環境により異なりますが、レンズをクリーニングする必要はありません。
- ●誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

■ MD レコーダー部
専用クリーナー（別売）でときどき清掃されることをおすすめします。

推奨品：
MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

主な仕様

センターユニット部（SA-PM930DVD）

■ アンプ部

実用最大出力（両 CH 動作）： 25 W + 25 W
（全高調波ひずみ率 10 %, 5 Ω）
LOW ：22 W + 22 W
HIGH ：3 W + 3 W

■ FM チューナー部

受信周波数帯域 ：76.0 ～ 90.0 MHz (100 kHz ステップ)
TV 1 ch、2 ch、3 ch (モノラル)
アンテナ端子 ：75 Ω (不平衡型)

■ AM チューナー部

受信周波数帯域 ：522 ～ 1629 kHz (9 kHz ステップ)

■ DVD/CD 部

ディスク ：8 cm /12 cm
DVD (DVD-Video、DVD-Audio)
DVD-RAM (DVD-VR、JPEG※4、5)
DVD-R (DVD-Video)
DVD-RW (DVD-Video、DVD-VR)
＋R/RW (Video)
CD、CD-R/RW (CD-DA、Video CD、SVCD※1
MP3※2、5、WMA※3、5、JPEG※4、5
HighMAT レベル 2（音声、静止画）、
HDCD)

※1 IEC62107 準拠
※2 MPEG-1 Layer 3、MPEG-2 Layer 3
※3 Windows Media Audio Ver.9.0 Class 2A
Not compatible with Multiple Bit Rate (MBR)
※4 Exif Ver2.1 JPEG ベースライン方式準拠
画像解像度：320 × 240 ～ 6144 × 4096 pixels
(サブサンプリング：4:2:2、4:2:0)
※5 再生可能な最大コンテンツ数：4000 コンテンツ
再生可能な最大グループ数：400 グループ

映像
信号形式 ：NTSC
映像出力 ：出力レベル 1 Vp-p (75 Ω)
D1／D2 映像出力 ：Y 出力レベル 1 Vp-p (75 Ω)
PB/CB 出力レベル 0.7 Vp-p (75 Ω)
PR/CR 出力レベル 0.7 Vp-p (75 Ω)
ピックアップ 光源 ：半導体レーザー
波長 ：CD/VCD 785 nm、DVD 662 nm

■ MD 部

形式 ：ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式 ：磁界変調オーバーライト方式
読取方式 ：半導体レーザー(波長 =780 nm) による
非接触光学式
サンプリング周波数 ：44.1 kHz
圧縮／伸張方式 ：ATRAC/ATRAC3 (MDLP) 方式
チャンネル数 ：2 チャンネルステレオ
ワウ・フラッター ：測定限界以下
録音再生時間（80 分 MD 使用）：SP 80 分、LP2 160 分、LP4 320 分

■ SD 部

サンプリング周波数 ：32 kHz (LP)／44.1 kHz (SP、XP)
圧縮／伸張方式
SD オーディオ再生 ：AAC 方式
：MP3 方式
：WMA 方式
SD オーディオ録音 ：AAC 方式
チャンネル数 ：2 チャンネルステレオ

■ 本体総合

電源 ：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 ：58 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：175 mm × 261 mm × 344 mm
質量 ：約 5.5 kg

電源スタンバイ時の消費電力 ：約 0.1 W（DEMO OFF 時）

スピーカー部（SB-PM930）

形式 ：3 ウェイ 3 スピーカーシステム、
バスレフ型
ウーハー ：10 cm コーンタイプ
ツイーター ：1.9 cm ソフトドームタイプ
スーパーツイーター ：1.5 cm ドームタイプ
インピーダンス
LOW ：5 Ω
HIGH ：5 Ω
許容入力（IEC）
LOW ：25 W (Max)
HIGH ：5 W (Max)
出力音圧レベル ：81 dB/W (1.0 m)
再生周波数帯域 ：50 Hz ～ 50 kHz (–16 dB)
70 Hz ～ 45 kHz (–10 dB)
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：145 mm × 263 mm × 230 mm
質量 ：約 2.5 kg
防磁設計 ：防磁

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

Q＆A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	テレビにS端子、D端子、コンポーネント端子があるが、どれに接続したらいいのか	本機は、S端子には接続できません。 S端子より忠実に色を再現するD端子、コンポーネント端子に接続してください。D端子とコンポーネント端子では映像の質に差はありません。	73
	プログレッシブ映像を楽しむにはどんなテレビが必要か	当社製のD2、D3、D4のいずれかの入力端子のあるテレビであれば、対応しています。テレビの説明書をご覧ください。	--
	有線放送をつなぎたい	本機背面の「AUX」端子に接続します。	73
	他のスピーカーをつなぎたい	**付属のスピーカー以外はご使用になれません。** 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	--
	5.1chサラウンドを楽しみたい	本機背面の光出力端子にデコーダー内蔵のAVアンプを接続してください。	73
DVD	海外で買ったDVDビデオは再生できるか	リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいて、映像方式がNTSCであれば再生できます。ディスクのジャケットをお確かめください。	11
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVDのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格外のディスクは再生できません。	11
	ビデオテープに録画できるか	ほとんどのDVDにはコピー禁止処理が施されているため録画できません。	--
SD／MD	MDに長時間録音する方法は？	録音モードを“LP2”または“LP4”にして、録音してください。	45
	SDやMDの残り時間を知りたい	残り時間表示になるまで［表示切換／一照明］を数回押してください。	43、45
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量を変えても音には影響しませんが、GUIメニューを操作して音質を変えると、録音される音に影響することがあります。	--
	LP2/LP4で録音したMDを再生できるプレーヤーは？	MD**LP**に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に“LP:”と表示され、無音で再生されます。	--
	録音済みSDやMDに上書き録音したい	テープと異なり、上書き録音はできません。不要な曲をイレースで消してから録音してください。	52
	録音済みSDやMDの続きに録音したい	自動的に前の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	--
	miniSD™カードやMMC（マルチメディアカード）は使えますか	miniSD™カード（miniSD™アダプターが必要です）は使えますが、MMC（マルチメディアカード）は使用できません。	86
	ICレコーダーで録音したSDを再生できる？	本機では再生できません。SDオーディオフォーマットで記録された、AAC、WMA、MP3以外は再生できません。	12
他	長期間使用しないのだが、どうすれば?	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、再使用時には時計の設定が必要です。	--

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　置
BLANK DISC	MD に 1 曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
CANNOT DISPLAY	再生できない画像ファイルです。	本機では表示できません。
CANNOT PLAY	再生できないファイルです。（ディスク）	ディスクを交換するか別のファイルを選んでください。
CAN’T COMBINE	コンバインできません。	MD システム上の制約です。
CAN’T DIVIDE	ディバイドできません。	MD システム上の制約です。
CAN’T EDIT	プログラム、ランダム、1 グループ設定中は、SD/MD の編集やタイトル入力ができません。	各設定を解除した後、操作を行ってください。
	SD のイッキ録り中や、録音、再生中はタイトル入力できません。	停止中に行ってください。
CARD FULL	SD カードの空き時間が足りません。	不要な曲を消す（☞ 52 ページ）か、カードを取り換えてください。
CARD LOCKED	本機では使用できないカードです。	カードを取り換えてください。
CARD PROTECTED	SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっています。	解除してから録音、編集してください。
CHECK CARD	本機では使用できないカードです。または、本機で使用できるような初期化がされていません。	カードの内容をご確認のうえ、本機で初期化する（☞ 54 ページ）か、カードを取り換えてください。
CHECK CD（点滅）	イッキ録りを行う前にすべての CD をチェックしています。	チェック完了までしばらくお待ちください。
CONTENT PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	(WMA、HighMAT)そのトラックをスキップして再生します。
COPY PROTECTED	コピー禁止の DVD オーディオや CD です。	録音できません。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消す（☞ 52 ページ）か、新しい録音用 MD に取り換えてください。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EMERGENCY STOP	異常が発生しました。	SD/MD を入れ直し、操作し直してください。
F □□□ H □□（□□は数字）	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	電源を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
LOAD ERROR Press EJECT	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。	MD を取り出し、入れ直してください。
MEMORY FULL ERASE TITLE	100 枚を超えて、CD のタイトル入力をしようとしました。	不要な CD のタイトルを消してから、再度入力してください。
NO DISC	ディスクまたは MD が入っていません。	ディスクまたは MD を入れてください。
NO PLAY（DVD）	再生できないディスクです。“視聴制限”を設定したディスクなどが入っています。	ディスクを交換する。 視聴制限を解除する。
NO PLAY（SD）	再生できないトラックです。	そのトラックをスキップして再生します。
NO REMAIN	SD や MD に空きのない状態で、CD のイッキ録りをしようとしました。	不要な曲を消す（☞ 52 ページ）か、新しい SD や録音用 MD に取り替えてください。
NO TRACK	SD に 1 曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
	本機で再生できないデータ（静止画や動画）のみが入っています。	本機では静止画や動画の再生はできません。
PGM（点滅）	プログラムプレイの再生中に、[ディスク]や数字ボタンでディスク/曲を選ぼうとしました。	プログラムプレイを解除してから操作してください。
PLAYBACK CARD	再生専用の SD です。	録音・編集はできません。
PLAYBACK DISC	再生専用 MD に録音しようとしました。	録音用 MD に取り替えてください。
READ	ディスクの情報を読み込んでいます。	表示が消えてから操作してください。

表　示	意　味	処　置
RND（点滅）	ランダム設定中は録音できません。	ランダムを解除してください。
	ランダム設定中に、[ディスク] や数字ボタンでディスク/曲を選ぼうとしました。	ランダムを解除してから操作してください。
SCMS CAN'T COPY	SCMS（☞ 86、87 ページ）が記録された CD-R や CD-RW から SD や MD に録音しようとしました。	デジタルでは録音できません。 “ANALOG-REC”が表示されるまで［編集モード］を押したままにし、アナログ録音に切り換えてから録音してください。（高速録音はできません。）
SELECT OVER	24 曲を超えて消そうとしています。	1 回の操作でこれ以上は消せません。 何回かに分けて操作してください。
	SD のプレイリストへの登録曲数が 99 曲を超えようとしています。	これ以上の登録はできません。
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	本機で入力できる文字数の制限を超えています。	制限を超えての入力はできません。
TOC ERROR	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切／入したあと、MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。	MD を取り換えてください。
TOC READING	TOC 情報を読み込んでいます。	表示が消えてから操作してください。
TRACK FULL	SD カードへの録音は最大 998 曲です。	不要な曲を消す（☞ 52 ページ）か、カードを取り換えてください。
TRACK NUMBER NOT EQUAL	曲数の違う MD へはタイトルをコピーできません。	曲数の同じ MD に取り換えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	編集・消去していいか、確認してから操作してください。
U30 REMOTE □ (□は 1 または 2)	リモコンモードの設定が本体の設定と合っていません。	97 ページの「リモコンモードを変更する」の手順 **2** を行い、リモコン側を“□”で表示された番号に変更してください。
UTOC FULL	タイトルの書き込みやグループ編集、またはディバイドやムーブができるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。またはグループを 1 つ解除してください。
	254 曲入っている MD で曲をディバイドしようとしました。（最大曲数は 254 曲）	不要な曲を消すか、2 曲を 1 つにつないでください。（☞ 52 ページ）

-このマークがある場合は-

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

故障かな!?

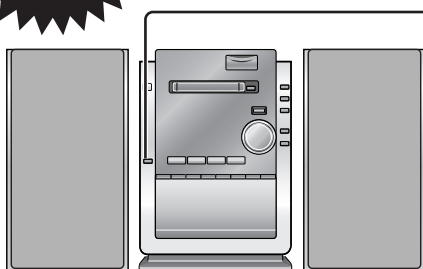
長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　置	参照ページ
システム全体に共通	電源「切」時に表示部が変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	6
	電源が入っているのに音が出ない。 再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	6、7
		スピーカーコードの⊕、⊖がショートしていませんか。		
	音の位置が定まらない。 左右の音が逆になる。	スピーカーコードの⊕ ⊖、別売機器のコードの左右を逆に接続していませんか。	スピーカーコード、別売機器のコードを正しく接続する。	6、7、73
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	--
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	4
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	
	他の機器のリモコンで、本機が誤動作する。	当社製のDVDレコーダーなどを同時に使っていませんか？	リモコン信号が干渉しあっている可能性があります。リモコンモードを変更してください。	97
	リモコン使用時に“U30 REMOTE □”(□は1または2)が表示される。	リモコンの設定が本体の設定と合っていません。	「リモコンモードを変更する」の手順**2**を行い、リモコン側を“□”で表示された番号に変更してください。	97
ラジオ	放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	アンテナを接続してください。	6
	放送がうまく受信できない。 雑音、ひずみが多い。 “STEREO”が点滅する。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	37
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみる。 屋外アンテナを使うのも1つの方法です。	37
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	--
		近くで携帯電話の充電をしていませんか。		
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	--
ディスク(DVD/CD)	テレビに映像が映らない。 画面サイズがおかしい。	テレビのビデオ入力は正しいですか。	本機の接続に合わせて、テレビのビデオ入力を切り換える。	--
		初期設定「TVアスペクト」を設定しましたか。	「TVアスペクト」を正しく設定する。	15, 76
			PAL方式のDVDオーディオは、上下に引き延ばされた画面になることがあります。	--
	ディスクを入れても、表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外のディスクではありませんか。	規格に適合したディスクと取り替える。	10, 11
		本機で再生できるディスクですか。	ディスクのジャケットを確認してください。	10, 11
		「視聴制限」しているディスクではありませんか。	初期設定の「視聴制限」の項目を確認してください。	76
		寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露つきが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	--
	特定の箇所が正常に再生しない。 操作しても、うまく働かない。	ディスクが汚れていませんか。	柔らかい布などでふく。	89
		テレビに“⊘このディスクで～”が表示されていませんか。	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	--
	音声言語、字幕言語が切り換わらない。アングルを変えられない。	再生中のディスクに、複数の言語や字幕、アングルが記録されていますか。	ディスクのジャケットを確認してください。	11

	こんなときは	ここをご確認ください	処　置	参照ページ
ディスク（DVD/CD）	プログレッシブ出力でDVDビデオ再生時、映像の一部が二重にぶれて見える。	GUIメニューの“その他の設定”→“画質メニュー”→“ビデオ出力モード”を確認してください。	「525i」にして、“PROG.”表示を消します。 映像ソフト側に起因する症状ですが、インターレース出力（525i）では問題なく再生できます。「525p」に切り換えて画像がぶれたときは、映像が正しく表示されるまで、[DEL、取消し]を押したままにしてください。設定が「525i」に戻ります。	80
	映像が乱れる。	プログレッシブ非対応のテレビに接続し、プログレッシブ出力をしていませんか。	付属の映像コードで接続し、TVの入力を切り換えたあと、GUIメニューの「ビデオ出力モード」を“525i”にしてください。	80
	表示部の“D.MIX”が点滅したままになる。	マルチチャンネルのダウンミックスを禁止しているディスクではありませんか。	映像ソフト側が指定したスピーカー構成でないと正常に再生できません。同じ曲を2chで収録しているディスクの場合は、音声を切り換えるなどしてお聞きください。	25
	「視聴制限」の暗証番号を忘れた。 初期設定の内容を工場出荷時の状態に戻したい。	右記の操作で、お買い上げ時の状態に戻してください。	① すべてのトレイを閉める。 ② [▶ DVD/CD]を押して“DISC”にし、[■]（停止）を押す。 ③ 本体の［■、一デモ］を押しながらリモコンの[≧10]を押す。（テレビ画面に“オールクリア”表示が出て、お買い上げ状態に戻ると消えます。） ④ 電源を切/入する。	--
	高速録音すると、SD/MDに音飛びやノイズが記録される。 CD-R/RWから録音できない。	ディスクの表面に傷や指紋が付いていませんか。	傷が付いているときは交換、指紋は柔らかい布でふいてください。ふいたあと通常速録音すると改善される場合があります。CD-R/RWでは、記録状態によっては録音できないことがあります。	89
	5CDイッキ録りができない。	CD以外から録音していませんか。	CD以外のディスクからはイッキ録りできません。	--
			CDでも条件によってはイッキ録りができないことがあります。	--
	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行ったWMA/MP3ディスクを使用してください。	88
		1セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1セッションのデータ量を約5 MB（3分程の曲で約2曲分）以上にしてください。	--
	ディスクトレイふたが正しく閉まらない。	――――	① ［電源 ⏻/I］を押して電源を切ったあと、電源コードを抜き、再度差し込む。 ② ［電源 ⏻/I］を押す。 電源が入り“WAIT”と表示されます。 “WAIT”が消えてからご使用ください。	--
MD	MDを入れても、自動的に引き込まれない。 MDを入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れ直す。	--
	再生できない。	寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	--
	録音できない。	ランダムプレイになっていませんか。	ランダムプレイを解除する。	33
	録音・編集ができない。 タイトルが入力できない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	87
	MDのタイトルが出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数を超えていませんか。	文字数には制限があります。（英数記号で約1700文字）	59
	MDを入れても“TOC READING”が点滅したままで、操作ができなくなる。 また、この状態で［▲］（MD取り出し）を押しても、MDが出てこない。	MDのTOC情報読み込み中に異常が発生しました。	① ［電源 ⏻/I ］を押す。 しばらくするとカチッと音がして完全に電源が切れます。 ② 電源を入れ、すぐに［▲］（MD取り出し）を押す。MDが出てきます。 （出てこないときは、手順 ① ② をくり返す。） ③ MDを取り換える。	--

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここをご確認ください	処　置	参照ページ
MD	高速録音ができない。	録音を終了した時点から約74分間待たずに同じCDを高速録音しようとしませんでしたか。	約74分待ってから録音する。 通常速録音する。	40
	タイトルが表示されない。 表示がおかしい。	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行いませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	58
		タイトルが、漢字/ひらがなではありませんか。	本機の表示部は漢字/ひらがななどの文字に対応していません。	--
		すでに漢字でタイトルが記録されたMDのタイトル編集を本機で行いませんでしたか。	本機では漢字の編集はできません。	--
	左右のチャンネル間に音漏れがある。	LP4の曲をディバイドしたりコンバインしたりしませんでしたか。	分けた部分やつないだ部分で若干の音漏れを生じる場合があります。	--
SD	操作ができない。	カードは正しく入っていますか。	カードを正しく入れてください。	29
		SD挿入部のふたが開いていませんか。	ふたを閉めていないと操作できません。	29
		本機で使用できないカードではありませんか。	本機はSDカード以外のカードには対応していません。	86
	再生できない。	SDに、本機で再生できる音楽データが録音されていますか。	本機では「SDオーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/MP3/WMA）のみ再生できます。静止画や動画の再生はできません。	--
	録音できない。	ランダムプレイになっていませんか。	ランダムプレイを解除してください。	33
	録音・編集ができない。 タイトルが入力できない。	SDの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか。	解除してください。	86
	タイトルが表示されない。 表示がおかしい。	タイトルが漢字/ひらがなではありませんか。	本機の表示部は漢字/ひらがななどの文字に対応していません。	--
	高速録音ができない	録音を終了した時点から約74分間待たずに同じCDを高速録音しようとしませんでしたか。	約74分待ってから録音する。 通常速録音する。	40
	SDを他のプレーヤーや携帯電話で再生できない。	再生機器はSDオーディオフォーマットに対応していますか。 AACに対応していますか。	再生できる機器でお聞きください。	13
	パソコンにSDを入れたのに動かない。	パソコンのSDカードスロットは「著作権保護機能」対応ですか。	対応していない場合は、別売のUSBリーダーライターなどを準備する。	13
その他	音質/音場を変えても効果が出ない。	他の音質/音場効果を使っていませんか。	アドバンストサラウンド>マルチ リ.マスター>サウンドエンハンスメントの順に優先的に働きます。（同時に使用すると左記の効果のみ有効）	70、72

お買い上げ時の音質・音場は？

お買い上げ時には、プリセットイコライザーが「HEAVY」（重低音と高音を強調する音質）に設定されています。
お好みの音質・音場に設定してお楽しみください。（☞ 70ページ）

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンで本機が誤動作するときは以下の**1**～**3**を、“U30 REMOTE □”（□は数字）が表示されるときは以下の**2**、**3**を行ってください。

1　本体側の切り換え（例：“2”に変更する）

① ［FM/AM/AUX］を押して、“AUX”を選ぶ。

② 本体の［FM/AM/AUX］を押しながら、リモコンの数字ボタンの［2］（お買い上げ時の設定に戻すときは［1］）を約２秒間押す。
“REMOTE 2”（または“1”）と表示され、本体側が変更されます。

2　リモコン側の切り換え

リモコンの［リスト／決定］を押しながら、数字ボタンの［1］または［2］（本体側と同じ数字、または“U30 REMOTE □”で示された数字）を約２秒間押す。
リモコン側が変更されます。

3　動作の確認

リモコンのボタンを押して、本機が正しく動作することを確認する。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間
当社は、このDVD/SDステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■ 修理を依頼されるとき
94〜96ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
右記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

ご連絡いただきたい内容			
製品名	DVD/SDステレオシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SC-PM930DVD	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談
ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談
ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時
電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	(050)5519-6348
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	金沢市横川3丁目20	(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22	(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市野村町字山神421	(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1005

さくいん

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録音・編集ができなかった場合の内容の補償、録音・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

愛情点検　長年ご使用の DVD/SD ステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　―	品番	SC-PM930DVD
お客様ご相談窓口	☎（　　）　―	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT8488-1S
H0106YB1016